平成３１年度

学 生 募 集 要 項

◆ 一 般 入 試

出 願 期 間

平成３１年1月２８日（月）～2月6日（水）【必着】

入試実施日

前期日程：平成３１年2月２５日（月）・２６日（火）

※2月２６日（火）は一部の専攻のみ実施

後期日程：平成３１年3月１２日（火）

平成３１年度入試より，本学への出願には「インターネットによる出願登録」と書類の「郵送」が必要となります。

※従来の紙の願書は廃止します。

平成３１年４月入学者用の学生募集要項です。

大阪教育大学
OSAKA KYOIKU UNIVERSITY

目　　次

≪インターネット出願の導入について》…… 1

1　募集人員 …… 2

2　アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針） …… 3

3　ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針） …… 6

4　カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針） …… 9

5　出願資格 …… 13

6　他の国公立大学・学部との併願及び本学内での併願について …… 13

7　出願期間・出願手続 …… 14
（１）出願期間 …… 14
（２）出願方法 …… 14
（３）出願手順（インターネット出願） …… 14
（４）入学検定料等の支払い方法 …… 16
（５）出願に当たっての留意事項 …… 16
（６）出願書類等 …… 17
（７）英語能力測定試験の成績利用 …… 18
（８）JAPAN e-Portfolioでの学びのデータの提出について …… 20
（９）個人情報の取扱いについて …… 22
（10）入学検定料等の返還請求について …… 22

8　入学者選抜方法等 …… 22
（１）入学者選抜方法 …… 22
（２）入学者選抜の実施教科・科目等について …… 23
（３）大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等 …… 28
（４）小論文 …… 32
（５）面接（口述試験を含む。） …… 34
（６）実技検査
　（６）－１　実技検査の実施内容及び留意事項 …… 35
　（６）－２　実技検査の採点・評価基準 …… 56
（７）検査日程 …… 58
（８）入学試験場 …… 61
（９）受験上の注意 …… 63
（10）合格者の発表 …… 64

9　入学手続等 …… 64

10　ノートパソコンの必携について…… 65

11　欠員補充の方法 …… 66

12　入学試験成績の開示について …… 66

13　障がい等のある者の事前相談 …… 66

14　学生生活案内 …… 68

◎　麻しん（はしか）の予防について《お知らせ》 …… 70

◎　平成３１年度大学入試センター試験受験教科・科目の確認表 …… 71

◎　インターネット出願方法 …… 74

◎　インターネット出願に関するＱ＆Ａ …… 77

《インターネット出願の導入について》

平成３１年度入試より，学部一般入試において，「インターネット出願（インターネットで必要事項を入力した上で，調査書等の出願書類を郵送する方法）」を導入します。

従来の「紙出願」（募集要項に添付の入学志願票等に記入したものを郵送する方法）は廃止します。

なお，インターネット出願では以下の３つの手続きを受付期間中に完了する必要があり，いずれか一つでも受付期間中に手続きが完了できない場合は出願を受理できませんので，十分ご注意ください。

１．インターネットによる出願登録
２．入学検定料等（支払手数料含む）の支払い
３．出願に必要な書類等の郵送での提出

前期試験・後期試験の両方を出願する場合は，それぞれで出願手続きが必要となります。

詳細については１４頁を参照してください。

出願の流れは以下のとおりとなります。

※ご利用にあたってはメールアドレス，インターネットに接続されたパソコン（スマートフォンでも可），プリンター（Ａ４出力）が必要です。もし，インターネット環境がない等の理由でインターネットによる出願が行えない場合は，学校等のパソコン等から手続きを行っていただくか入試課まで相談してください。なお，出願期間中には入試課窓口にインターネット出願専用パソコンおよびプリンタを設置する予定です。

1　募 集 人 員

学部	キャンパス	課程・学科・専攻・コース			入学定員（人）	募集人員（人）	募集人員内訳（人） 一般入試 前期日程	一般入試 後期日程	特別入試 センター試験を課さない推薦	特別入試 センター試験を課す推薦	特別入試 私費外国人留学生
教育学部	天王寺（注2）	初等教育教員養成課程	幼児教育専攻		15	15	12	—	—	3	各専攻・コースとも若干人
			小学校教育専攻	昼間コース	45	45	20	15	—	10	
				夜間5年コース	40	40	20	15	—	5	—
	柏原	学校教育教員養成課程	特別支援教育専攻		420	45	30	8	—	7	各専攻・コースとも若干人
			小中教育専攻	学校教育コース		25	18	—	—	7	
				国語教育コース		40	23	10	—	7	
				英語教育コース		15	11	—	—	4	
				社会科教育コース		35	28	—	—	7	
				数学教育コース		25	15	10	—	—	
				理科教育コース		35	27	8	—	—	
				家政教育コース		10	7	—	—	3	
				保健体育コース		30	20	10	—	—	
				音楽教育コース		10	7	—	—	3	
				美術・書道教育コース(注3)		15	10	5	—	—	
			中等教育専攻	国語教育コース		10	7	—	—	3	
				英語教育コース		15	11	—	—	4	
				社会科教育コース		10	6	—	—	4	
				数学教育コース		25	10	15	—	—	
				理科教育コース		25	18	7	—	—	
				技術教育コース		10	6	—	4	—	
				家政教育コース		10	7	—	—	3	
				保健体育コース		10	5	—	—	5	
				音楽教育コース		10	7	—	—	3	
				美術・書道教育コース(注3)		10	7	—	3	—	
		養護教諭養成課程			30	30	20	10	—	—	若干人
		教員養成課程　合計			550	550	352	113	7	78	若干人
		教育協働学科	教育心理科学専攻		350	40	22	10	—	—	8
			健康安全科学専攻			35	25	7	—	—	3
			理数情報専攻	数理情報コース		100 40	57 21	36 16	— —	— —	7
				自然科学コース		60	36	20	—	—	
			グローバル教育専攻	英語コミュニケーションコース		75 30	33 18	— —	— —	22 7	20 5
				多文化リテラシーコース		45	15	—	—	15	15
			芸術表現専攻	音楽表現コース		50 40	30 25	11 6	9 9	— —	若干人
				美術表現コース		10	5	5	—	—	
			スポーツ科学専攻			50	17	10	20	—	3
		教育協働学科　合計			350	350	184	74	29	22	41
教育学部　総計					900	900	536	187	36	100	41

※　私費外国人留学生は，教育協働学科における一部の専攻を除いて，入学定員の枠外で募集します。

（注1）　特別入試（推薦入試，私費外国人留学生入試）の合格者（入学手続者）が募集人員に満たなかった場合は，一般入試の合格者で補充します。

（注2）　初等教育教員養成課程の幼児教育専攻及び小学校教育専攻昼間コースは，1～2年次を柏原キャンパスで修学予定です。

（注3）　美術・書道教育コースにおける実技検査の種別ごとの合格者の目安は，39・42頁を参照してください。

２　アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

「大阪教育大学アドミッション・ポリシー」

１．基本理念・目標

大阪教育大学は，我が国の先導的な教員養成大学として，教育の充実と文化の発展に貢献し，とりわけ教育界における有為な人材の育成をとおして，地域と世界の人々の福祉に寄与する大学であることを使命としています。この使命を達成するため，大阪教育大学では人と真摯に向き合う姿勢を基に，学生一人ひとりの個性を尊重した教育を推進していきます。

教育学部にあっては，グローバルな視野と豊かな教養を身に付け，専門的知識・技能及び優れた教育指導力を持った学校教員を養成するとともに，チーム学校を含む学校教育や地域教育活動を取り巻く分野（教育心理科学，健康安全科学，理数情報，グローバル教育，芸術表現，スポーツ科学）の専門性を有しつつ，教育的視点から学校，家庭，地域，社会と連携・協働することで，グローバル時代における多様な教育課題の解決を図ることができる人材の養成をめざします。

大学院教育学研究科にあっては，高度な知識や研究手法の修得をとおし，現代社会の多様な課題に対応できる探求能力を養い，様々な職業分野で課題解決能力を持って中核的役割を担える人材の育成をめざしています。

大学院連合教職実践研究科にあっては，教育委員会や学校現場との密接な連携の下での教員養成や現職教員教育を通じて，教員志望学生や現職教員学生に学校現場での課題に即応できる実践的知識・技能を拡充させるための視点と方法を獲得させ，もって学校における高度の専門的な能力及び優れた資質を有する専門職としての人材の育成をめざしています。

なお，本学では教育学部及び大学院において外国人留学生の受入れを積極的に進めています。

２．求める学生像

（教育学部）

・子どもの未来への使命感と教職への意欲や強い関心を持つ人
・教員として教育現場を担える十分な基礎学力と旺盛な探求心を持つ人
・幅広く専門分野を学ぶことにより広い視野や柔軟な思考力の修得をめざす人
・現代社会への幅広い関心と自らの課題意識を持って積極的に社会参画をめざす人

（大学院教育学研究科）

・高度な先端知識の修得と複雑かつ多様な課題の解決能力の修得に意欲のある人
・現職経験をもとに自らの職能向上や研究能力の修得に意欲のある社会人

（大学院連合教職実践研究科）

・学校や地域の指導的・中核的な教員として高度で優れた実践力の獲得をめざす現職教員
・新しい学校づくりの担い手として自ら学び続けることで実践的指導力の獲得をめざす人

（外国人留学生）

上記の学部若しくは大学院の求める学生像に加えて，次のような人を求めています。

・一定の日本語能力と大学教育を受けるに必要な基礎学力を持つ人
・日本の文化や社会についての理解や経験を活かして国際的に活躍することをめざす人

３．入学者選抜の基本方針

本学では，各募集区分の基本理念・目標等にふさわしい学生を受け入れるために，次の入学者選抜を実施します。

教育学部においては，一般入学試験（前期日程・後期日程），学部推薦入学試験，学部私費外国人留学生入学試験，第３年次編入学試験の多様な入学者選抜を実施します。

大学院においては，大学院入学試験を実施します。

特別支援教育特別専攻科においては，特別支援教育特別専攻科入学試験を実施します。

「初等教育教員養成課程アドミッション・ポリシー」

１．基本理念・目標

初等教育教員養成課程では，グローバルな視野と豊かな教養を身に付け，幼稚園と小学校との連携をふまえた専門的知識・技能及び優れた実践力・応用力を有する教員を養成します。そのために，教養科目及び基礎的科目を修得しながら，教職に関わる科目を幅広く学ぶとともに，一人ひとりの子どもの人権や安全を守る教育についての知識や能力を養い，幼児教育と小学校教育の双方の専門分野について学修を深めます。

本課程に置く「幼児教育専攻」では，幼児を理解する力や豊かな表現力を身に付け，小学校教育との接続を踏まえた幼児教育について総合的な視点をもつ実践力のある幼稚園教員の養成を目的としています。

「小学校教育専攻」の昼間コースでは，児童を理解する力や基礎的な指導力を身に付け，幼児教育との接続を踏まえた小学校教育について総合的な視点をもつ実践力のある小学校教員の養成を目的としています。

「小学校教育専攻」の夜間コースでは，昼間の勤労経験や教育現場でのインターンシップ活動など豊富な経験をもとに，豊かな人間性と社会性を備え，かつ，幼小連携に関心を持ち，優れた実践的能力を備えた小学校教員の養成を目的としています。なお，夜間コースの編入生に対しては，学生一人ひとりの学歴や専門性を活かして優れた実践的能力を備えた小学校教員の養成を目的としています。また，現職教員についても，個性や経歴を尊重した教育を行います。

２．求める学生像

・教職に就くことを強く希望し，その意志を持ち続けることのできる人
・教育や子どもの発達について，強い興味･関心と問題意識を持っている人
・明朗で協調性に富み，多様な人とのコミュニケーションが図れる人
・学校現場での豊富な体験や子どもとのふれあいなどを通して，確かな教育実践力を身に付けようとする人
・高等学校等で履修した教科・科目全般にわたる基礎学力を十分に身に付け，ＩＣＴの活用に積極性のある人

「学校教育教員養成課程アドミッション・ポリシー」

１．基本理念・目標

学校教育教員養成課程では，広い視野と豊かな教養を身に付け，専門的知識・技能及び優れた教育指導力を持った学校教員を養成します。そのために，教養科目及び基礎的科目を修得した上で，教職に関わる科目を学ぶとともに，学校安全や危機対応についての知識や能力を養い，さらに，自らが所属する「専攻」において，専門分野の学修を深めます。本課程に置く「特別支援教育専攻」では，特別支援教育に関する知識や優れた技能を持ち，特別支援学校及び通常の学校で特別支援教育に携わる教員の養成を目的としています。「小中教育専攻」では，小・中学校の教育に関する知識や技能を持ち，専門の教科などに優れ，小・中学校の連携を踏まえた指導ができる小学校教員の養成を主目的としています。「中等教育専攻」では，専門の教科を中心にした優れた教育指導力を持ち，中学校と高等学校の接続や一貫教育を踏まえた指導ができる中学校教員・高等学校教員の養成を目的としています。

２．求める学生像

・高等学校で履修した教科・科目の基礎学力を十分に身に付けた人
・教職に就くことを強く希望し，その意志を持ち続けることのできる人
・子どもたちの成長に関わることにやりがいと使命を感じることができる人
・多様な年齢の人々とコミュニケーションを図る能力を身に付けようとしている人
・学校生活の経験をとおして，学校や教育への親しみや関心を抱いている人
・特別支援教育専攻では，特別支援学校及び通常の学校で特別支援教育に携わる教員をめざすために十分な教育実践力を身に付けようとする意欲あふれる人
・小中教育専攻では，得意分野を中心に，小学校教員や中学校教員をめざすために十分な教育実践力を身に付けようとする意欲あふれる人
・中等教育専攻では，得意分野があり，その分野に関し中学校教員や高等学校教員としての十分な教育実践力を身に付けようとする意欲あふれる人

「養護教諭養成課程アドミッション・ポリシー」

１．基本理念・目標

養護教諭養成課程では，教育学の基礎の上に，医学・看護学・養護学など，幅広い専門分野の基礎知識と実践能力を備え，健康を保持増進する能力を子どもたちが獲得できるように，様々な機会を捉え支援する資質を備えた養護教諭を養成します。そのため，幅広い教養教育の基礎の上に立って，各専門分野の学修を深めるとともに，臨床（病院）実習，養護実習などをとおして実践能力の向上をめざします。さらに，学校安全や危機対応についての知識や能力を養います。

２．求める学生像

・養護教諭をめざすために必要な基礎学力があり，十分な教育実践力を身に付けようとする意欲にあふれた人
・養護教諭になることを強く希望し，その意志を持ち続けることのできる人
・子どもたちの健康な学校生活を支援することにやりがいと使命を感じる人
・人と明るく温かなコミュニケーションが図れる能力や個性を備えている人
※生物，化学を入学までに学修していることを前提として講義を行う

「教育協働学科アドミッション・ポリシー」

１．基本理念・目標

多様化し，複雑化する現代社会においては，学校の教師だけで子どもの教育を支え，学校の教育だけで社会の教育を支えることは不可能になってきています。教育協働学科は，学校現場や社会で絶え間なく発生する教育課題を解決するために，チーム学校を含む学校教育や地域教育活動を取り巻く分野（教育心理科学，健康安全科学，理数情報，グローバル教育，芸術表現，スポーツ科学）の専門性を有しつつ，教育的視点から学校，家庭，地域，社会と連携・協働することで，グローバル時代における多様な教育課題の解決を図ることができる人材の養成を目的とします。

そのため，学校と連携・協働して学校や地域における諸課題に対して教育的視点から解決を図ろうとする意欲を有する人材，また，学校教育のみならず家庭教育や社会教育においても，他者と協働しつつ高度な指導や支援，マネジメントができる人材，さらに，グローバル時代の多様な教育課題の解決を図ることが出来る人材を養成します。

２．求める学生像

・自ら専門性を有しつつ教育理解をもって多様な専門家や市民と協働し，生涯教育社会における学校と地域社会と共に多様な教育課題の解決を図ることができる人
・自らの専門分野で高度な知識や高い技能を修得し，それらを活用して学校，家庭，地域，社会において教育理解を持って連携・協働することに意欲のある人
・確かな学力と旺盛な知的好奇心，人間への深い愛情を持って，教育協働に資する分野で活躍したいと考えている人

３　ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

「教育学部ディプロマ・ポリシー」

所定の単位を修得することによって，豊かな教養と知性とともに，優れた教職能力をもって教育現場を担える教諭または養護教諭と認められる者，又は教育的視点から学校・家庭・地域・社会と連携・協働することによって，グローバル時代における多様な課題の解決を図る人材と認められる者に学士（教育学）の学位を授与します。

「初等教育教員養成課程ディプロマ・ポリシー」

豊かな教養と知性とともに,優れた教職能力をもって教育現場を担える教諭と認められる者として共通に必要とされる資質・能力について，次のとおり設定しています。

（１）豊かな教養と広い視野
・人文，社会，自然，芸術，スポーツ等の学術的・実践的な基本知識・理解に加え，キャリア形成に向けた，ＩＣＴスキル，言語運用能力，コミュニケーション力，および論理的・批判的思考力からなる汎用基礎力を身に付けている。
・世界の多様性を理解し，異文化・多文化を受容できる寛容な態度を身に付けている。

（２）学校教育の基礎的理解
・教育の理念や教育に関する歴史及び思想，並びに教職の意義，教員の職務内容についての基礎的な理解ができている。
・子どもの心身の発達と学習の過程についての基礎的な理解ができている。
・学校教育に関する制度や経営的事項，並びに学校安全，特別なニーズのある子どもの教育に関する基礎的な知識や技能を身に付けている。
・教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。），教育の方法や技術（情報機器及び教材の活用を含む。）についての理解をしている。

（３）指導内容の理解と実践力
・保育の各領域や小学校の各教科を指導するために必要な内容の理解を深め，それらについての情報機器や教材の活用を含めた指導方法の基本を身に付けている。
・保育環境や学習環境の整備，アクティブ・ラーニングを取り入れた指導計画の立案や授業づくりを行うことができる。
・保育や授業を分析する基本を身に付け，教材研究を行いながら，保育や授業を構想することができる。

（４）子どもへの対応の理解
・子ども理解に基づいて，幼児・児童の指導，キャリア教育及び教育相談に関する理論と実践的な方法について修得している。
・特別なニーズや，いじめ，不登校などの指導上の課題への対応方法を理解している。
・道徳教育の理論及び指導法，特別活動の指導法及び総合的な学習の時間の指導法について理解している。

（５）教職力量を自らひらく力
・実践的な教育活動に参画し，幼児・児童と積極的にコミュニケーションをとることができる。
・自らの学修を記録などに基づいて分析・省察し，将来への見通しや計画を立てることができる。
・チーム学校の構成員として，他者と協働して課題の解決に取り組むことができる。

「学校教育教員養成課程ディプロマ・ポリシー」

豊かな教養と知性とともに,優れた教職能力をもって教育現場を担える教諭と認められる者として共通に必要とされる資質・能力について，次のとおり設定しています。

（１）豊かな教養と広い視野
・人文，社会，自然，芸術，スポーツ等の学術的・実践的な基本知識・理解に加え，キャリア形成に向けた，ＩＣＴスキル，言語運用能力，コミュニケーション力，および論理的・批判的思考力からなる汎用基礎力を身に付けている。
・世界の多様性を理解し，異文化・多文化を受容できる寛容な態度を身に付けている。

（２）学校教育の基礎的理解
・教育の理念や教育に関する歴史及び思想，並びに教職の意義，教員の職務内容についての基礎的な理解ができている。
・子どもの心身の発達と学習の過程についての基礎的な理解ができている。
・学校教育に関する制度や経営的事項，並びに学校安全，特別なニーズのある子どもの教育及び英語教育に関する基礎的な知識や技能を身に付けている。
・教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。），教育の方法や技術（情報機器及び教材の活用を含む。）についての理解をしている。

（３）指導内容の理解と実践力
・小学校・中学校・高等学校の各教科，特別支援教育の各領域を指導するために必要な内容についての理解を深め，情報機器や教材の活用を含めた学習指導方法の基本を身に付けている。
・学習環境の整備やアクティブ・ラーニングを取り入れた指導計画の立案や授業づくりを行うことができる。
・授業分析の基本を身に付け，教材研究を行いながら，学習指導や授業を構想することができる。

（４）子どもへの対応の理解
・子ども理解に基づいて，児童・生徒の指導，キャリア教育及び教育相談に関する理論と実践的な方法について修得している。
・特別なニーズや，いじめ，不登校などの生徒指導上の課題への対応方法を理解している。
・道徳教育の理論及び指導法，特別活動の指導法及び総合的な学習の時間の指導法について理解している。

（５）教職力量を自らひらく力
・実践的な教育活動に参画し，児童・生徒と積極的にコミュニケーションをとることができる。
・自らの学修を記録などに基づいて分析・省察し，将来への見通しや計画を立てることができる。
・チーム学校の構成員として，他者と協働して課題の解決に取り組むことができる。

「養護教諭養成課程ディプロマ・ポリシー」

豊かな教養と知性とともに，優れた教職能力をもって教育現場を担える養護教諭と認められる者として共通に必要とされる資質・能力について，次のとおり設定しています。

（１）豊かな教養と広い視野
・人文，社会，自然，芸術，スポーツ等の学術的・実践的な基本知識・理解に加え，キャリア形成に向けた，ＩＣＴスキル，言語運用能力，コミュニケーション力，および論理的・批判的思考力からなる汎用基礎力を身に付けている。
・世界の多様性を理解し，異文化・多文化を受容できる寛容な態度を身に付けている。

（２）学校教育の基礎的理解
・教育の理念や教育に関する歴史及び思想，並びに教職の意義，教員の職務内容についての基礎的な理解ができている。
・子どもの心身の発達と学習の過程についての基礎的な理解ができている。
・学校教育に関する制度や経営的事項，並びに学校安全，特別なニーズのある子どもの教育及び英語教育に関する基礎的な知識や技能を身に付けている。
・教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。），教育の方法や技術（情報機器及び教材の活用を含む。）についての理解をしている。

（３）養護実践力
・養護の理念や思想，養護学，学校保健や学校安全に係る基礎理論・知識を学び，養護教諭の役割を明確に理解している。

・健康観察や健康診断の意義や方法，保健室の役割やその機能について理解している。
・子どもの心身の健康に関して，健康相談や救急処置に係る基礎的な知識・技能を身に付けている。

（４）子どもへの対応の理解
・子ども理解に基づいて，幼児・児童・生徒の指導と教育相談の理論及び実践的な方法について修得している。
・特別な教育的ニーズや，いじめ，不登校などの生徒指導上の課題への対応方法を理解している。
・道徳教育の理論及び指導法，特別活動の指導法及び総合的な学習の時間の指導法について理解している。

（５）教職力量を自らひらく力
・実践的な教育活動に参画し，幼児・児童・生徒と積極的にコミュニケーションをとることができる。
・自らの学修を記録などに基づいて分析・省察し，将来への見通しや計画を立てることができる。
・チーム学校の構成員として，他者と協働して課題の解決に取り組むことができる。

「教育協働学科ディプロマ・ポリシー」

豊かな教養と知性とともに，教育的視点から学校・家庭・地域・社会と連携・協働することによって，グローバル時代における多様な課題の解決を図る人材と認められる者として共通に必要とされる資質･能力について，次のとおり設定しています。

（１）豊かな教養と広い視野
・人文，社会，自然，芸術，スポーツ等の学術的・実践的な基本知識・理解に加え，キャリア形成に向けた，ＩＣＴスキル，言語運用能力，コミュニケーション力，および論理的・批判的思考力からなる汎用基礎力を身に付けている。
・世界の多様性を理解し，異文化・多文化を受容できる寛容な態度を身に付けている。

（２）教育理解
・社会や教育現場のグローバル化に対応し，学校や地域等と連携・協働しながら課題解決にあたる教育協働人材としての意欲や態度を身に付けている。
・教育の理念や歴史及び思想，子どもの発達と心理の理解，教育制度全般や学校の組織と役割の理解等の教育の基礎理論，及び学校安全に関する理解を含む教育についての基礎的知識を身に付けている。

（３）協働力
・他者と協働して問題を分析し，その課題を整理することができる。
・他者と協働して課題解決に向けてのプランを策定することができる。
・課題解決プランを他者と協働して実行するための実践力を身に付けている。

（４）専門的知識・技能
・所属する専攻・コースの分野に係る専門的知識・技能を備えている。
・専門的知識・技能を用いて，専門分野に関わる内容やその意義を社会に向けて的確に伝達，表現することができる。
・専門的知識・技能を主体的に活用し，行動することができる。

（５）教育協働実践力
教育的視点から学校・家庭・地域・社会と連携・協働することで，グローバル時代における多様な課題を解決するために実践的に行動できる。

４　カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

「教育学部カリキュラム・ポリシー」

教育学部のカリキュラムは，卒業認定・学位授与の方針を踏まえ，教育学部各課程・学科において定める卒業時に必要とされる資質・能力を育成することを目的として，体系的に編成し，実施するものとします。

「初等教育教員養成課程カリキュラム・ポリシー」

豊かな教養と知性とともに,優れた教職能力をもって教育現場を担える教諭と認められる者として共通に必要とされる資質・能力を育成することを目的として，カリキュラムは以下のとおり編成し，実施するものとします。

（１）豊かな教養と広い視野
教養教育では，人文，社会，自然，芸術，スポーツ等の学術的・実践的な基本知識・理解や，キャリア形成に向けた，ＩＣＴスキル，言語運用能力，コミュニケーション力，および論理的・批判的思考力からなる汎用基礎力を育成するとともに，世界の多様性を理解し，異文化・多文化を受容できる寛容な態度を身に付けることを目的として「基盤教養科目」と「多様性理解科目」から構成する総合科目と７つの領域にわたる分野別科目とともに外国語科目，体育科目，ＩＣＴ科目を体系的に編成します。

（２）学校教育の基礎的理解
教育の理念や歴史，思想および学校教育を取り巻く文化や社会と歴史，学校安全並びに人権尊重，地域との連携を含む学校教育の制度や経営について理解するとともに，教職の意義や教員の職務，学級担任の役割や子どもについて基礎的な理解（幼児，児童及び生徒の発達を含む。）及び教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。），教育の方法や技術（情報機器及び教材の活用を含む。）についての理解を深めることができるよう，「教育総論」や「発達と学習の心理学」，「学校の役割と経営」や「教育課程・方法論」などの教職専門科目を体系的に編成します。

（３）指導内容の理解と実践力
保育における各領域や小学校の各教科を指導するために必要なそれらの内容についての理解を深め,それらについての情報機器や教材の活用を含めた指導方法の基本を修得し，保育環境や学習環境の整備，アクティブ・ラーニングを取り入れた指導計画の立案や授業づくりができる能力や,保育や授業を分析する基本を身に付け,教材研究を行いながら,保育や授業を構想することができる能力を育成するため,保育内容指導法科目,小学校の各教科に係る教科専門科目及び指導法科目,専門教育としての幼稚園教育専門科目,教職や教育実践,教科教育からなる系列専門科目などの科目を体系的に編成します。

（４）子どもへの対応の理解
子ども理解に基づく幼児・児童の指導，キャリア教育及び教育相談に関する理論と実践的な方法を修得し，特別な教育的ニーズや，いじめ，不登校などの指導上の課題への対応方法や，道徳教育の理論及び指導法，特別活動の指導法及び総合的な学習の指導法について理解することができるよう，「教育相談の心理学」や「幼児理解と教育相談」，「特別活動論（総合的な学習の時間の指導法を含む）」や「道徳教育論」などの教職専門科目，「インクルーシブ教育システム論」などの教職基礎科目を体系的に編成します。

（５）教職力量を自らひらく力
実践的な教育活動に参加し，幼児・児童と積極的にコミュニケーションをとることができる能力や，自らの学修を記録などに基づいて分析・省察し，将来への見通しや計画を立てることができる能力，チーム学校の構成員の視点から他者と協働して課題の解決に取り組むことができる能力を育成するため,学校インターンシップ科目や「教育実習」などの教職関連科目，「教職実践演習」などの教職専門科目を体系的に編成します。

（６）その他
・各授業は，講義・演習・実験・実習などの方法により展開します。
・成績評価は，プレゼンテーション，レポート，試験など，多様な方法により行うものとするとともに，どのように成績に反映されるか，シラバスに明記するものとします。

・指導技術を向上させるための研修や教員同士での授業参観などを定期的に開催し，授業改善に取り組むものとします。

「学校教育教員養成課程カリキュラム・ポリシー」

豊かな教養と知性とともに，優れた教職能力をもって教育現場を担える教諭と認められる者として共通に必要とされる資質・能力を育成することを目的として，カリキュラムは以下のとおり編成し，実施するものとします。

（１）豊かな教養と広い視野

教養教育では，人文，社会，自然，芸術，スポーツ等の学術的・実践的な基本知識・理解や，キャリア形成に向けた，ＩＣＴスキル，言語運用能力，コミュニケーション力，および論理的・批判的思考力からなる汎用基礎力を育成するとともに，世界の多様性を理解し，異文化・多文化を受容できる寛容な態度を身に付けることを目的として，「基盤教養科目」と「多様性理解科目」から構成する総合科目と７つの領域にわたる分野別科目とともに外国語科目，体育科目，ＩＣＴ科目を体系的に編成します。

（２）学校教育の基礎的理解

教育の理念や歴史，思想および学校教育を取り巻く文化や社会と歴史，学校安全並びに人権尊重，地域との連携を含む学校教育の制度や経営について理解するとともに，教職の意義や教員の職務，学級担任の役割や子どもについて基礎的な理解（幼児，児童及び生徒の発達を含む。）及び教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。），教育の方法や技術（情報機器及び教材の活用を含む。）についての理解を深めることができるよう，「教育総論」や「発達と学習の心理学」，「学校の役割と経営」や「教育課程・方法論」などの教職専門科目を体系的に編成します。

（３）指導内容の理解と実践力

小学校・中学校・高等学校の各教科及び特別支援教育の各領域を指導するために必要なそれらの内容についての理解を深め，情報機器や教材の活用を含めた学習指導方法の基本を修得し，学習環境の整備，アクティブ・ラーニングを取り入れた指導計画の立案や授業づくりができる能力や，授業分析の基本を身に付け，教材研究を行いながら，学習指導や授業を構想することができる能力を育成するため，小学校の各教科に係る教科専門科目及び指導法科目，専門教育としての教育科学（教育学・心理学・道徳教育学）や，中・高等学校の各教科内容に係る高度な理解に資するコース専門科目，特別支援教育専門科目を体系的に編成します。

（４）子どもへの対応の理解

子ども理解に基づく児童・生徒の指導，キャリア教育及び教育相談に関する理論と実践的な方法を修得し，特別な教育的ニーズや，いじめ，不登校などの生徒指導上の課題への対応方法や，道徳教育の理論及び指導法，特別活動の指導法及び総合的な学習の指導法について理解することができるよう，「生徒指導・進路指導論」や「教育相談の心理学」，「特別活動論（総合的な学習の時間の指導法を含む。）」や「道徳教育論」などの教職専門科目，「インクルーシブ教育システム論」などの教職基礎科目を体系的に編成します。

（５）教職力量を自らひらく力

実践的な教育活動に参加し，児童・生徒と積極的にコミュニケーションをとることができる能力や，自らの学修を記録などに基づいて分析・省察し，将来への見通しや計画を立てることができる能力，チーム学校の構成員の視点から他者と協働して課題の解決に取り組むことができる能力を育成するため，学校インターンシップ科目や「教育実習」などの教職関連科目，「教職実践演習」などの教職専門科目を体系的に編成します。

（６）その他

・各授業は，講義・演習・実験・実習などの方法により展開します。
・成績評価は，プレゼンテーション，レポート，試験など，多様な方法により行うものとするとともに，どのように成績に反映されるか，シラバスに明記するものとします。
・指導技術を向上させるための研修や教員同士での授業参観などを定期的に開催し，授業改善に取り組むものとします。

「養護教諭養成課程カリキュラム・ポリシー」

豊かな教養と知性とともに,優れた教職能力をもって教育現場を担える養護教諭と認められる者として共通に必要とされる資質・能力を育成することを目的として，カリキュラムは以下のとおり編成し，実施するものとします。

（1）豊かな教養と広い視野

教養教育では，人文，社会，自然，芸術，スポーツ等の学術的・実践的な基本知識・理解や，キャリア形成に向けた，ＩＣＴスキル，言語運用能力，コミュニケーション力，および論理的・批判的思考力からなる汎用基礎力を育成するとともに，世界の多様性を理解し，異文化・多文化を受容できる寛容な態度を身に付けることを目的として，「基盤教養科目」と「多様性理解科目」から構成する総合科目と７つの領域にわたる分野別科目とともに外国語科目，体育科目，ＩＣＴ科目を体系的に編成します。

（2）学校教育の基礎的理解

教育の理念や歴史，思想および学校教育を取り巻く文化や社会と歴史，学校安全並びに人権尊重，地域との連携を含む学校教育の制度や経営について理解するとともに，教職の意義や教員の職務，学級担任の役割や子どもについて基礎的な理解（幼児，児童及び生徒の発達を含む。）及び教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。），教育の方法や技術（情報機器及び教材の活用を含む。）についての理解を深めることができるよう，「教育総論」や「発達と学習の心理学」，「学校の役割と経営」や「教育課程・方法論」などの教職専門科目を体系的に編成します。

（3）養護実践力

養護の理念や思想，養護学，学校保健や学校安全，子どもの心身の健康に関する健康相談や救急処置に係る基礎理論・知識を学び，養護教諭の役割を明確に理解するとともに，健康観察や健康診断の意義や方法，保健室の役割やその機能について理解することができるよう,専門教育としての養護教育専門科目を体系的に編成します。

（4）子どもへの対応の理解

子ども理解に基づく幼児・児童・生徒の指導と教育相談の理論及び実践的な方法を修得し，特別な教育的ニーズや，いじめ，不登校などの生徒指導上の課題への対応方法や，道徳教育の理論及び指導法，特別活動の指導法及び総合的な学習の指導法について理解することができるよう，「生徒指導論」や「教育相談の心理学」，「特別活動論（総合的な学習の時間の指導法を含む。）」や「道徳教育論」などの教職専門科目，「インクルーシブ教育システム論」などの教職基礎科目を体系的に編成します。

（5）教職力量を自らひらく力

実践的な教育活動に参加し，幼児・児童・生徒と積極的にコミュニケーションをとることができる能力や，自らの学修を記録などに基づいて分析・省察し，将来への見通しや計画を立てることができる能力，チーム学校の構成員の視点から他者と協働して課題の解決に取り組むことができる能力を育成するため,学校インターンシップ科目や「養護実習」などの教職関連科目，「教職実践演習」などの教職専門科目を体系的に編成します。

（6）その他

・各授業は，講義・演習・実験・実習などの方法により展開します。
・成績評価は，プレゼンテーション，レポート，試験など，多様な方法により行うものとするとともに，どのように成績に反映されるか，シラバスに明記するものとします。
・指導技術を向上させるための研修や教員同士での授業参観などを定期的に開催し，授業改善に取り組むものとします。

「教育協働学科カリキュラム・ポリシー」

豊かな教養と知性とともに，教育的視点から学校・家庭・地域・社会と連携・協働することによって，グローバル時代における多様な課題の解決を図る人材と認められる者として共通に必要とされる資質･能力を育成することを目的として，カリキュラムは以下のとおり編成し，実施するものとします。

（１）豊かな教養と広い視野

教養教育では，人文，社会，自然，芸術，スポーツ等の学術的・実践的な基本知識・理解や，キャリア形成に向けた，ＩＣＴスキル，言語運用能力，コミュニケーション力，および論理的・批判的思考力からなる汎用基礎力を育成するとともに，世界の多様性を理解し，異文化・多文化を受容できる寛容な態度を身に付けることを目的として，「基盤教養科目」と「多様性理解科目」から構成する総合科目と７つの領域にわたる分野別科目とともに外国語科目，体育科目，ＩＣＴ科目を体系的に編成します。

（２）教育理解

社会のグローバル化に対応し，学校や地域等と連携の上，協働して課題解決にあたる教育協働人材としての基礎である教育の理念や教育の歴史及び思想，子どもの発達と心理の理解，教育制度全般や学校の組織と役割の理解などの教育の基礎理論や，学校安全の学修を通して，学校や地域における諸課題に対して教育的視点から解決を図ろうとする意欲や態度を醸成するため，教育基礎科目における「教育基礎セミナー」や「教育総論」，「学校の役割と経営」や「学校安全」などにより体系的に編成します。

（３）協働力

他者と協働して問題を分析のうえ整理し，課題解決に向けてのプランを策定することができる能力や課題解決プランを他者と協働して実行するための実践力を育成するため，専門教育科目に教育協働科目を開設し，「教育協働概論」，「教育協働デザイン演習」などの協働共通科目，各自が所属する専攻に対応する専攻共通科目を体系的に編成します。

（４）専門的知識・技能

所属する専攻・コースの分野に係る専門的知識・技能を備え，専門分野に関する内容やその意義を社会に向けて的確に伝達，表現することができる能力や，主体的に物事を考え，行動することに専門的知識・技能を活用できる能力を育成するため，専門教育科目において各自が所属する専攻に対応する専攻分野科目を体系的に編成します。

（５）教育協働実践力

教育的視点から学校・家庭・地域・社会と連携・協働することで，グローバル時代における多様な課題を解決するために実践的に行動できる能力を育成するため，専門教育科目における教育協働科目「教育コラボレーション演習」，「外国語実践演習」，課題解決型学習（ＰＢＬ）科目であるプロジェクト演習科目などにより体系的に編成します。

（６）その他

・各授業は，講義・演習・実験・実習などの方法により展開する。
・成績評価は，プレゼンテーション，レポート，試験など，多様な方法により行うものとするとともに，どのように成績に反映されるか，シラバスに明記するものとする。
・指導技術を向上させるための研修や教員同士での授業参観などを定期的に開催し，授業改善に取り組むものとします。

５　出　願　資　格

次のいずれかに該当する者で，平成３１年度大学入試センター試験において，本学が各募集区分で指定した教科・科目（２３～２７頁「入学者選抜の実施教科・科目等について」を参照）を受験した者。

なお，大学入試センター試験の外国語で英語を受験している場合は，必ずリスニングテストを受験していること。（リスニングテスト免除者は除く。なお，外国語の配点については３１頁参照）

(1)　高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。）を卒業した者及び平成３１年３月卒業見込みの者

(2)　通常の課程による１２年の学校教育を修了した者及び平成３１年３月修了見込みの者

(3)　学校教育法施行規則（昭和２２年文部省令第１１号）第１５０条の規定により，高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び平成３１年３月３１日までにこれに該当する見込みの者（次のア～カのいずれかに該当する者）

ア　外国において学校教育における１２年の課程を修了した者及び平成３１年３月３１日までに修了見込みの者又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの

イ　文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び平成３１年３月３１日までに修了見込みの者

ウ　専修学校の高等課程（修業年限が３年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者

エ　文部科学大臣の指定した者

オ　高等学校卒業程度認定試験規則（平成１７年文部科学省令第１号）により文部科学大臣が行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者及び平成３１年３月３１日までに合格見込みの者（大学入学資格検定に合格した者を含む）

カ　本学において，個別の入学資格審査により，高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で，平成３１年３月３１日までに１８歳に達するもの

注　上記出願資格（３）カにより出願を希望する者は，事前に個別の入学資格審査を行いますので，必ず入試課（０７２－９７８－３３２４）へ問い合わせの上，次の期間内に個別の入学資格審査申請を行ってください。

・第１回目　平成３０年８月　１日（水）～平成３０年８月３１日（金）［受付終了］

・第２回目　平成３１年１月２２日（火）～平成３１年１月２４日（木）

なお，審査結果は第１回目については，平成３０年９月６日（木），第２回目については，平成３１年１月２９日（火）頃に本人宛に通知します。

６　他の国公立大学・学部との併願及び本学内での併願について

ア　本学は，分離分割方式「前期日程，後期日程」で個別学力検査等を行います。

イ　本学の「前期日程」に出願する者は，本学の「後期日程」若しくは他の国公立大学・学部（※独自日程で入学者選抜を行う公立大学・学部を除く。以下同じ。）の「後期日程」に併願することができます。また，本学の「後期日程」に出願する者は，本学の「前期日程」若しくは他の国公立大学・学部の「前期日程」に併願することができます。

※公立大学協会ホームページ（http://www.kodaikyo.org/）参照

ウ　本学の「前期日程」に出願する者は，他の国公立大学・学部の「前期日程」に出願することはできません。また，本学の「後期日程」に出願する者は，他の国公立大学・学部の「後期日程」に出願することはできません。

エ　「前期日程」の入学手続完了者は，本学の「後期日程」の個別学力検査等を受験していても，合格者とはなりません。

オ　国公立大学の推薦入試合格者は，当該大学・学部の定める推薦入学辞退手続により入学の辞退を許可された場合を除いて，本学の個別学力検査等を受験していても，入学許可は得られません。

７　出願期間・出願手続

（１）　出　願　期　間

平成３１年１月２８日（月）～平成３１年２月６日（水）必着

（２）　出　願　方　法

大阪教育大学では平成３１年度入試より，出願方法が「インターネット出願（インターネットで必要事項を入力した上で，調査書等の出願書類を郵送する方法）」に変わりました。出願完了には下記Ａ，Ｂ，Ｃの順番で全ての手続が必要です。なお各手続には受付期間が定められており，いずれか一つでも出願受付期間中に手続きが完了できない場合は出願を受理できませんので，十分ご注意ください。

Ａ　インターネットによる出願登録
Ｂ　入学検定料等（支払手数料含む）の支払い
Ｃ　出願に必要な書類等の郵送での提出

【出願受付期間】

Ａ　インターネット出願登録期間	平成 31 年 1 月 28 日（月）9 時～平成 31 年 2 月 6 日（水）12 時（日本時間）
Ｂ　入学検定料等の支払期間	平成 31 年 1 月 28 日（月）9 時～平成 31 年 2 月 6 日（水）12 時（日本時間）
Ｃ　出願書類の郵送受付期間	平成 31 年 1 月 28 日（月）　～平成 31 年 2 月 6 日（水）必着

この期間中に，インターネット出願登録と入学検定料等の支払いを完了し，なおかつ必要書類等が本学に到着していなければなりません。

必要書類等の受付は，郵送（書留速達）のみとし，出願受付期間を過ぎたものは受理しないので郵便事情を考慮し，余裕をもって早めに送付してください。ただし出願受付期間後に到着した場合でも２月４日（月）までの発信局消印がある書留速達郵便に限り受理します。また，出願受付期間最終日の２月６日（水）のみ，９時から１７時まで，大阪教育大学入試課（柏原キャンパスＣ１棟１階）への持参を認めます。

インターネット環境がない等の理由で，「Ａ　インターネットによる出願登録」を行えない場合は，大阪教育大学入試課まで相談してください。相談時期によっては，出願が間に合わない場合がありますので，早めの連絡をお願いいたします。

大阪教育大学入試課：０７２－９７８－３３２４（入試課直通）
※出願登録期間中，入試課窓口に設置する出願用パソコン・プリンタを利用することができます。
利用可能期間：出願登録期間中の平日（９：００～１７：００，ただし６日は９：００～１２：００）

（３）　出願手順（インターネット出願）

大阪教育大学　入学試験　インターネット出願登録ページ
https://sak-sak.net/app/oku
※本学が出願登録業務を委託した外部サイトにつながります。

上記のインターネット出願登録ページへアクセスし，重要事項が記載されている**「利用案内」「出願手順」「Q&A」を必ず確認した上で**，出願手続きを行ってください。

【登録前に準備するもの】

インターネット出願は登録中であっても，３０分間何の処理も行わなかった場合は，データが消去されてしまいますので，ご注意ください。

	パソコン・スマートフォン等の動作環境	インターネットに接続されたパソコン・スマートフォン等から出願登録を行います。自宅にパソコン等がない場合は，学校等のパソコン等から出願してください。なお，大阪教育大学入試課にインターネット出願用のパソコンを設置しています。
	印刷環境（カラー推奨）	郵送が必要な書類をＡ４用紙で印刷します。白黒印刷でもかまいません。自宅にプリンタ等がない場合は，学校等のプリンタ等から出力してください。なお，大阪教育大学入試課にインターネット出願用のプリンタを設置しています。
	メールアドレス	日常的に確認しやすいもの。出願登録時に必要となります。メール受信設定でドメインの設定を行っている場合は，「@sak-sak.net」を受信可能なドメインとして設定してください。

	写　　真	２枚（同一）必要です。カラー，正面，上半身，脱帽，縦 4cm×横 3cm，３か月以内に撮影したもの。
	出願に必要な書類	志望する専攻，コース等により必要書類が異なります。必ず提出期間内に間に合うように郵送してください。
	封　　筒	必要書類送付のために市販の角２封筒（24cm×33.2cm）をご用意ください。
	JAPAN e-Portfolio への学びのデータの登録	学びのデータを「高大接続ポータルサイト JAPAN e-Portfolio」の登録を通じて提出する場合は２０頁（８）を参照に学びのデータを登録してください。利用されていない方は，何もする必要はありません。

【出願登録受付期間】
平成 31 年 1 月 28 日（月）9 時 00 分 ～平成 31 年 2 月 6 日（水）12 時 00 分（日本時間）

【登録方法】
① 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）及び個人情報の取り扱いについて同意したうえで，「出願開始」ボタンをクリックしてください。
② 画面の指示に従って，「志願票選択」，「試験選択」，「志願先選択」画面で受験する区分，専攻，コース等を選択してください。なお，志望する専攻・コース等によっては「志願先付属情報」の入力を求められますので，必要に応じて入力してください。
　注）実技試験を選択する者で，曲名等を登録して申請する必要がある者は，「志願先付属情報」で入力してください。
③ 画面の指示に従って「科目選択」で実技科目の選択，または「科目確認」で受験する科目の確認，「試験場確認」を行ってください。
④ 「試験選択」「選択中試験内容」を確認して，間違いがなければ「次へ」をクリックしてください。
⑤ 画面の指示に従って，志願者の個人情報を入力してください。メールの受信確認は出来る限り行ってください。
※JAPAN e-Portfolio と連携させる場合は，「JeP 出願コード取得」ボタンから画面の指示に従ってください。
⑥ 画面の指示に従って，「志願者情報入力確認」で訂正がないか，確認してください。出願登録完了後の登録内容の変更は出来ませんので，登録した内容を十分に確認してください。
⑦ 出願確認票の印刷
　「提出用書類印刷」をクリックし，Ａ４サイズの白の用紙に片面で印刷（カラー推奨・白黒可）してください。
⑧ 入学検定料等の支払い
　次のいずれかの方法で支払い手続きを行ってください。出願確認票（本人控）に記載された支払期限までにお支払いください。
　a　クレジットカード，ネットバンキング
　　画面に従って，支払い手続きを行ってください。
　b　指定のコンビニエンスストア及び Pay-easy（ペイジー）取扱い金融機関のＡＴＭ
　　ⅰ　支払方法を選択し，表示される受付番号等（※）をメモするか，画面を印刷してください。
　　※支払いのための受付番号等は，出願受付番号とは別の番号です。
　　ⅱ　受付番号等を使用し，コンビニエンスストア，金融機関で支払い手続きを行ってください。
　　詳細は支払方法選択ページの「ご利用方法について」でご確認ください。
⑨ 必要書類等の郵送
　必要書類等を書留速達により郵送してください。

【出願書類の郵送受付期間】
平成 31 年 1 月 28 日（月）～　平成 31 年 2 月 6 日（水）（必着）

　郵送受付期間後に到着した場合でも，２月４日（月）までの発信局消印がある書留速達郵便に限り受理します。（郵便事情を考慮して，早めに送付してください。）なお，出願受付期間最終日の２月６日（水）のみ，９時から１７時まで，大阪教育大学入試課（柏原キャンパスＣ１棟１階）への持参を認めます。

注意　インターネット出願において，出願登録及び入学検定料等の支払いを行っただけでは，出願手続き完了にはなりません。郵送受付期間に必要書類等を郵送（必着）する必要があります。
　郵送受付期間を過ぎたものは受理しないので，郵便事情を十分考慮し，余裕をもって早めに送付してください。

（４）　入学検定料等の支払い方法

①入学検定料等　１７，３７２円（入学検定料１７，０００円と受験票送付用郵便代３７２円）。
ただし，夜間５年コースは　１０，３７２円（入学検定料１０，０００円と受験票送付用郵便代３７２円）。
　入学検定料等支払い時に，別途インターネット出願システム利用料（４５０円）がかかります。

②支払方法

　クレジットカード，ネットバンキング，コンビニエンスストア，Pay-easy（ペイジー）の利用が可能です。それぞれの詳しい支払方法や手続き・注意事項等は「インターネット出願登録ページ」で出願情報登録後の「支払方法選択」でご確認ください。

支払方法	備考
クレジットカード VISA,MasterCard	◆入学検定料等の支払いをインターネット出願登録と同時に完了することができます。
ネットバンキング ジャパンネット銀行，ゆうちょ銀行 楽天銀行，じぶん銀行等	
コンビニエンスストア ローソン，ミニストップ，ファミリーマート， セイコーマート，セブン-イレブン， デイリーヤマザキ	◆各コンビニにより支払方法が異なりますので,詳細はインターネット出願登録ページ内の「コンビニエンスストアでお支払い」をご確認ください。 ◆支払い後，決済データの反映に数時間かかります。 ◆領収書のコピーを出願確認票に貼付してください。 （セブン-イレブンで支払った場合は貼付不要）
Pay-easy(ペイジー)を利用可能なＡＴＭ	◆取扱金融機関の Pay-easy ロゴが付いている ATM で支払うことができます。 ◆明細票のコピーを出願確認票に貼付してください。

【入学検定料等の支払い受付期間】
平成 31 年 1 月 28 日（月）9 時 00 分～平成 31 年 2 月 6 日（水）12 時 00 分（日本時間）

③注意事項

　出願後，一旦受理した入学検定料等は２２頁（１０）の場合を除き返還できません。
　東日本大震災（平成２３年３月１１日発生）及び熊本地震（平成２８年４月１４日発生）により被災した志願者を対象に入学検定料の免除を行う場合があります。詳細は以下の本学ウェブページを参照してください。

https://osaka-kyoiku.ac.jp/admission/nyushi/kenteiryou_menjyo.html

（５）　出願に当たっての留意事項

1　出願書類受理後は，出願事項の変更は認めません。また，出願事項（JAPAN e-Portfolioも含みます。）が事実と相違していることが判明した場合は，合格又は入学許可を取り消すことがあります。
2　受理した出願書類は，いかなる理由があっても一切返還できません。
3　出願書類の件で連絡する場合があるので，出願期間中は連絡がとれるようにしておいてください。
4　出願書類の受領確認は電話でお答えできません。日本郵便ホームページ（https://www.post.japanpost.jp/index.html）の追跡サービスでご確認ください。
5　本学が各募集区分で指定した平成３１年度大学入試センター試験の教科・科目を受験していることを確認してください。（２３～２７頁，７１～７３頁参照）
6　**受験票の発送は２月１４日（木）を予定**しています。

出願状況の情報提供

平成３１年１月３０日（水）から本学ウェブページで出願状況をお知らせします。
大阪教育大学ウェブページ　https://osaka-kyoiku.ac.jp/admission/nyushi/gakubu_ippan.html

（６）　出願書類等

Ａ　①～④はインターネット出願登録完了画面から印刷（片面）して，Ｂと同一の封筒に入れて提出してください。

書類等		摘要
①	出願確認票	①　インターネット出願登録ページの出願登録完了画面からＡ４用紙に片面で印刷してください。 ②　コンビニエンスストアやPay-easy（ペイジー）を利用可能なＡＴＭで入学検定料等を支払った場合は，領収書（明細票）のコピーを所定の位置に貼り付けてください。（※セブン-イレブンで支払った場合は貼付不要） ③　出願確認票の所定欄に，「平成３１センター試験成績請求票」を貼付してください。 「前期日程」に出願する場合は，「前　国公立前期日程用」を，「後期日程」に出願する場合は，「後　国公立後期日程用」を貼付してください。 【注】成績請求票を提出していない場合，又は指定のものと異なる成績請求票を提出した場合は，出願が無効となる場合があるので，注意してください。
②	写真票	写真は２枚（同一）必要です。インターネット出願登録完了画面からＡ４用紙に印刷し，所定の位置に貼り付けてください。 （カラー，正面，上半身，脱帽，縦４㎝×横３㎝で３か月以内に撮影したもの。写真の裏面に氏名及び志望専攻名を記入してください。）
③	書類確認票	必要な書類を確認し，揃っていればチェック欄にレ印を入れ，氏名を記入してください。
④	送付ラベル	出願登録完了画面からＡ４用紙に印刷（カラー推奨）の上，必要書類郵送用封筒（市販の角２封筒）の表面に貼り付けてください。

Ｂ　⑤～⑨は志願者が準備してＡと同一の封筒に入れて提出してください。

書類等		摘要
⑤	調査書	①　出身学校長が作成し，厳封したもの（**前期・後期日程ごとに一部必要**） ②　高等学校卒業程度認定試験合格者（大学入学資格検定合格者含む。）は，合格成績証明書をもって調査書に代えます。なお，高等学校等で修得したことにより受験科目を一部免除された場合は，高等学校等の調査書も提出してください。（調査書を提出できない場合は，成績証明書を提出してください。） ③　１３頁の出願資格の(2)及び(3)のイに該当する者は，高等学校が作成する調査書に準じて作成したものを提出してください。 ④　１３頁の出願資格の(3)のア，ウ，エに該当する者は，成績証明書等を提出してください。 ⑤　卒業後の経過年数，廃校又は被災等の事情により，出身学校長の調査書を提出できない場合は，調査書に代わるもの（成績通知書，出身学校が作成した「調査書を発行できない旨の文書」，卒業証明書など）を提出してください。 ⑥　証明書等が日本語以外で記載されている場合は，日本語訳を添付してください。
⑥	入学資格（出願資格）認定書	１３頁の出願資格の(3)のカに該当する者は，大阪教育大学の入学資格（出願資格）認定書（コピー）を提出してください。
⑦	英語能力測定試験に関する証明書（小中教育専攻・中等教育専攻　英語教育コース志望者及び英語コミュニケーションコース志望者で得点加算を希望する者）※	実用英語技能検定，TOEFL iBT などの英語能力測定試験で所定の等級又はスコア取得により，所定の点数加算を希望する場合は，該当する試験の成績証明書など（コピー可）を提出してください。提出していただいた成績証明書などは一切返却しません。 【注】出願受付期間後に提出することはできません。 **コピーの場合は，高等学校が原本証明したものを必ず提出**してください。 ※スコア等が有効となる期間は１８～２０頁で必ず確認してください。

書　類　等		摘　　要
⑧	英語活動に関する証明書（小中教育専攻・中等教育専攻　英語教育コース志望者で得点加算を希望する者）※	スピーチコンテストやディベートコンテストあるいはそれに類する英語での活動における受賞歴や優れた業績を収めている者で，点数加算を希望する場合は，英語での活動内容が客観的に証明できる書類（表彰状などコピー可）を提出してください。提出していただいた表彰状などは一切返却しません。 【注】出願受付期間後に提出することはできません。 **コピーの場合は，高等学校が原本証明したものを必ず提出**してください。 ※高等学校入学以降のものに限ります。
⑨	伴　奏　用　楽　譜	音楽実技選択者のうち，該当する者は提出してください。 音楽実技実施科目の歌曲及び声楽に必要な伴奏用楽譜は，１ページの大きさをＢ５（縦257mm×横182mm）判とし志願者氏名を明記してください。

※⑦「英語能力測定試験に関する証明書」，⑧「英語活動に関する証明書」については，「JAPAN e-Portfolio」で学びのデータとして登録し，インターネット出願登録ページを経由して提出する事が出来ます。提出方法については，２０頁『（８）JAPAN e-Portfolio での学びのデータの提出について』を確認してください。

（７）　英語能力測定試験の成績利用

（７）－１　小中教育専攻・中等教育専攻　英語教育コース

小中教育専攻 英語教育コースと中等教育専攻 英語教育コースでは，実用英語技能検定，TOEFL iBT などの英語能力測定試験で本学が指定する等級又はスコアを取得している場合，若しくは英語での活動における受賞歴等がある場合は，大学入試センター試験の得点の合計点が満点に達するまで所定の点数を加算することができます。ただし，（ア）と（イ）の合計点は 50 点を超えないものとします。

（ア）本学が定める大学入試センター試験の得点の合計点に加算できる英語能力測定試験の等級又はスコアは次のとおりです。なお，利用できる英語能力測定試験は高等学校入学以降に受検した試験を対象とし，利用できる英語能力測定試験は１つのみとします。

センター試験への得点加算	実用英語技能検定（英検）	TOEFL iBT	IELTS ＊	TOEIC (LR)	GTEC for STUDENTS ＊＊	GTEC（４技能）＊＊	GTEC（３技能）＊＊
50 点	準１級以上	80 以上	6.0 以上	730 以上	800 以上	1190 以上	730 以上
30 点		65 以上	5.0 以上	600 以上	680 以上	1070 以上	650 以上

＊　IELTS はアカデミック・モジュールとジェネラル・トレーニング・モジュールの両方を対象とします。

＊＊GTEC for STUDENTS，GTEC（４技能），GTEC（３技能）は検定受検だけではなく，通常受検も対象とします。

英語能力測定試験の提出書類（小中教育専攻 英語教育コースと中等教育専攻 英語教育コース）

英語能力測定試験で所定の等級又はスコアを取得しているため，大学入試センター試験の得点の合計点に加算することを希望する場合には，該当する試験の成績証明書など（コピー可）を１通用意して，必要書類郵送用封筒に同封のうえ出願してください。なお，**コピーの場合は，高等学校が原本証明したものを必ず提出**してください。（英語能力測定試験の成績証明書などを出願受付期間後に提出することはできません。）

英語能力測定試験	提出書類（成績証明書など）
実用英語技能検定（英検）	実用英語技能検定　合格証明書
TOEFL iBT	TOEFL Internet-based Test Examinee Score Report
IELTS	IELTS Test Report Form（成績証明書）
TOEIC（LR）	TOEIC Official Score Certificate（公式認定証）
GTEC for STUDENTS	GTEC for STUDENTS Score Report
GTEC（４技能）	Score Report
GTEC（３技能）	Score Report

（注１）複数取得している場合には，最も得点加算が高いものを提出してください。
（注２）提出していただいた成績証明書などは一切返却しません。

（イ）スピーチコンテストやディベートコンテストあるいはそれに類する英語での活動における受賞歴や優れた業績を収めている場合は，50 点を上限として，大学入試センター試験の得点の合計点が満点に達するまで加算します。ただし，高等学校入学以降のものに限ります。

加点を希望する場合は，英語での活動内容が客観的に証明できる書類（表彰状などコピー可）を用意して，必要書類郵送用封筒に同封のうえ提出してください。

なお，**コピーの場合は，高等学校が原本証明したものを必ず提出**してください。

上記（ア）（イ）の加点を希望する場合は，該当する検定試験等をインターネット出願で登録して申請してください。

（７）－２　グローバル教育専攻　英語コミュニケーションコース

グローバル教育専攻 英語コミュニケーションコースでは，実用英語技能検定，TOEFL iBT などの英語能力測定試験で本学が指定する等級又はスコアを取得している場合は，大学入試センター試験と個別学力検査「外国語」の得点の合計点が満点に達するまで所定の点数を加算することができます。

なお，利用できる英語能力測定試験は実用英語技能検定（英検）については高等学校入学以降，他の英語能力測定試験は出願最終日から遡って２年以内に受検したものを対象とし，利用できる英語能力測定試験は１つのみとします。

合計点への得点加算	実用英語技能検定（英検）	TOEFL iBT	IELTS ＊	TOEIC + TOEIC SW＊＊	GTEC CBT
100 点	準１級以上	80 以上	6.5 以上	1090 以上	1200 以上
30 点		65 以上	5.5 以上	890 以上	1050 以上
20 点		60 以上	4.5 以上	790 以上	1000 以上
10 点		55 以上	4.0 以上	770 以上	950 以上

＊IELTS はアカデミック・モジュールのみを対象とします。
＊＊「TOEIC テスト」及び「TOEIC SW テスト」両試験の受検及びスコアを必須とします。

英語能力測定試験の提出書類（グローバル教育専攻 英語コミュニケーションコース）

英語能力測定試験で所定の等級又はスコアを取得しているため，大学入試センター試験と個別学力検査「外国語」の得点の合計点に加算を希望する場合には，該当する試験の成績証明書など（コピー可）を１通用意して，必要書類郵送用封筒に同封のうえ出願してください。なお，**コピーの場合は，高等学校が原本証明したものを必ず提出**してください。（英語能力測定試験の成績証明書などを出願受付期間後に提出することはできません。）

英語能力測定試験	提出書類（成績証明書など）
実用英語技能検定（英検）	実用英語技能検定　合格証明書
TOEFL iBT	TOEFL Internet-based Test Examinee Score Report
IELTS	IELTS Test Report Form（成績証明書）
TOEIC + TOEIC SW	TOEIC Official Score Certificate（公式認定証） 及び TOEIC Speaking and Writing Test Official Score Certificate（公式認定証）
GTEC CBT	GTEC CBT Score Report

（注１）複数取得している場合には，最も得点加算が高いものを提出してください。
（注２）提出していただいた成績証明書などは一切返却しません。

なお，上記の加点を希望する場合は，該当する検定試験等をインターネット出願で登録して申請してください。

（８）　JAPAN e-Portfolioでの学びのデータの提出について

本学では，文部科学省大学入学者選抜改革推進委託事業（主体性等分野）に参画し，多面的・総合的評価の実現をめざしています。当該事業で開発された高大接続ポータルサイト「JAPAN e-Portfolio」を通じて学びのデータの提出を行うことが出来ます。提出いただいたデータは，以下の目的で利用させていただきます。

■利用目的

ⅰ入学者選抜に係るデータとして利用（主体性評価として利用）

ⅱ参考・参照利用（今後の入学者選抜改革に向けて参考にします。）

入学者選抜に利用せず，参考・参照資料としてのみ利用します。合否には一切影響しませんので，提出にご協力いただける方は，任意での提出をお願いします。

ⅰに該当する方で，JAPAN e-Portfolioを利用していない方は，証明書等を紙で提出していただくこととなりますので，１７頁⑦，１８頁⑧を参考に証明書等を他の出願書類と共に提出してください。

※詳細につきましては，https://jep.jp/statics/faq/syutsugan.htmlをご覧ください。

JAPAN e-Portfolioを利用する専攻・コース等

課程・学科	専攻	コース	備　考
学校教育教員養成課程	小中教育専攻	英語教育コース	英語能力測定試験等の加点に利用
	中等教育専攻	英語教育コース	英語能力測定試験等の加点に利用
教育協働学科	グローバル教育専攻	英語コミュニケーションコース	英語能力測定試験の加点に利用

１．学びのデータの登録方法

① 出願にあたって，英語での活動実績，資格・検定等を事前に「JAPAN e-Portfolio」（https://jep.jp）へ入力しておく必要があります。
※既に利用している場合は，以下⑥～⑦の手順を確認し，漏れが無いか確認してください。

② 「JAPAN e-Portfolio」を利用するための ID は，高等学校教員から発行してもらってください。

③ ID が交付されたのち，「JAPAN e-Portfolio」にてパスワードの設定を含む初回登録を行うと利用できるようになります。

④ ID・パスワードを使用してログインし，最初にプロフィールの登録を行ってください。

⑤ トップ画面の「学びのデータを登録」から該当する項目を選択し，画面の指示に従って基本情報を登録してください。

⑥　基本情報登録後「学びのデータを追加」を選択し，学びのカテゴリについて該当する資格・検定，活動実績等をすべて入力してください。
※　学びのデータ入力に際しては，活動実績を証明する賞状，証明書や合格証等を添付してください。

⑦　「学びのデータ」の各項目のうち，承認必須項目については高等学校の教員の承認を受けてください。なお，学外での活動成績については，⑤で「学校以外の活動」を選択した上で，成績を入力するとともに，活動証明書（表彰状等）を，高等学校が原本であることを証明した上で，スマートフォン等で画像にし，学びのデータに添付してください。

２．学びのデータを主体性評価の利用のために提出する場合

☆　英語能力測定試験・英語活動等に関すること

①「JAPAN e-Portfolio」のトップ画面で「大学提出用データ」を選択してください。
②「大学提出用データ一覧画面」で「新規登録」を選択してください。
③「提出先大学選択画面」で大学名を（大阪教育大学）と選択してください。
④「大学提出用データ作成画面」で「入試区分（一般入試）」を選択し，入試名欄に「前期入試」と入力してください。
⑤「大学提出用データ作成画面」で，「大学に提出する学びのデータを選択する」を選択し「大学提出用データ選択画面」にて，表示された学びのデータから「資格・検定」（英語活動における受賞歴等の場合は「表彰・顕彰」）を選択してください。
　選択時には，選択の誤りが無いよう，画面に表示されている学びのカテゴリーのコードが，「H001 資格・検定」（英語活動における受賞歴等の場合は「G001　表彰・顕彰」）となっているか確認してください。
　※英語活動における受賞歴等について，他のカテゴリに登録している場合は，そのカテゴリで提出してもかまいません。
⑥「大学提出用データ作成画面」で「大学提出用個人情報を入力／確認する」を選択し，入力・確認した上で間違いが無ければ，登録ボタンを押下し「大学提出用データ提供確認画面」の内容を確認後，作成を完了してください。

３．学びのデータの参考・参照データとして提出する場合（任意提出）

①　「JAPAN e-Portfolio」のトップ画面で「大学提出用データ」を選択してください。
②　「提出先大学選択画面」で大学名を（大阪教育大学）と選択してください。
③　「大学提出用データ作成画面」で「入試区分（一般入試）」を選択し，入試名欄に「参考情報」と入力してください。
④　「大学提出用データ作成画面」で「大学に提出する学びのデータを選択する」を選択してください。
⑤　「大学提出用データ選択画面」で，「学びのデータ」から，提出してよいものを選択してください。（この際，提出を控えたいデータは外すことができます。提出を控えたいデータがある場合はチェックを外してください。）

（９）　個人情報の取扱いについて

出願書類から取得した個人情報及び入学試験の実施により取得した個人情報は，「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び「国立大学法人大阪教育大学保有個人情報開示等取扱規程」に基づき，適切に管理し，以下の目的に利用します。

１．入学者の選抜，合格発表，入学手続業務等に利用します。
２．入学者の個人情報については，教務関係（学籍，修学指導等），学生支援関係（健康管理，就職支援，授業料免除，奨学金申請，図書館利用等），学生アカウント関係（学内メール，パソコン利用等）及び授業料徴収に関する業務に利用します。
３．氏名及び大学入試センター試験の受験番号は，国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため，独立行政法人大学入試センター及び併願先国公立大学へ送達します。
４．入学者選抜に用いた試験成績は，今後の入学者選抜に資するための分析資料として利用します。

なお，以上の業務の一部またはすべてを外部に委託し，必要な個人情報を提供する場合は，委託先との間で適切な取扱に関する契約を締結します。

(10)　入学検定料等の返還請求について

次の ア）～ ウ）の場合を除き，出願後，一旦受理した入学検定料等は返還できません。

ア）入学検定料等を払い込んだが，出願しなかった場合，又は出願資格を有していないため出願書類が受理されなかった場合
イ）入学検定料等を誤って二重に払い込んだ場合
ウ）出願受付後に大学入試センター試験受験科目の不足等により出願無資格者であることが判明した場合（返還金額　１３，０００円　ただし，小学校教育専攻夜間５年コースは７，８００円）

上記 ア）～ ウ）に該当する場合は，入学検定料等の全部又は一部及び受験票返送用郵便代の返還請求ができますので，大阪教育大学学務部入試課まで問い合わせてください。ただし，ア），イ）については，返還に係る振込手数料は，請求者の負担とします。
また，返還請求には領収書，明細票等の支払いを確認できる書類が必要となります。クレジットカードで支払った場合は，入金確認メールを打ち出したものでもかまいません。。
ＴＥＬ　０７２－９７８－３３２４　　受付時間：平日９：００～１７：００
ＦＡＸ　０７２－９７８－３３２７

８　入学者選抜方法等

（１）　入学者選抜方法

入学者選抜は，大学入試センター試験の成績，本学の行う個別学力検査等の成績及び出身学校から提出される調査書の内容を総合して行います。
合否判定は，大学入試センター試験の成績と個別学力検査等の総合得点及び調査書の内容を総合して行います。
ただし，総合得点が著しく低い者については，募集人員に満たない場合でも，不合格とすることがあります。

（２）　入学者選抜の実施教科・科目等について

一般入試で，大阪教育大学が課す平成31年度大学入試センター試験の利用教科・科目及び本学の実施する個別学力検査等は次のとおりです。（配点については28～31頁を参照してください。）

なお，平成31年度大学入試センター試験において，本学が課す教科・科目を1科目でも受験しなかった場合は，一般入試においては個別学力検査等の受験を認めません。また，個別学力検査等を1科目でも受験しなかった場合は，選抜の対象としません。

学部	課程・専攻・コース名			大学入試センター試験の利用教科・科目名				日程	個別学力検査等	
				教科	科目名等				教科等	科目名等
教育学部	初等教育教員養成課程	幼児教育専攻		国		国	必須	前期	その他	面接
				外		英(リ), 独, 仏, 中, 韓	から1			
				地歴		世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B	から1又は2			
				公民		現社, 倫, 政経, 倫・政経				
				数		数Ⅰ, 数Ⅰ・数A	から1			
						数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報	から1			
				理	地歴公民から2科目選択した場合	A 物基, 化基, 生基, 地基から2 B 物, 化, 生, 地から1	⇒A又はB			
					地歴公民から1科目選択した場合	C 物基, 化基, 生基, 地基から2 並びに 物, 化, 生, 地から1(注6) D 物, 化, 生, 地から2	⇒C又はD			
					〔5教科7～8科目又は6教科7～8科目〕					
		小学校教育専攻	昼間コース	国		国	必須	前期	その他	小論文
				外		英(リ), 独, 仏, 中, 韓	から1			
				地歴		世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B	から1又は2			
				公民		現社, 倫, 政経, 倫・政経				
				数		数Ⅰ, 数Ⅰ・数A	から1			
						数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報	から1			
				理	地歴公民から2科目選択した場合	A 物基, 化基, 生基, 地基から2 B 物, 化, 生, 地から1	⇒A又はB	後期	その他	面接
					地歴公民から1科目選択した場合	C 物基, 化基, 生基, 地基から2 並びに 物, 化, 生, 地から1(注6) D 物, 化, 生, 地から2	⇒C又はD			
					〔5教科7～8科目又は6教科7～8科目〕					
			夜間5年コース	国		国	必須	前期	その他	小論文
				外		英(リ), 独, 仏, 中, 韓	から1			
				地歴		世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B	から1又は2			
				公民		現社, 倫, 政経, 倫・政経				
				数		数Ⅰ, 数Ⅰ・数A	から1			
						数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報	から1			
				理	地歴公民から2科目選択した場合	A 物基, 化基, 生基, 地基から2 B 物, 化, 生, 地から1	⇒A又はB	後期	その他	面接
					地歴公民から1科目選択した場合	C 物基, 化基, 生基, 地基から2 並びに 物, 化, 生, 地から1(注6) D 物, 化, 生, 地から2	⇒C又はD			
					〔5教科7～8科目又は6教科7～8科目〕					
	学校教育教員養成課程	特別支援教育専攻		国		国	必須	前期	その他	小論文
				外		英(リ), 独, 仏, 中, 韓	から1			
				地歴		世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B	から2			
				公民		現社, 倫, 政経, 倫・政経				
				数		数Ⅰ, 数Ⅰ・数A	から1	後期	その他	小論文
						数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報	から1			
				理		A 物基, 化基, 生基, 地基から2 B 物, 化, 生, 地から1	A又はB			
					〔5教科7～8科目又は6教科7～8科目〕					
		小中教育専攻	学校教育コース	国		国	必須	前期	その他	小論文
				外		英(リ), 独, 仏, 中, 韓	から1			
				地歴		世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B	から2			
				公民		現社, 倫, 政経, 倫・政経				
				数		数Ⅰ, 数Ⅰ・数A	から1			
						数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報	から1			
				理		A 物基, 化基, 生基, 地基から2 B 物, 化, 生, 地から1	A又はB			
					〔5教科7～8科目又は6教科7～8科目〕					
			国語教育コース	国		国	必須	前期	その他	小論文 面接
				外		英(リ), 独, 仏, 中, 韓	から1			
				地歴		世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B	から2			
				公民		現社, 倫, 政経, 倫・政経				
				数		数Ⅰ, 数Ⅰ・数A	から1			
						数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報	から1	後期	その他	面接
				理		A 物基, 化基, 生基, 地基から2 B 物, 化, 生, 地から1	A又はB			
					〔5教科7～8科目又は6教科7～8科目〕					
			英語教育コース	国		国	必須	前期	外	コミュニケーション英語Ⅰ・ コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ・ 英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ （聴き取り試験を含まない。）
				外		英(リ), 独, 仏, 中, 韓	から1			
				地歴		世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B	から1又は2			
				公民		現社, 倫, 政経, 倫・政経				
				数		数Ⅰ, 数Ⅰ・数A	から1			
						数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報	から1			
				理	地歴公民から2科目選択した場合	A 物基, 化基, 生基, 地基から2 B 物, 化, 生, 地から1	⇒A又はB			
					地歴公民から1科目選択した場合	C 物基, 化基, 生基, 地基から2 並びに 物, 化, 生, 地から1(注6) D 物, 化, 生, 地から2	⇒C又はD			
					〔5教科7～8科目又は6教科7～8科目〕					
					※英語能力測定試験等の成績により大学入試センター試験の得点の合計点に得点加算します。(注10)					

【大学入試センター試験の利用教科・科目名】及び【個別学力検査等】については，２７頁も参照してください。

学部	課程・専攻・コース名			大学入試センター試験の利用教科・科目名				日程	個別学力検査等	
				教科		科目名等			教科等	科目名等
教育学部	学校教育教員養成課程	小中教育専攻	社会科教育コース	国		国	必須	前期	その他	小論文
				外		英(リ), 独, 仏, 中, 韓	から1			
				地歴		世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B	から2			
				公民		現社, 倫, 政経, 倫・政経				
				数		数Ⅰ, 数Ⅰ・数A	から1			
						数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報	から1			
				理		A 物基, 化基, 生基, 地基から2 B 物, 化, 生, 地から1	A又はB			
						〔5教科7～8科目又は6教科7～8科目〕				
			数学教育コース	国		国	必須	前期	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B(注8)
				外		英(リ), 独, 仏, 中, 韓	から1		理	物基・物, 化基・化, 生基・生, 地基・地 から1(注9) (試験開始後に選択)
				地歴		世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B	から1			
				公民		現社, 倫, 政経, 倫・政経				
				数		数Ⅰ, 数Ⅰ・数A	から1			
						数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報	から1			
				理		C 物基, 化基, 生基, 地基から2 並びに 物, 化, 生, 地から1(注6) D 物, 化, 生, 地から2	C又はD	後期	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B(注8)
						〔5教科7～8科目〕				
			理科教育コース	国		国	必須	前期	理	物基・物, 化基・化, 生基・生, 地基・地 から1(注9) (試験開始後に選択)
				外		英(リ), 独, 仏, 中, 韓	から1			
				地歴		世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B	から1			
				公民		現社, 倫, 政経, 倫・政経				
				数		数Ⅰ, 数Ⅰ・数A	から1			
						数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報	から1	後期	その他	小論文
				理		C 物基, 化基, 生基, 地基から2 並びに 物, 化, 生, 地から1(注6) D 物, 化, 生, 地から2	C又はD			
						〔5教科7～8科目〕				
			家政教育コース	国		国	必須	前期	その他	小論文
				外		英(リ), 独, 仏, 中, 韓	から1			
				地歴		世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B	から1又は2			
				公民		現社, 倫, 政経, 倫・政経				
				数		数Ⅰ, 数Ⅰ・数A	から1			
						数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報	から1			
				理	地歴公民から2科目選択した場合	A 物基, 化基, 生基, 地基から2 B 物, 化, 生, 地から1	⇒A又はB			
					地歴公民から1科目選択した場合	C 物基, 化基, 生基, 地基から2 並びに 物, 化, 生, 地から1(注6) D 物, 化, 生, 地から2	⇒C又はD			
						〔5教科7～8科目又は6教科7～8科目〕				
			保健体育コース	国		国	必須	前期	その他	実技検査
				外		英(リ), 独, 仏, 中, 韓	から1			
				地歴		世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B	から1			
				公民		現社, 倫, 政経, 倫・政経				
				数		数Ⅰ, 数Ⅰ・数A	から1	後期	その他	実技検査
						数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報				
				理		A 物基, 化基, 生基, 地基から2 B 物, 化, 生, 地から1	A又はB			
						〔5教科5～6科目〕				
			音楽教育コース	国		国	必須	前期	その他	実技検査
				外		英(リ), 独, 仏, 中, 韓	から1			
				地歴		世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B	から1			
				公民		現社, 倫, 政経, 倫・政経				
				数		数Ⅰ, 数Ⅰ・数A	から1			
						数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報				
				理		A 物基, 化基, 生基, 地基から2 B 物, 化, 生, 地から1	A又はB			
						〔5教科5～6科目〕				
			美術・書道教育コース	国		国	必須	前期	その他	実技検査 面接
				外		英(リ), 独, 仏, 中, 韓	から1			
				地歴		世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B	から1			
				公民		現社, 倫, 政経, 倫・政経				
				数		数Ⅰ, 数Ⅰ・数A	から1			
						数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報		後期	その他	実技検査
				理		A 物基, 化基, 生基, 地基から2 B 物, 化, 生, 地から1	A又はB			
						〔5教科5～6科目〕				
		中等教育専攻	国語教育コース	国		国	必須	前期	その他	小論文 面接
				外		英(リ), 独, 仏, 中, 韓	から1			
				地歴		世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B	から2			
				公民		現社, 倫, 政経, 倫・政経				
				数		数Ⅰ, 数Ⅰ・数A	から1			
						数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報	から1			
				理		A 物基, 化基, 生基, 地基から2 B 物, 化, 生, 地から1	A又はB			
						〔5教科7～8科目又は6教科7～8科目〕				

【大学入試センター試験の利用教科・科目名】及び【個別学力検査等】については，２７頁も参照してください。

学部	課程・専攻・コース名			大学入試センター試験の利用教科・科目名				日程	個別学力検査等	
				教科		科目名等			教科等	科目名等
教育学部	学校教育教員養成課程	中等教育専攻	英語教育コース	国 外 地歴 公民 数 理	地歴公民から2科目選択した場合 地歴公民から1科目選択した場合	国 英(リ), 独, 仏, 中, 韓 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数Ⅰ, 数Ⅰ・数A 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報 A 物基, 化基, 生基, 地基から2 B 物, 化, 生, 地から1 C 物基, 化基, 生基, 地基から2 並びに 物, 化, 生, 地から1(注6) D 物, 化, 生, 地から2 〔5教科7～8科目又は6教科7～8科目〕 ※英語能力測定試験等の成績により大学入試センター試験の得点の合計点に得点加算します。(注10)	必須 から1 から1又は2 から1 から1 ⇒A又はB ⇒C又はD	前期	外	コミュニケーション英語Ⅰ・ コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ・ 英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ (聴き取り試験を含まない。)
			社会科教育コース	国 外 地歴 公民 数 理		国 英(リ), 独, 仏, 中, 韓 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数Ⅰ, 数Ⅰ・数A 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報 A 物基, 化基, 生基, 地基から2 B 物, 化, 生, 地から1 〔5教科7～8科目又は6教科7～8科目〕	必須 から1 から2 から1 から1 A又はB	前期	その他	小論文
			数学教育コース	国 外 地歴 公民 数 理		国 英(リ), 独, 仏, 中, 韓 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数Ⅰ, 数Ⅰ・数A 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報 C 物基, 化基, 生基, 地基から2 並びに 物, 化, 生, 地から1(注6) D 物, 化, 生, 地から2 〔5教科7～8科目〕	必須 から1 から1 から1 から1 C又はD	前期	数 理	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B(注8) 物基・物, 化基・化, 生基・生, 地基・地 から1(注9) (試験開始後に選択)
								後期	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B(注8)
			理科教育コース	国 外 地歴 公民 数 理		国 英(リ), 独, 仏, 中, 韓 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数Ⅰ, 数Ⅰ・数A 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報 C 物基, 化基, 生基, 地基から2 並びに 物, 化, 生, 地から1(注6) D 物, 化, 生, 地から2 〔5教科7～8科目〕	必須 から1 から1 から1 から1 C又はD	前期	理	物基・物, 化基・化, 生基・生, 地基・地 から1(注9) (試験開始後に選択)
								後期	その他	小論文
			技術教育コース	国 外 地歴 公民 数 理		国 英(リ), 独, 仏, 中, 韓 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数Ⅰ, 数Ⅰ・数A 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報 C 物基, 化基, 生基, 地基から2 並びに 物, 化, 生, 地から1(注6) D 物, 化, 生, 地から2 〔5教科7～8科目〕	必須 から1 から1 から1 から1 C又はD	前期	理	物基・物(注9)
			家政教育コース	国 外 地歴 公民 数 理	地歴公民から2科目選択した場合 地歴公民から1科目選択した場合	国 英(リ), 独, 仏, 中, 韓 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数Ⅰ, 数Ⅰ・数A 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報 A 物基, 化基, 生基, 地基から2 B 物, 化, 生, 地から1 C 物基, 化基, 生基, 地基から2 並びに 物, 化, 生, 地から1(注6) D 物, 化, 生, 地から2 〔5教科7～8科目又は6教科7～8科目〕	必須 から1 から1又は2 から1 から1 ⇒A又はB ⇒C又はD	前期	その他	小論文
			保健体育コース	国 外 地歴 公民 数 理		国 英(リ), 独, 仏, 中, 韓 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数Ⅰ, 数Ⅰ・数A 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報 A 物基, 化基, 生基, 地基から2 B 物, 化, 生, 地から1 〔5教科5～6科目〕	必須 から1 から1 から1 A又はB	前期	その他	実技検査
			音楽教育コース	国 外 地歴 公民 数 理		国 英(リ), 独, 仏, 中, 韓 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数Ⅰ, 数Ⅰ・数A 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報 A 物基, 化基, 生基, 地基から2 B 物, 化, 生, 地から1 〔5教科5～6科目〕	必須 から1 から1 から1 A又はB	前期	その他	実技検査

【大学入試センター試験の利用教科・科目名】及び【個別学力検査等】については，２７頁も参照してください。

学部	課程・学科・専攻等名			大学入試センター試験の利用教科・科目名				日程	個別学力検査等	
				教科	科目名等				教科等	科目名等
教育学部	学校教育教員養成課程	中等教育専攻	美術・書道教育コース	国 外 地歴 公民 数 理		国 英(リ), 独, 仏, 中, 韓 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数Ⅰ, 数Ⅰ・数A 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報 A 物基, 化基, 生基, 地基から2 B 物, 化, 生, 地から1 〔5教科5～6科目〕	必須 から1 から1 から1 A又はB	前期	その他	実技検査 面接
	養護教諭養成課程			国 外 地歴 公民 数 理	地歴公民から2科目選択した場合 地歴公民から1科目選択した場合	国 英(リ), 独, 仏, 中, 韓 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数Ⅰ, 数Ⅰ・数A 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報 A 物基, 化基, 生基, 地基から2 B 物, 化, 生, 地から1 C 物基, 化基, 生基, 地基から2 並びに 物, 化, 生, 地から1(注6) D 物, 化, 生, 地から2 〔5教科7～8科目又は6教科7～8科目〕	必須 から1 から1又は2 から1 から1 ⇒A又はB ⇒C又はD	前期 後期	その他 その他	小論文 面接
	教育協働学科	教育心理科学専攻		国 外 地歴 公民 数 理	地歴公民から2科目選択した場合 地歴公民から1科目選択した場合	国 英(リ), 独, 仏, 中, 韓 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数Ⅰ, 数Ⅰ・数A 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報 A 物基, 化基, 生基, 地基から2 B 物, 化, 生, 地から1 C 物基, 化基, 生基, 地基から2 並びに 物, 化, 生, 地から1(注6) D 物, 化, 生, 地から2 〔5教科7～8科目又は6教科7～8科目〕	必須 から1 から1又は2 から1 から1 ⇒A又はB ⇒C又はD	前期 後期	その他 その他	小論文 小論文
		健康安全科学専攻		国 外 地歴 公民 数 理	地歴公民から2科目選択した場合 地歴公民から1科目選択した場合	国 英(リ), 独, 仏, 中, 韓 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数Ⅰ, 数Ⅰ・数A 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報 A 物基, 化基, 生基, 地基から2 B 物, 化, 生, 地から1 C 物基, 化基, 生基, 地基から2 並びに 物, 化, 生, 地から1(注6) D 物, 化, 生, 地から2 〔5教科7～8科目又は6教科7～8科目〕	必須 から1 から1又は2 から1 から1 ⇒A又はB ⇒C又はD	前期 後期	その他 その他	小論文 面接
		理数情報専攻	数理情報コース	国 外 地歴 公民 数 理		国 英(リ), 独, 仏, 中, 韓 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数Ⅰ, 数Ⅰ・数A 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報 C 物基, 化基, 生基, 地基から2 並びに 物, 化, 生, 地から1(注6) D 物, 化, 生, 地から2 〔5教科7～8科目〕	必須 から1 から1 から1 から1 C又はD 後期Dのみ	前期 後期	数 理 数	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B(注8) 物基・物, 化基・化, 生基・生, 地基・地 から1(注9) (試験開始後に選択) 数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B(注8)
			自然科学コース	国 外 地歴 公民 数 理		国 英(リ), 独, 仏, 中, 韓 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数Ⅰ, 数Ⅰ・数A 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報 C 物基, 化基, 生基, 地基から2 並びに 物, 化, 生, 地から1(注6) D 物, 化, 生, 地から2 〔5教科7～8科目〕	必須 から1 から1 から1 から1 C又はD 後期Dのみ	前期 後期	数 理 その他	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B(注8) 物基・物, 化基・化, 生基・生, 地基・地 から1(注9) (試験開始後に選択) 面接(実験・観察の内容を含む。)
		グローバル教育専攻	英語コミュニケーションコース	国 外 地歴 公民 数 理		国 英(リ), 独, 仏, 中, 韓 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数Ⅰ, 数Ⅰ・数A 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報 A 物基, 化基, 生基, 地基から2 B 物, 化, 生, 地から1 〔5教科7～8科目又は6教科7～8科目〕 ※英語能力測定試験の成績により大学入試センター試験と個別学力検査の得点の合計点に得点加算します。(注10)	必須 から1 から2 から1 から1 A又はB	前期	外	コミュニケーション英語基礎・ コミュニケーション英語Ⅰ・ コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ・ 英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ・ 英語会話 (聴き取り試験を含まない。)
			多文化リテラシーコース	国 外 地歴 公民 数 理		国 英(リ), 独, 仏, 中, 韓 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数Ⅰ, 数Ⅰ・数A 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報 A 物基, 化基, 生基, 地基から2 B 物, 化, 生, 地から1 〔3教科3～4科目〕	必須 から1 から1 A又はB	前期	その他	小論文

【大学入試センター試験の利用教科・科目名】及び【個別学力検査等】については，２７頁も参照してください。

学部	課程・学科・専攻等名			大学入試センター試験の利用教科・科目名			日程	個別学力検査等	
				教科	科目名等			教科等	科目名等
教育学部	教育協働学科	芸術表現専攻	音楽表現コース	国 外 地歴 公民 数 理	国 英(リ), 独, 仏, 中, 韓 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数Ⅰ, 数Ⅰ・数A 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報 A 物基, 化基, 生基, 地基から2 B 物, 化, 生, 地から1 A又はB 〔3教科3～4科目〕	必須 から1 から1	前期	その他	実技検査
							後期	その他	実技検査
			美術表現コース	国 外 地歴 公民 数 理	国 英(リ), 独, 仏, 中, 韓 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数Ⅰ, 数Ⅰ・数A 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報 A 物基, 化基, 生基, 地基から2 B 物, 化, 生, 地から1 A又はB 〔3教科3～4科目〕	必須 から1 から1	前期	その他	実技検査
							後期	その他	実技検査
		スポーツ科学専攻		国 外 地歴 公民 数 理	国 英(リ), 独, 仏, 中, 韓 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数Ⅰ, 数Ⅰ・数A 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報 A 物基, 化基, 生基, 地基から2 B 物, 化, 生, 地から1 A又はB 〔3教科3～4科目〕	必須 から1 から1	前期	その他	実技検査
							後期	その他	実技検査

【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

（注１）教科・科目名は次のように略しています。

国語→国，外国語→外，地理歴史→地歴，数学→数，理科→理

英語（リスニング含む）→英（リ），ドイツ語→独，フランス語→仏，中国語→中，韓国語→韓

世界史Ａ→世Ａ，世界史Ｂ→世Ｂ，日本史Ａ→日Ａ，日本史Ｂ→日Ｂ，現代社会→現社，倫理→倫，政治･経済→政経，倫理、政治･経済→倫･政経

数学Ⅰ→数Ⅰ，数学Ⅰ･数学Ａ→数Ⅰ･数Ａ，数学Ⅱ→数Ⅱ，数学Ⅱ･数学Ｂ→数Ⅱ･数Ｂ，簿記･会計→簿，情報関係基礎→情報

物理基礎→物基，化学基礎→化基，生物基礎→生基，地学基礎→地基，物理→物，化学→化，生物→生，地学→地

（※）地理歴史と公民は独立した教科なので，それぞれ１教科として数えます。センター試験出願の際には注意してください。

（注２）大学入試センター試験において，指定した教科・科目数を超えて受験した場合は，原則として最高得点となる組合せの教科・科目の成績を用います。

ただし，地歴，公民から１科目を課す募集区分において２科目を受験した場合，又は理科（「物理」，「化学」，「生物」，「地学」）から１科目を課す募集区分において２科目を受験した場合は，解答順に，前半６０分で受験した科目を第１解答科目，後半６０分で受験した科目を第２解答科目とし，第１解答科目の成績を用います。

（注３）大学入試センター試験の外国語の「英語」には**リスニングテストを含みます。**（リスニングテスト免除者は除く。）

（注４）「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択解答することができる者は，高等学校等においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了（見込）者に限ります。

（注５）地理歴史及び公民については，同一名称を含む科目の組合せで２科目を選択することはできません。「同一名称を含む科目の組合せ」とは，「世界史Ａ」と「世界史Ｂ」，「日本史Ａ」と「日本史Ｂ」，「地理Ａ」と「地理Ｂ」，「倫理」と「倫理，政治・経済」及び「政治・経済」と「倫理，政治・経済」の組合せをいいます。

（注６）理科については，「物理基礎」，「化学基礎」，「生物基礎」及び「地学基礎」の４科目から２科目並びに「物理」，「化学「生物」及び「地学」の４科目から１科目を選択する場合において，同一名称を含む科目の組合せを選択することができません。「同一名称を含む科目の組合せ」とは，「物理基礎」と「物理」，「化学基礎」と「化学」，「生物基礎」と「生物」，「地学基礎」と「地学」の組合せをいいます。

【個別学力検査等】欄

（注７）個別学力検査の英語は**聴き取り試験を行いません。**

（注８）数学の出題範囲は，次のとおりです。

・「数学Ⅰ」，「数学Ⅱ」，「数学Ⅲ」，「数学Ａ」は全範囲から出題します。
・「数学Ｂ」は「数列」，「ベクトル」から出題します。

（注９）理科の出題範囲は，次のとおりです。

・「物理基礎・物理」は物理基礎，物理の全範囲から出題します。
・「化学基礎・化学」は化学基礎，化学の全範囲から出題します。
・「生物基礎・生物」は生物基礎，生物の全範囲から出題します。
・「地学基礎・地学」は地学基礎，地学の全範囲から出題します。

（注 10）英語能力測定試験の詳細については，18 頁（７）を参照してください。

（３）　大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等

一般入試における平成31年度大学入試センター試験及び本学の実施する個別学力検査等の配点は次のとおりです。

学部	課程・学科等			日程等	試験の区分	国語	地歴公民	数学	理科	外国語	小論文	実技	面接	小計	合計
教育学部	初等教育教員養成課程	幼児教育専攻		前期	センター試験	200	※200 ※100	200	※100 ※200	250				950	1250
					個別学力検査								300	300	
				後期	後期日程は募集を行いません。										
		小学校教育専攻	昼間コース	前期	センター試験	200	※200 ※100	200	※100 ※200	250				950	1250
					個別学力検査						300			300	
				後期	センター試験	200	※200 ※100	200	※100 ※200	250				950	1400
					個別学力検査								450	450	
			夜間５年コース	前期	センター試験	200	※200 ※100	200	※100 ※200	250				950	1250
					個別学力検査						300			300	
				後期	センター試験	200	※200 ※100	200	※100 ※200	250				950	1400
					個別学力検査								450	450	
	学校教育教員養成課程	特別支援教育専攻		前期	センター試験	200	200	200	100	250				950	1250
					個別学力検査						300			300	
				後期	センター試験	200	200	200	100	250				950	1300
					個別学力検査						350			350	
		小中教育専攻	学校教育コース	前期	センター試験	200	200	200	100	250				950	1250
					個別学力検査						300			300	
				後期	後期日程は募集を行いません。										
			国語教育コース	前期	センター試験	200	200	200	100	250				950	1350
					個別学力検査						200		200	400	
				後期	センター試験	200	200	200	100	250				950	1550
					個別学力検査								600	600	
			英語教育コース	前期	センター試験	200	※200 ※100	200	※100 ※200	250				950	1350
					個別学力検査					400				400	
				後期	後期日程は募集を行いません。										
			社会科教育コース	前期	センター試験	200	200	200	100	250				950	1250
					個別学力検査						300			300	
				後期	後期日程は募集を行いません。										
			数学教育コース	前期	センター試験	200	100	200	200	250				950	1550
					個別学力検査			400	200					600	
				後期	センター試験	200	100	200	200	250				950	1550
					個別学力検査			600						600	
			理科教育コース	前期	センター試験	200	100	★400	200	250				1150	1750
					個別学力検査				600					600	
				後期	センター試験	200	100	★400	★400	250				1350	1750
					個別学力検査						400			400	

配点に※印を付してある2教科は，一方が 100 の場合は，もう一方は 200 となります。
（選択できる科目数については23～27頁を参照してください。）
配点に＊印を付してある教科は，選択教科を表しています。（選択教科については23～27頁を参照してください。）
配点に★印を付してある教科は，傾斜配点をしている教科を表しています。（傾斜配点については31頁を参照してください。）

学部	課程・学科等			日程等	試験の区分	国語	地歴公民	数学	理科	外国語	小論文	実技	面接	小計	合計
教育学部	学校教育教員養成課程	小中教育専攻	家政教育コース	前期	センター試験	200	※200 ※100	200	※100 ※200	250				950	1250
					個別学力検査						300			300	
				後期	後期日程は募集を行いません。										
			保健体育コース	前期	センター試験	200	100	100	100	250				750	1300
					個別学力検査							550		550	
				後期	センター試験	200	100	100	100	250				750	1150
					個別学力検査							400		400	
			音楽教育コース	前期	センター試験	200	100	100	100	250				750	1300
					個別学力検査							550		550	
				後期	後期日程は募集を行いません。										
			美術・書道教育コース	前期	センター試験	200	100	100	100	250				750	1300
					個別学力検査							350	200	550	
				後期	センター試験	200	100	100	100	250				750	1300
					個別学力検査							550		550	
		中等教育専攻	国語教育コース	前期	センター試験	200	200	200	100	250				950	1350
					個別学力検査						200		200	400	
				後期	後期日程は募集を行いません。										
			英語教育コース	前期	センター試験	200	※200 ※100	200	※100 ※200	250				950	1350
					個別学力検査					400				400	
				後期	後期日程は募集を行いません。										
			社会科教育コース	前期	センター試験	200	200	200	100	250				950	1250
					個別学力検査						300			300	
				後期	後期日程は募集を行いません。										
			数学教育コース	前期	センター試験	200	100	200	200	250				950	1550
					個別学力検査			400	200					600	
				後期	センター試験	200	100	200	200	250				950	1550
					個別学力検査			600						600	
			理科教育コース	前期	センター試験	200	100	★400	200	250				1150	1750
					個別学力検査				600					600	
				後期	センター試験	200	100	★400	★400	250				1350	1750
					個別学力検査						400			400	
			技術教育コース	前期	センター試験	200	100	200	200	250				950	1400
					個別学力検査				450					450	
				後期	後期日程は募集を行いません。										
			家政教育コース	前期	センター試験	200	※200 ※100	200	※100 ※200	250				950	1250
					個別学力検査						300			300	
				後期	後期日程は募集を行いません。										
			保健体育コース	前期	センター試験	200	100	100	100	250				750	1300
					個別学力検査							550		550	
				後期	後期日程は募集を行いません。										

配点に※印を付してある2教科は，一方が 100 の場合は，もう一方は 200 となります。
（選択できる科目数については23～27頁を参照してください。）
配点に＊印を付してある教科は，選択教科を表しています。（選択教科については23～27頁を参照してください。）
配点に★印を付してある教科は，傾斜配点をしている教科を表しています。（傾斜配点については31頁を参照してください。）

学部	課程・学科等			日程等	試験の区分	国語	地歴公民	数学	理科	外国語	小論文	実技	面接	小計	合計
教育学部	学校教育教員養成課程	中等教育専攻	音楽教育コース	前期	センター試験	200	100	100	100	250				750	1300
					個別学力検査							550		550	
				後期	後期日程は募集を行いません。										
			美術・書道教育コース	前期	センター試験	200	100	100	100	250				750	1300
					個別学力検査							350	200	550	
				後期	後期日程は募集を行いません。										
	養護教諭養成課程			前期	センター試験	200	※200 ※100	200	※100 ※200	250				950	1250
					個別学力検査						300			300	
				後期	センター試験	200	※200 ※100	200	※100 ※200	250				950	1250
					個別学力検査								300	300	
教育学部	教育協働学科	教育心理科学専攻		前期	センター試験	200	※200 ※100	200	※100 ※200	250				950	1400
					個別学力検査						450			450	
				後期	センター試験	200	※200 ※100	200	※100 ※200	250				950	1600
					個別学力検査						650			650	
		健康安全科学専攻		前期	センター試験	200	※200 ※100	200	※100 ※200	250				950	1350
					個別学力検査						400			400	
				後期	センター試験	200	※200 ※100	200	※100 ※200	250				950	1350
					個別学力検査								400	400	
		理数情報専攻	数理情報コース	前期	センター試験	200	100	200	200	250				950	1550
					個別学力検査			400	200					600	
				後期	センター試験	200	100	200	200	250				950	1550
					個別学力検査			600						600	
			自然科学コース	前期	センター試験	200	100	200	200	250				950	1550
					個別学力検査			200	400					600	
				後期	センター試験	200	100	200	200	250				950	1450
					個別学力検査								500	500	
		グローバル教育専攻	英語コミュニケーションコース	前期	センター試験	200	200	200	100	★500				1200	1800
					個別学力検査					600				600	
				後期	後期日程は募集を行いません。										
			多文化リテラシーコース	前期	センター試験	200	＊100	＊100	＊100	250				550	850
					個別学力検査						300			300	
				後期	後期日程は募集を行いません。										
		芸術表現専攻	音楽表現コース	前期	センター試験	200	＊100	＊100	＊100	250				550	1100
					個別学力検査							550		550	
				後期	センター試験	200	＊100	＊100	＊100	250				550	1050
					個別学力検査							500		500	
			美術表現コース	前期	センター試験	200	＊100	＊100	＊100	250				550	1050
					個別学力検査							500		500	
				後期	センター試験	200	＊100	＊100	＊100	250				550	1100
					個別学力検査							550		550	
		スポーツ科学専攻		前期	センター試験	200	＊100	＊100	＊100	250				550	1100
					個別学力検査							550		550	
				後期	センター試験	200	＊100	＊100	＊100	250				550	1050
					個別学力検査							500		500	

配点に※印を付してある2教科は，一方が 100 の場合は，もう一方は 200 となります。
（選択できる科目数については23～27頁を参照してください。）
配点に＊印を付してある教科は，選択教科を表しています。（選択教科については23～27頁参照してください。）
配点に★印を付してある教科は，傾斜配点をしている教科を表しています。（傾斜配点については31頁を参照してください。）

センター試験の外国語で英語以外（ドイツ語，フランス語，中国語及び韓国語）を受験している場合及びリスニングテストを免除されている場合は，筆記試験２００点満点を２５０点満点に換算した成績を用います。（ただし，英語コミュニケーションコース（前期日程）は５００点満点に換算します。）

その他，２８～３０頁で，センター試験の１つ又は２つの教科に傾斜をかけている専攻・コースと，その教科・係数等は下表のとおりです。

課程・専攻・コース	日程等	教科・科目	素点 (A)	係数 (B)	配点 (A×B)	センター試験 配 点 合 計
学校教育教員養成課程 小中教育専攻 中等教育専攻 理科教育コース	前期	数学	２００	２	４００	１１５０
	後期	数学 理科	２００ ２００	２ ２	４００ ４００	１３５０
グローバル教育専攻 英語コミュニケーションコース	前期	外国語	２５０	２	５００	１２００

（4）小　論　文

教員養成課程

課程・専攻等		内　　容	採点・評価基準
前期日程	初等教育教員養成課程 小学校教育専攻 昼間コース	提示された資料に基づいて，理解力・思考力・発想力・論理的構成力をみるために，小論文形式で筆答させる。	提示された資料に対する理解力や思考力・発想力・論理的構成力を総合的に評価するが，文章表現力についても採点・評価の対象とする。
	初等教育教員養成課程 小学校教育専攻 夜間５年コース	提示された資料に基づいて，理解力・思考力・発想力・論理的構成力をみるために，小論文形式で筆答させる。	提示された資料に対する理解力や思考力・発想力・論理的構成力を総合的に評価するが，文章表現力についても採点・評価の対象とする。
	学校教育教員養成課程 特別支援教育専攻	文章表現をとおして，思考力・表現力をみるために，小論文形式で筆答させる。	思考力・表現力を総合的に評価するが，課題の理解力や論理の構成力，漢字の表記能力についても採点・評価の対象とする。
	学校教育教員養成課程 小中教育専攻 学校教育コース	提示された課題に関する論述をとおして，思考力・洞察力・表現力をみるために，小論文形式で筆答させる。	思考力・洞察力・表現力を総合的に評価するが，課題の理解度や分析力，論理の構成力についても採点・評価の対象とする。
	学校教育教員養成課程 小中教育専攻 中等教育専攻 国語教育コース	国語（現代文・古文・漢文・国語表現）に関する理解力・表現力を測るために，小論文形式で筆答させる。	目的・状況に応じて活用できる言語能力を測るため，国語（現代文・古文・漢文・国語表現）に関して，理解力，分析的思考力，判断力，コミュニケーション力，文章構成力，表現力を，採点・評価の対象とする。
	学校教育教員養成課程 小中教育専攻 中等教育専攻 社会科教育コース	総合的な理解力・思考力・表現力をみるために，人文・社会に関わる広範な視野に立つ複数の課題を提示し，小論文形式で筆答させる。	理解力・思考力・表現力を総合的に評価することに加え，課題把握の的確さや分析力，論理の構成力，社会的事象に対する関心の在り方及び論述の独自性を採点・評価の対象とする。
	学校教育教員養成課程 小中教育専攻 中等教育専攻 家政教育コース	総合的な理解力・思考力・表現力をみるために，生活に関する広範な視野に立つ複数の課題を与え，小論文形式で筆答させる。	理解力・思考力・表現力を総合的に評価するが，課題把握の的確さや論理の構成力，分析力についても採点・評価の対象とする。
	養護教諭養成課程	複数の課題を与え，理解力・思考力・表現力をみるために，小論文形式で筆答させる。	出題した問題に対する読解力，考察力をみるとともに文章の表現力，的確性，論理構成力についても採点・評価の対象とする。
後期日程	学校教育教員養成課程 特別支援教育専攻	文章表現をとおして，特別支援教育に関する理解力をみるために，小論文形式で筆答させる。	理解力を中心に評価するが，論理の構成力や表現力，漢字の表記能力についても採点・評価の対象とする。
	学校教育教員養成課程 小中教育専攻 中等教育専攻 理科教育コース	自然に関わる様々な事物や現象について，科学的な思考力・論理力・表現力及び読解力をみるために，小論文形式で筆答させる。	自然に関わる様々な事物や現象に関し，科学的理解力・思考力・判断力及び表現力を総合的に評価する。

教育協働学科

専攻・コース		内容	採点・評価基準
前期日程	教育心理科学専攻	人間生活に関連する資料や論文を読解し，要点を的確に把握し，設問に応じて思考を論理的に表現する力を総合的にみるために，小論文形式で筆答させる。	人間生活に関する資料や論文を読解し，簡潔にまとめた上で自分自身の考え方を論理的に述べるという読解力，思考力，及び，論理的な表現力を総合的に判断して採点・評価する。
	健康安全科学専攻	安全，健康，生活に関する資料を用いてその理解と認識をみるために，小論文形式で筆答させる。	思考力・表現力を総合的に評価するが，課題の理解度や分析力，論理の構成力や漢字の表記能力についても採点・評価の対象とする。
	グローバル教育専攻 多文化リテラシーコース	日本やアジア，ヨーロッパの言語文化，社会・芸術文化，教育文化に関する知識や理解力，表現力をみるために，小論文形式で筆答させる。	日本やアジア，ヨーロッパの言語文化，社会・芸術文化，教育文化に関する知識や理解力に加え，課題分析力，論理的思考力，文章力を採点・評価の基準とする。
後期日程	教育心理科学専攻	人間生活に関連する資料や論文を手がかりにして，設問で出される課題に即して論点を整理して，論述する力をみるために，小論文形式で筆答させる。	人間生活に関する資料や論文に即して，読解力，論理的な思考力，文章表現力を総合的に判断して採点・評価する。

（５）面　　接（口述試験を含む。）

教員養成課程

課程・専攻等		内容	採点・評価基準
前期日程	初等教育教員養成課程 幼児教育専攻	幼児教育に関する理解・関心度・意欲について発問する。実技的な内容や協調性をみる内容を含む場合がある。	幼児教育に関する理解・関心度・意欲を総合的に評価する。表現力や協調性について評価する場合がある。
	学校教育教員養成課程 小中教育専攻 中等教育専攻 国語教育コース	国語（現代文・古文・漢文・国語表現）に関する理解力，思考力ならびに音声コミュニケーション力をみるために面接形式で行う。	思考力，表現力，判断力，国語教育及び教職に対する適性を評価の対象とする。
	学校教育教員養成課程 小中教育専攻 中等教育専攻 美術・書道教育コース	〈美術実技の選択者〉 美術教育に関する理解と関心度をみるために面接形式で行う。 〈書道実技の選択者〉 書写・書道教育に関する理解と認識及び思考力・表現力・判断力をみる。	〈美術実技の選択者〉 美術・美術教育をとおして，これからの教育課題に向き合える力を持ち合わせているか，個人の活動はもとより，他者との協調性，美術・美術教育及び教職に対する意欲等を総合的に判断し採点・評価する。 〈書道実技の選択者〉 面接をとおして，思考力・表現力・判断力をみるとともに，書写・書道教育及び教職への熱意・適性について総合的に採点・評価する。
後期日程	初等教育教員養成課程 小学校教育専攻 昼間コース	学校教育に関する理解と認識及び思考力・表現力をみる。	面接をとおして，論理性・表現力・応用能力をみるとともに，学校教育・教職への熱意・適性について総合的に採点・評価する。
	初等教育教員養成課程 小学校教育専攻 夜間５年コース	学校教育に関する理解と認識及び思考力・表現力をみる。	面接をとおして，論理性・表現力・応用能力をみるとともに，学校教育・教職への熱意・適性について総合的に採点・評価する。
	学校教育教員養成課程 小中教育専攻 国語教育コース	国語（現代文・古文・漢文・国語表現）及び国語教育に関する理解と認識及び思考力，表現力，判断力をみる。	面接をとおして，質問に対する理解力，思考力，応答の適確さ，応用力をみるとともに，国語教育及び教職に対する適性について総合的に評価する。
	養護教諭養成課程	健康問題に関する理解と応用的能力をみる。	質問に対する理解力，思考力をみるとともに，応答における考えの的確さ，表現の簡潔さ，論理性，応用能力についても採点・評価の対象とする。

教育協働学科

専攻・コース		内容	採点・評価基準
後期日程	健康安全科学専攻	安全，健康，生活に関する理解と関心度をみる。	課題の理解度，意欲・表現力を総合的に評価する。
	理数情報専攻 自然科学コース	自然科学に関連する教科に関する理解と認識をみる。 実験・観察の内容を含む。	面接（簡単な実験・観察の内容を含む）をとおして自然科学に関する知識，理解力及び自然に対する探究心を総合的に評価する。

（６）実　技　検　査

（６）－１　実技検査の実施内容及び留意事項

教員養成課程

【前期日程】

課　程　・　専　攻　等	実　施　内　容　及　び　留　意　事　項
学校教育教員養成課程 小中教育専攻 中等教育専攻 保健体育コース	次のⅠ，Ⅱの検査を実施する。 Ⅰ．専門実技検査：種目別運動技能に関するテスト 下記 1)～16)の中から１種目を出願時に選択すること。出願後の変更は認めない。 1）陸上競技 下記の種目の中から１種目を選択し，試合形式で記録測定を行う。 男子：100m，200m，400m，800m，1500m，110mH，400mH，3000mW，走高跳，棒高跳，走幅跳，三段跳，砲丸投，円盤投，ハンマー投，やり投 女子：100m，200m，400m，800m，1500m，100mH，400mH，3000mW，走高跳，棒高跳，走幅跳，三段跳，砲丸投，円盤投，ハンマー投，やり投 2）バスケットボール 1. 各種シュート（ランニングシュート，ジャンプシュート） 2. ２対１または３対２ 3. 速攻 4. ゲーム 3）サッカー フィールドプレーヤーまたはゴールキーパーを選択して検査を行う。 ＜フィールドプレーヤー＞ 1. 短距離走 2. 各種シュート 3. ゲーム ＜ゴールキーパー＞ 1. ゴールキーピング(キャッチング，ポジショニング，セービング) （フィールドプレーヤーの2.3.のテストでゴールマウスに入って行う。） 2.キックの技能 4）ラグビーフットボール 1. グリッド（ムーブ・ザ・ボール） 2. ヒット（コンタクト） 3. タックル 4. タッチフット 5）バレーボール 1. 最高到達点 2. 対人パス（オーバーハンドパス，アンダーハンドパス） 3. 対人レシーブ 4. スパイクまたはトスまたはサーブレシーブ（選択） 5. ゲーム 6）ハンドボール コートプレーヤーまたはゴールキーパーを選択して検査を行う。 ＜コートプレーヤー＞ 1. シュート 2. １対１の攻撃 3. ゲーム（３対３） 4. 遠投

（教員養成課程・前期日程　次頁へ続く）

（教員養成課程・前期日程　前頁から続く）

学校教育教員養成課程 小中教育専攻 中等教育専攻 保健体育コース	＜ゴールキーパー＞ 1. シュートセーブ 2. ゲーム（３対３） 3. 遠投 7）卓球 ゲーム（シングルス） 8）硬式テニス ゲーム（シングルス） 9）ソフトテニス ゲーム（ダブルス） 10）硬式野球 1. バッティング 2. 走塁（ベースランニング） 3. 3-1.野手 または 3-2.投手 を選択して検査を行う。 3-1. 野手（各自のポジションでの守備） 3-2. 投手（ピッチング） 11）バドミントン ゲーム（シングルス） 12）体操競技 男子：ゆか，あん馬，鉄棒の各種目で，指定された基本的な技の実施。 女子：ゆか，平均台，段違い平行棒の各種目で，指定された基本的な技の実施。 13）ダンス 1. 基礎的身体運動：示範の動き（伴奏付き）を練習後に実施。 2. 短いフレーズの創作（現代的なリズム）：現代的なリズムにふさわしい動きを組み込んだ短いフレーズの創作。 3. 課題による創作：課題（伴奏付き）を与え，課題からイメージしたものをダンス作品として創作。 14）柔　道 1. 受身 2. 立技 3. 寝技 4. 乱取 15）剣　道 1. 切り返し 2. 応じ技 3. 互角稽古・試合稽古 16）水泳競技（競泳） 下記の種目の中から１種目を選択し，試合形式で記録測定を行う。 50m自由形，100m自由形，200m自由形，400m自由形，100m背泳ぎ，200m背泳ぎ，100m平泳ぎ，200m平泳ぎ，100mバタフライ，200mバタフライ，200m個人メドレー，400m個人メドレー Ⅱ．選択実技検査：種目別運動技能に関するテスト 次頁の表を参考にしてＡ～Ｌの中から出願時に１種目選択（但しＬはＬ１またはＬ２から１種目を選択）すること。出願後の変更は認めない。なお，「○」は選択出来る種目，「×」は選択出来ない種目である。

（教員養成課程・前期日程　次頁へ続く）

（教員養成課程・前期日程　前頁から続く）

専門実技検査・選択実技検査組み合わせ一覧

Ⅰ 専門実技検査 ＼ Ⅱ 選択実技検査		A 陸上競技	B バスケットボール	C サッカー	D バレーボール	E 硬式テニス	F ソフトボール	G バドミントン	H 器械運動	I ダンス	J 柔道	K 剣道	L 体つくり 1 ラジオ体操及びみんなの体操	L 体つくり 2 メディシンボール横投げ
1	陸上競技	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
2	バスケットボール	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
3	サッカー	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
4	ラグビーフットボール	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
5	バレーボール	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	
6	ハンドボール	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
7	卓球	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
8	硬式テニス	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	
9	ソフトテニス	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	
10	硬式野球	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	
11	バドミントン	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	
12	体操競技	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	
13	ダンス	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	
14	柔道	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	
15	剣道	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	
16	水泳競技（競泳）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

学校教育教員養成課程
小中教育専攻
中等教育専攻
保健体育コース

A 陸上競技

以下の走，跳躍，投てき，全ての種目について試技を行い，記録を測定する。

1. ５０ｍハードル走
2. 走り幅跳び
3. 槍投げ（ジャベリック）

B バスケットボール

1. 各種シュート（ランニングシュート，ジャンプシュート）
2. ドリブル
3. ゲーム

C サッカー

1. ボールコントロール（キックを含む）
2. 各種シュート
3. ゲーム

D バレーボール

1. パス（オーバーハンドパス，アンダーハンドパス）
2. 対人レシーブ
3. ラリー（１人で３段攻撃を行う）

E 硬式テニス

1. サーブ
2. クロスコートラリー
3. ボレー・スマッシュ（球出し）

F ソフトボール

1. キャッチボール（全員）
2. 遠投（全員）
3. バッティングまたはピッチング（選択）

（教員養成課程・前期日程　次頁へ続く）

学校教育教員養成課程 小中教育専攻 中等教育専攻 保健体育コース	Ｇ バドミントン 1. サーブ 2. 基礎打ち Ｈ 器械運動 マット運動について，当日指定された技を実施する。 Ｉ ダンス 1. 基礎的身体運動：示範の動き（伴奏付き）を練習後に実施。 2. 短いフレーズの創作（現代的なリズム）：現代的なリズムにふさわしい動きを組み込んだ短いフレーズの創作。 Ｊ 柔　道 1. 受身 2. 立技 3. 寝技 Ｋ 剣　道 1. 基本動作（素振り） 2. 基本打突 3. 基本となる技 （注）小手胴垂のみ着装：剣道具は持参もしくは貸出し可能 Ｌ体つくり（Ｌ１，Ｌ２の中から１種目を選択） Ｌ１　ラジオ体操及びみんなの体操：ラジオ体操第一，第二及びみんなの体操の中から当日指定された体操を行う。 Ｌ２　メディシンボール横投げ：男女とも1.0kgのゴム製ボールを用い，決められたところから両手で横投げする。
学校教育教員養成課程 小中教育専攻 音楽教育コース	次のⅠ～Ⅲの検査を実施する。 Ⅰ．歌　曲 下記の２曲から任意の１曲を歌う。 1）浜辺の歌　成田為三　(As,F-Dur) 2）Caro mio ben　G.Giordani　(F,Es,D,C-Dur) （注）1. 歌詞は，原語により暗譜で歌うこと。 2. 上記以外の調で歌う場合は，移調した伴奏用楽譜（正確，明瞭に記譜し，歌唱旋律及び歌詞を記入したもの）に志願者氏名を明記し，出願確認票とともに提出すること。（ただし，浜辺の歌については２番までとする。） 3. 伴奏者は本学で配置する。 Ⅱ．ピアノ 次の1),2)からそれぞれ１曲ずつ，計２曲を演奏する。 1)古典派のソナタから任意の一つの楽章（ただし緩徐楽章は除く） 2)ロマン派又は近現代の曲（ただし出版されている作品であること。邦人作品を含む。） （注）1. 演奏は暗譜で行い，原則として繰り返しは省略すること。なお演奏の途中で中止させる場合がある。 2. **選んだ２曲の作曲者名と曲名をインターネット出願で登録して申請すること。** Ⅲ．楽　典　（解答時間　６０分） 高等学校の教科書 音楽Ⅰ 程度の内容

（教員養成課程・前期日程　次頁へ続く）

学校教育教員養成課程 中等教育専攻 音楽教育コース	次のⅠ～Ⅳの検査を実施する。 なお，「Ⅱ．ピアノ」と「Ⅲ．管楽器」については，いずれかを選択すること。 Ⅰ．歌　曲 下記の２曲から任意の１曲を歌う。 1）Caro laccio　F.Gasparini　(Des,Es-Dur) 2）Sogno　F.P.Tosti　(As,B-Dur) （注）1．歌詞は，原語により暗譜で歌うこと。 2．上記以外の調で歌う場合は，移調した伴奏用楽譜（正確，明瞭に記譜し，歌唱旋律及び歌詞を記入したもの）に志願者氏名を明記し，出願確認票とともに提出すること。 3．伴奏者は本学で配置する。 Ⅱ．ピアノ（選択） 次の1)と2)の計２曲を演奏する。 1）L.v.Beethoven ： ソナタ 第11番 B-Dur Op.22 第１楽章 2）F.Chopin ： ワルツ集より任意の１曲 （注）演奏は暗譜で行い，原則として繰り返しは省略すること。なお演奏の途中で中止させる場合がある。 Ⅲ．管楽器（選択） 次の楽器から１つ選択し，任意の楽曲又は練習曲を１曲演奏する。ただし，演奏は暗譜で行い無伴奏とする。なお，演奏の途中で中止させる場合がある。 フルート，オーボエ，クラリネット，ファゴット，トランペット，ホルン，トロンボーン，テューバ （注）**選んだ曲の作曲者名と曲名，選んだ楽器名をインターネット出願で登録して申請すること。** Ⅳ．楽　典　（解答時間　６０分） 高等学校の教科書 音楽Ⅰ 程度の内容
学校教育教員養成課程 小中教育専攻 中等教育専攻 美術・書道教育コース	**〈美術実技の選択者〉** 鉛筆による静物デッサン （注）鉛筆，消しゴム（ねり消しゴムを含む）は各自持参すること。羽根ボウキは使用可。スケールは使用不可。 （カルトン，画用紙，クリップは本学で準備する。） **〈書道実技の選択者〉** 次の検査を実施する。 １）臨書（半紙） ①楷書「九成宮醴泉銘」　②行書「集字聖教序」　③草書「書譜」 ④仮名「高野切第三種」 ２）筆記テスト（書道Ⅰ，書道Ⅱで扱う専門的知識を問う。） （注）１　硯，墨，筆（大・小），水差し，無地の下敷き，文鎮，筆記用具及び新聞紙は各自持参すること。 ２　半紙は本学で準備する。 ［注］【小中教育専攻】 実技検査の種別ごとに，前期日程では，美術実技を選択した者から８人程度，書道実技を選択した者から２人程度を合格者数の目安とする。 【中等教育専攻】 実技検査の種別ごとに，前期日程では，美術実技を選択した者から４人程度，書道実技を選択した者から３人程度を合格者数の目安とする。

【後期日程】

課程・専攻等	実施内容及び留意事項
学校教育教員養成課程 小中教育専攻 保健体育コース	次の検査を実施する。 専門実技検査：種目別運動技能に関するテスト 下記 1)～16)の中から１種目を出願時に選択すること。出願後の変更は認めない。 1）陸上競技 下記の種目の中から１種目を選択し，試合形式で記録測定を行う。 男子：100m，200m，400m，800m，1500m，110mH，400mH，3000mW，走高跳，棒高跳，走幅跳，三段跳，砲丸投，円盤投，ハンマー投，やり投 女子：100m，200m，400m，800m，1500m，100mH，400mH，3000mW，走高跳，棒高跳，走幅跳，三段跳，砲丸投，円盤投，ハンマー投，やり投 2）バスケットボール 1. 各種シュート（ランニングシュート，ジャンプシュート） 2. ２対１または３対２ 3. 速攻 4. ゲーム 3）サッカー フィールドプレーヤーまたはゴールキーパーを選択して検査を行う。 ＜フィールドプレーヤー＞ 1. 短距離走 2. 各種シュート 3. ゲーム（８対８） ＜ゴールキーパー＞ 1. ゴールキーピング（キャッチング，ポジショニング，セービング） （フィールドプレーヤーの2.3.のテストでゴールマウスに入って行う。） 2. キックの技能 4）ラグビーフットボール 1. グリッド（ムーブ・ザ・ボール） 2. ヒット（コンタクト） 3. タックル 4. タッチフット 5）バレーボール 1. 最高到達点 2. 対人パス（オーバーハンドパス，アンダーハンドパス） 3. 対人レシーブ 4. スパイクまたはトスまたはサーブレシーブ（選択） 5. ゲーム 6）ハンドボール コートプレーヤーまたはゴールキーパーを選択して検査を行う。 ＜コートプレーヤー＞ 1. シュート 2. １対１の攻撃 3. ゲーム（３対３） 4. 遠投 ＜ゴールキーパー＞ 1. シュートセーブ 2. ゲーム（３対３） 3. 遠投 7）卓球 ゲーム（シングルス）

（教員養成課程・後期日程　次頁へ続く）

（教員養成課程・後期日程　前頁から続く）

学校教育教員養成課程 小中教育専攻 保健体育コース	8）硬式テニス ゲーム（シングルス） 9）ソフトテニス ゲーム（ダブルス） 10）硬式野球 1. バッティング 2. 走塁（ベースランニング） 3. 3-1.野手 または 3-2.投手 を選択して検査を行う。 3-1. 野手（各自のポジションでの守備） 3-2. 投手（ピッチング） 11）バドミントン ゲーム（シングルス） 12）体操競技 男子：ゆか，あん馬，鉄棒の各種目で，指定された基本的な技の実施。 女子：ゆか，平均台，段違い平行棒の各種目で，指定された基本的な技の実施。 13）ダンス 1. 基礎的身体運動：示範の動き（伴奏付き）を練習後に実施。 2. 短いフレーズの創作（現代的なリズム）：現代的なリズムにふさわしい動きを組み込んだ短いフレーズの創作。 3. 課題による創作：課題（伴奏付き）を与え，課題からイメージしたものをダンス作品として創作。 14）柔　道 1. 受身 2. 立技 3. 寝技 4. 乱取 15）剣　道 1. 切り返し 2. 応じ技 3. 互角稽古・試合稽古 16）水泳競技（競泳） 下記の種目の中から１種目を選択し，試合形式で記録測定を行う。 50m自由形，100m自由形，200m自由形，400m自由形，100m背泳ぎ，200m背泳ぎ，100m平泳ぎ，200m平泳ぎ，100mバタフライ，200mバタフライ，200m個人メドレー，400m個人メドレー

（教員養成課程・後期日程　次頁へ続く）

学校教育教員養成課程 小中教育専攻 美術・書道教育 コース	**〈美術実技の選択者〉** 次の検査を実施する。 実物又は図版などで，美術作品や児童生徒作品などを鑑賞し，そこから感じたこと・読み取ったことなどを記述する。 （注）筆記用具は持参すること。作品又は作品図版，その他解答に必要なものは本学で用意する。 **〈書道実技の選択者〉** 次の検査を実施する。 １）臨書（半紙） ①楷書「九成宮醴泉銘」　②行書「集字聖教序」　③草書「書譜」 ④仮名「高野切第三種」 ２）筆記テスト（書道Ⅰ，書道Ⅱで扱う専門的知識を問う。） （注）１　硯，墨，筆（大・小），水差し，無地の下敷き，文鎮，筆記用具及び新聞紙は各自持参すること。 ２　半紙は本学で準備する。 ［注］実技検査の種別ごとに，後期日程では，美術実技を選択した者から３人程度，書道実技を選択した者から２人程度を合格者数の目安とする。

【前期日程】

専攻・コース	実施内容及び留意事項
芸術表現専攻 音楽表現コース	

志望専門別検査科目表

検査科目＼志望専門	作曲	声楽	器楽		
			ピアノ	弦楽器	管・打楽器
作曲	A				
声楽		B			
ピアノ			C		
弦楽器				D	
管・打楽器					E
聴音	F	F	F	F	F
ピアノ	G	G	(G)	G	G
楽典	H	H	H	H	H

【専　　門】 志望専門別に受験すること。

A　作　　曲

ア　与えられたバス及びソプラノに和声を付け四声体にする。（制作時間２時間）

イ　与えられたテーマ又はモティーフに基づいて，ピアノ曲を作る。（制作時間２時間）

（注）ア，イともに試験中の楽器の使用は認めない。

B　声　　楽

ア　課題曲

次の10曲から任意の２曲を選び，その中から当日指定された１曲を暗譜で歌う。

1) Star vicino　S.Rosa
2) Sento nel core　A.Scarlatti
3) Son tutta duolo　A.Scarlatti
4) Caro laccio　F.Gasparini
5) Lasciar d'amarti　F.Gasparini
6) Sebben, crudele　A.Caldara
7) Se tu m'ami　G.B.Pergolesi
8) An die Musik　F.P.Schubert
9) Die Lotosblume　R.A.Schumann
10) Wiegenlied　J.Brahms

イ　自由曲

課題曲1)～10）以外で，４分以内に演奏できる任意の１曲を暗譜で歌う。

（注）１　歌詞は原語で歌うこと。

２　オペラ及びオラトリオ等のアリアは原調で歌うこと。

３　曲の途中で演奏を中止させる場合がある。

４　**課題曲・自由曲ともに伴奏用楽譜（歌唱旋律及び歌詞が記入されたもの）を提出すること。**ただし，１ページの大きさはＢ５判（縦257㎜×横182㎜）とし，志願者氏名を明記の上，出願確認票と共に提出すること。提出後の作品及び調性等の変更は認めない。

５　伴奏者は本学で配置する。

（教育協働学科・前期日程　次頁へ続く）

芸術表現専攻
音楽表現コース

C　ピ ア ノ

ア，イの順に暗譜で演奏し，繰り返しは省略すること。使用する楽譜の版は指定をしない。

ア　次の３曲より任意の１曲

J.S.Bach ： Das Wohltemperierte Klavier
Teil Ⅰ Nr.5　D-dur PraeludiumとFuga
Teil Ⅱ Nr.2　c-moll PraeludiumとFuga
Teil Ⅱ Nr.6　d-moll PraeludiumとFuga

イ　次の３曲より任意の１曲

L.v.Beethoven ： Sonate 第16番 G-dur　Op.31 Nr.1　第１楽章
第17番 d-moll Op.31 Nr.2　第１楽章
第18番 Es-dur Op.31 Nr.3　第１楽章

D　弦 楽 器

楽器別により，それぞれ指定（ア，イ，ウ）されたものを暗譜で演奏する。ただし，無伴奏とする。また，楽譜について指定のあるものは，その版を用いること。

a　ヴァイオリン

ア　Carl Flesch ： Scale System より C-dur
No.5の冒頭の12小節（テンポは　♩=100～120）
No.6,7,8の冒頭の４小節
（テンポは　♩=40～50）

イ　Rode ： 24 CAPRICEN の中から任意の１曲

ウ　自由曲　１曲(Rode ： 24 CAPRICEN を除く)

b　ヴィオラ

ア　Carl Flesch ： Scale System　より C-dur
No.5の冒頭の12小節（テンポは　♩=100～120）
（注）ヴィオラ用に編曲された楽譜を使用すること。

イ　自由曲　１曲

c　チェロ

ア　J.Loeb ： Gammes et arpèges pour violoncelle（Billaudot版）により，
３オクターブの音階と分散和音（C,D,Es,E-dur の中から当日指定）
音階は，テンポ　♩=60以上
スラーは の形で演奏する。
分散和音は，テンポ，フィンガリングともに自由
スラーは の形で演奏する。

イ　自由曲　１曲

d　コントラバス

ア　シャープ又はフラットが３個までの調号をもつ長調又は短調のうちから，２オクターブの音階（調は当日指定。短調は和声的短音階と旋律的短音階の両方を演奏する。テンポ，フィンガリング，スラーは自由）

イ　F.Simandl ： 30 Etudes より No.17

ウ　下記の中から任意の１曲

Capuzzi ： Concerto D-dur 第１楽章（カデンツァは省略）
Dittersdorf ： Concerto E-dur 第１楽章（カデンツァは省略）

（注）楽器貸出し可能

（教育協働学科・前期日程　次頁へ続く）

芸術表現専攻
音楽表現コース

E　管・打楽器

楽器別により，それぞれ指定（ア，イ，ウ）されたものを演奏する。ただし，無伴奏とし，楽譜は見てもよい。また，楽譜について指定のあるものは，その版を用いること。

a　フルート

ア　長調の音階，半音階及び主和音の分散和音（調及びアーティキュレーションは当日指定）

イ　A.B.Furstenau ： BOUQET DES TONS Op.125（Leduc版）より No.5
K.J.Andersen ： 24 studies Op.21（Schirmer版）より No.4,10
以上の３曲の中から当日指定

ウ　W.A.Mozart ： Flute Concerto No.1 G-dur K.313, No.2 D-dur K.314の中から任意の１曲の第１楽章（カデンツァは省略）

b　オーボエ

ア　フルートのアに同じ。

イ　J.H.Luft ： 24 Etüden より No.4,15 の中から当日指定

ウ　J.Haydn ： Oboe Konzert C-dur（Breitkopf版）第１楽章

c　クラリネット

ア　フルートのアに同じ。

イ　C.Rose ： 32 Etudes（Leduc版）より 任意の１曲

ウ　C.M.Weber ： Concertino Es-dur Op.26

d　ファゴット

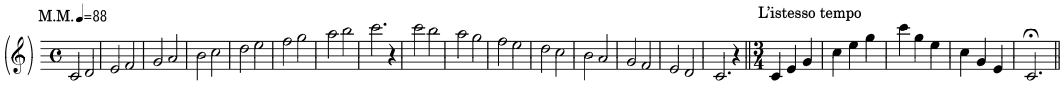
ア　フルートのアに同じ。

イ　J.Weissenborn ： Fagott Studien Op.8 Heft Ⅱ より No.2,3,10 の中から当日指定

ウ　G.P.Telemann ： SONATA in f for Bassoon & Continuo より 第１楽章，第２楽章

e　トランペット

ア　次の譜例により，長調の音階２オクターブ及び分散和音(調は当日指定)



イ　C.Kopprasch ： Sixty Selected Studies for Trumpet
No.1～34の中から当日指定

ウ　下記１），２），３）のいずれか１曲を選択。

１）G.ALARY ： MORCEAU DE CONCOURS（ALPHONSE LEDUC版）

２）P.GAUBERT ： CANTABILE ET SCHERZETTO（ALPHONSE LEDUC版）

３）G. HÜE ： 1er SOLO DE CORNET A PISTONS（ALPHONSE LEDUC版）

f　ホルン

ア　トランペットのアに同じ。

イ　C.Kopprasch ： Sixty Selected Studies for French Horn
No.8,12,13,15,16,19,20,21,22,23 の中から当日指定

ウ　W.A.Mozart ： Horn Concerto No.3 Es-dur K.447 第１楽章（カデンツァは省略）

g　トロンボーン

ア　トランペットのアに同じ。

イ　C.Kopprasch ： Sixty Selected Studies for Trombone
No.7,11,12,13,14,15,19,21,25,27 の中から当日指定

ウ　J.E.Galliard ： Six Sonatas No.1（International版）

（教育協働学科・前期日程　次頁へ続く）

芸術表現専攻 音楽表現コース	h　バス・トロンボーン ア　トランペットのアに同じ。 イ　C.Kopprasch：Sixty Selected Studies for Trombone No.3,5,7,8,11,12,18,19,20,21 の中から当日指定 （ただし，No.7,8,12は１オクターブ下で演奏すること） ウ　E.Sachse：Konzert F-dur für Posaune und Klavier（Zimmermann版） i　テューバ ア　トランペットのアに同じ。 イ　C.Kopprasch：Sixty Selected Studies for BB flat TUBA （ROBERT KING MUSIC版）よりNo.7,11,12,13,14,15,19,21,25,27 の中から当日指定 ウ　J.S.Bach-W.Bell 編曲：Air and Bourrée（Carl Fischer版） j　打楽器 ア　小太鼓の基本奏法 １つ打ち，２つ打ち，５つ打ち （緩→急→緩　等，当日指定），ロール（＜，＞，＜　＞等，当日指定） イ　Anthony J.Cirone：Portraits in Rhythm 50 Studies for Snare Drum より No.3,13の中から当日指定 ウ　Morris Goldenberg：Modern School for Xylophone Marimba Vibraphone （Alfred版）より Bach's Violin Concerto in A minor Adapted for Xylophone by M.Goldenberg Allegro moderato（94～96頁） （注）ウについては，マリンバで演奏すること。 マリンバ（５オクターブ半），小太鼓，スタンド，バチ置きは貸出し可能 **【音楽に関する基礎能力の検査】**　下記については全員受験すること。 F　聴　　音 a　旋律聴音　　8小節程度の単旋律を書き取る。 b　和声聴音　　8小節程度の密集四声体による和声を書き取る。 （調の範囲は，ａ・ｂいずれもシャープ又はフラットが二つまで） G　ピ ア ノ 作曲，声楽，弦楽器及び管・打楽器を専門とする者は，下記の曲を演奏する。 J.Haydn，W.A.Mozart，L.v.Beethoven：Sonatenより任意の一つの速い楽章。 ただし，ピアノを専門とする者は，Ｃのアをもってこれに代える。 （注）１　暗譜で演奏し，繰り返しは省略すること。 ２　**<u>作曲者名と曲名をインターネット出願で登録して申請すること。</u>** H　楽　　典　　（解答時間５０分）
	※　試験当日は自動車（単車等を含む。）での入構及び保護者等の入構を基本的に禁止します（63頁参照）が，教育協働学科芸術表現専攻音楽表現コースの志望者で，コントラバスを持参する者については，自動車での入構を認めることがあります。 自動車での入構を希望する者は平成３１年２月７日（木）までに入試課へ申し出てください。ただし，自動車での入構は駐車場までとし，その先への保護者等の付き添いは認めません。また，この期間内に申し出のなかった者には，自動車での入構を認めません。（連絡先　Fax：072-978-3327　電子メール：nyushika@bur.osaka-kyoiku.ac.jp）
芸術表現専攻 美術表現コース	次の検査を実施する。 鉛筆による卓上モチーフの描写 （注）鉛筆，消しゴム（ねり消しゴムを含む），羽根ボウキを各自持参すること。 それ以外の道具は使用不可とする。 ※　カルトン，カルトン用クリップ，画用紙，鉛筆削り用具は本学で準備する。 ※　鉛筆の硬度は問わない。

（教育協働学科・前期日程　次頁へ続く）

スポーツ科学専攻	次のⅠ，Ⅱの検査を実施する。 Ⅰ．専門実技検査：種目別運動技能に関するテスト 下記 1)～16)の中から１種目を出願時に選択すること。出願後の変更は認めない。 1）陸上競技 下記の種目の中から１種目を選択し，試合形式で記録測定を行う。 男子：100m，200m，400m，800m，1500m，110mH，400mH，3000mW，走高跳，棒高跳，走幅跳，三段跳，砲丸投，円盤投，ハンマー投，やり投 女子：100m，200m，400m，800m，1500m，100mH，400mH，3000mW，走高跳，棒高跳，走幅跳，三段跳，砲丸投，円盤投，ハンマー投，やり投 2）バスケットボール 1. 各種シュート（ランニングシュート，ジャンプシュート） 2. ２対１または３対２ 3. 速攻 4. ゲーム 3）サッカー フィールドプレーヤーまたはゴールキーパーを選択して検査を行う。 ＜フィールドプレーヤー＞ 1. 短距離走 2. 各種シュート 3. ゲーム ＜ゴールキーパー＞ 1. ゴールキーピング（キャッチング，ポジショニング，セービング） （フィールドプレーヤーの2.3.のテストでゴールマウスに入って行う。） 2. キックの技能 4）ラグビーフットボール 1. グリッド（ムーブ・ザ・ボール） 2. ヒット（コンタクト） 3. タックル 4. タッチフット 5）バレーボール 1. 最高到達点 2. 対人パス（オーバーハンドパス，アンダーハンドパス） 3. 対人レシーブ 4. スパイクまたはトスまたはサーブレシーブ（選択） 5. ゲーム 6）ハンドボール コートプレーヤーまたはゴールキーパーを選択して検査を行う。 ＜コートプレーヤー＞ 1. シュート 2. １対１の攻撃 3. ゲーム（３対３） 4. 遠投 ＜ゴールキーパー＞ 1. シュートセーブ 2. ゲーム（３対３） 3. 遠投 7）卓球 ゲーム（シングルス）

（教育協働学科・前期日程　次頁へ続く）

スポーツ科学専攻	8）硬式テニス ゲーム（シングルス） 9）ソフトテニス ゲーム（ダブルス） 10）硬式野球 1. バッティング 2. 走塁（ベースランニング） 3. 3-1.野手 または 3-2.投手 を選択して検査を行う。 3-1. 野手（各自のポジションでの守備） 3-2. 投手（ピッチング） 11）バドミントン ゲーム（シングルス） 12）体操競技 男子：ゆか，あん馬，鉄棒の各種目で，指定された基本的な技の実施。 女子：ゆか，平均台，段違い平行棒の各種目で，指定された基本的な技の実施。 13）ダンス 1. 基礎的身体運動：示範の動き（伴奏付き）を練習後に実施。 2. 短いフレーズの創作（現代的なリズム）：現代的なリズムにふさわしい動きを組み込んだ短いフレーズの創作。 3. 課題による創作：課題（伴奏付き）を与え，課題からイメージしたものをダンス作品として創作。 14）柔　道 1. 受身 2. 立技 3. 寝技 4. 乱取 15）剣　道 1. 切り返し 2. 応じ技 3. 互角稽古・試合稽古 16）水泳競技（競泳） 下記の種目の中から１種目を選択し，試合形式で記録測定を行う。 50m自由形，100m自由形，200m自由形，400m自由形，100m背泳ぎ，200m背泳ぎ，100m平泳ぎ，200m平泳ぎ，100mバタフライ，200mバタフライ，200m個人メドレー，400m個人メドレー Ⅱ．選択実技検査：種目別運動技能に関するテスト 次頁の表を参考にしてＡ～Ｌの中から出願時に１種目選択（但しＬはＬ１またはＬ２から１種目を選択）すること。出願後の変更は認めない。なお，「○」は選択出来る種目，「×」は選択出来ない種目である。

（教育協働学科・前期日程　次頁へ続く）

スポーツ科学専攻

専門実技検査・選択実技検査組み合わせ一覧

Ⅰ 専門実技検査 ＼ Ⅱ 選択実技検査		A 陸上競技	B バスケットボール	C サッカー	D バレーボール	E 硬式テニス	F ソフトボール	G バドミントン	H 器械運動	I ダンス	J 柔道	K 剣道	L 体つくり 1 ラジオ体操及びみんなの体操	L 体つくり 2 メディシンボール横投げ
1	陸上競技	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
2	バスケットボール	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
3	サッカー	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
4	ラグビーフットボール	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
5	バレーボール	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	
6	ハンドボール	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
7	卓球	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
8	硬式テニス	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	
9	ソフトテニス	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	
10	硬式野球	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	
11	バドミントン	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	
12	体操競技	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	
13	ダンス	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	
14	柔道	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	
15	剣道	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	
16	水泳競技（競泳）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

A　陸上競技

以下の走，跳躍，投てき，全ての種目について試技を行い，記録を測定する。

1. ５０ｍハードル走
2. 走り幅跳び
3. 槍投げ（ジャベリック）

B　バスケットボール

1. 各種シュート（ランニングシュート，ジャンプシュート）
2. ドリブル
3. ゲーム

C　サッカー

1. ボールコントロール（キックを含む）
2. 各種シュート
3. ゲーム

D　バレーボール

1. パス（オーバーハンドパス，アンダーハンドパス）
2. 対人レシーブ
3. ラリー（１人で３段攻撃を行う）

E　硬式テニス

1. サーブ
2. クロスコートラリー
3. ボレー・スマッシュ（球出し）

F　ソフトボール

1. キャッチボール（全員）
2. 遠投（全員）
3. バッティングまたはピッチング（選択）

（教育協働学科・前期日程　次頁へ続く）

スポーツ科学専攻	Ｇ　バドミントン 1. サーブ 2. 基礎打ち Ｈ　器械運動 マット運動について，当日指定された技を実施する。 Ｉ　ダンス 1. 基礎的身体運動：示範の動き（伴奏付き）を練習後に実施。 2. 短いフレーズの創作（現代的なリズム）：現代的なリズムにふさわしい動きを組み込んだ短いフレーズの創作。 Ｊ　柔　道 1. 受身 2. 立技 3. 寝技 Ｋ　剣　道 1. 基本動作（素振り） 2. 基本打突 3. 基本となる技 （注）小手胴垂のみ着装：剣道具は持参もしくは貸出し可能 Ｌ　体つくり（Ｌ１，Ｌ２の中から１種目を選択） Ｌ１　ラジオ体操及びみんなの体操：ラジオ体操第一，第二及びみんなの体操の中から当日指定された体操を行う。 Ｌ２　メディシンボール横投げ：男女とも1.0kgのゴム製ボールを用い，決められたところから両手で横投げする。

【後期日程】

専攻・コース	実施内容及び留意事項
芸術表現専攻 音楽表現コース	

志望専門別検査科目表

検査科目＼志望専門	作曲	声楽	器楽		
			ピアノ	弦楽器	管・打楽器
作曲	A				
声楽		B			
ピアノ			C		
弦楽器				D	
管・打楽器					E

【専　門】 志望専門別に受験すること。

A　作　曲

ア　与えられたバス及びソプラノに和声を付け四声体にする。(制作時間２時間)

イ　与えられたテーマ又はモティーフに基づいて，ピアノ曲を作る。（制作時間２時間）

（注）ア，イともに試験中の楽器の使用は認めない。

B　声　楽

自由曲　２曲

（注）１　歌詞は原語とし，暗譜で歌うこと。

２　オペラ及びオラトリオ等のアリアは原調で歌うこと。

３　曲の途中で演奏を中止させる場合がある。

４　**伴奏用楽譜（歌唱旋律及び歌詞が記入されたもの）を提出すること。**ただし，１ページの大きさはＢ５判（縦 257 ㎜×横 182 ㎜）とし，志願者氏名を明記の上，出願確認票と共に提出すること。提出後の作品及び調性等の変更は認めない。

５　伴奏者は本学で配置する。

C　ピアノ

自由曲　１曲　［・バッハ平均律ピアノ曲集及びショパン練習曲集を除く。・ソナタの場合は１つの速い楽章。］

（注）１　暗譜で演奏し，繰り返しは省略すること。

２　**自由曲の作曲者名と曲名をインターネット出願で登録して申請すること。**

D　弦楽器

楽器別により，それぞれ指定（ア，イ）されたものを暗譜で演奏する。ただし，無伴奏とする。また，楽譜について指定のあるものは，その版を用いること。

自由曲については，楽器名・作曲者名・曲名をインターネット出願で登録して申請すること。

a　ヴァイオリン

ア　Carl Flesch : Scale System　より C-dur

No.5の冒頭の12小節（テンポは ♩=100～120）

No.6,7,8の冒頭の４小節（テンポは ♩=40～50）

イ　自由曲　１曲

b　ヴィオラ

ア　Carl Flesch : Scale System　より C-dur

No.5の冒頭の12小節（テンポは ♩=100～120）

（注）ヴィオラ用に編曲された楽譜を使用すること。

イ　自由曲　１曲

（教育協働学科・後期日程　次頁へ続く）

芸術表現専攻
音楽表現コース

c　チェロ

ア　J.Loeb : Gammes et arpèges pour violoncelle（Billaudot版）により，
３オクターブの音階と分散和音（C,D,Es,E-dur の中から当日指定）
音階は，テンポ ♩=60以上
スラーは ♫ ♫ の形で演奏する。
分散和音は，テンポ，フィンガリングともに自由
スラーは ♫ ♫ の形で演奏する。

イ　自由曲　１曲

d　コントラバス

ア　シャープ又はフラットが３個までの調号をもつ長調又は短調のうちから，２オクターブの音階（調は当日指定。短調は和声的短音階と旋律的短音階の両方を演奏する。テンポ，フィンガリング，スラーは自由）

イ　自由曲　１曲

（注）楽器貸出し可能

E　管・打楽器

楽器別により，それぞれ指定（ア，イ）されたものを演奏する。ただし，無伴奏とし，楽譜は見てもよい。

自由曲については，楽器名・作曲者名・曲名をインターネット出願で登録して申請すること。

a　フルート

ア　長調の音階，半音階及び主和音の分散和音（調及びアーティキュレーションは当日指定）

イ　自由曲　１曲

b　オーボエ

ア　フルートのアに同じ。

イ　自由曲　１曲

c　クラリネット

ア　フルートのアに同じ。

イ　自由曲　１曲

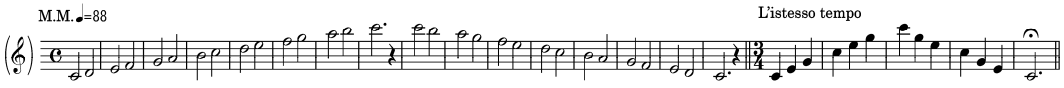
d　ファゴット

ア　フルートのアに同じ。

イ　自由曲　１曲

e　トランペット

ア　次の譜例により，長調の音階２オクターブ及び分散和音（調は当日指定）



イ　自由曲　１曲

f　ホルン

ア　トランペットのアに同じ。

イ　自由曲　１曲

g　トロンボーン

ア　トランペットのアに同じ。

イ　自由曲　１曲

（教育協働学科・後期日程　次頁へ続く）

（教育協働学科・後期日程　前頁から続く）

芸術表現専攻 音楽表現コース	h　バス・トロンボーン ア　トランペットのアに同じ。 イ　自由曲　１曲 i　テューバ ア　トランペットのアに同じ。 イ　自由曲　１曲 j　打楽器 ア　小太鼓の基本奏法 １つ打ち，２つ打ち，５つ打ち （緩→急→緩　等，当日指定），ロール（＜，＞，＜　＞等，当日指定） イ　小太鼓，マリンバのいずれかを用いた自由曲　１曲 （注）マリンバ（５オクターブ半），小太鼓，スタンド，バチ置きは貸出し可能
	※　試験当日は自動車（単車等を含む。）での入構及び保護者等の入構を基本的に禁止します（63頁参照）が，教育協働学科芸術表現専攻音楽表現コースの志望者で，コントラバスを持参する者については，自動車での入構を認めることがあります。 自動車での入構を希望する者は平成３１年２月７日（木）までに入試課へ申し出てください。ただし，自動車での入構は駐車場までとし，その先への保護者等の付き添いは認めません。また，この期間内に申し出のなかった者には，自動車での入構を認めません。（連絡先　Fax：072-978-3327　電子メール：nyushika@bur.osaka-kyoiku.ac.jp）
芸術表現専攻 美術表現コース	次の検査を実施する。 鉛筆による卓上モチーフの描写 （注）鉛筆，消しゴム（ねり消しゴムを含む），羽根ボウキを各自持参すること。 それ以外の道具は使用不可とする。 ※　カルトン，カルトン用クリップ，画用紙，鉛筆削り用具は本学で準備する。 ※　鉛筆の硬度は問わない。

（教育協働学科・後期日程　次頁へ続く）

（教育協働学科・後期日程　前頁から続く）

スポーツ科学専攻	次の検査を実施する。 専門実技検査：種目別運動技能に関するテスト 下記 1)～16)の中から１種目を出願時に選択すること。出願後の変更は認めない。 1）陸上競技 下記の種目の中から１種目を選択し，試合形式で記録測定を行う。 男子：100m，200m，400m，800m，1500m，110mH，400mH，3000mW，走高跳，棒高跳，走幅跳，三段跳，砲丸投，円盤投，ハンマー投，やり投 女子：100m，200m，400m，800m，1500m，100mH，400mH，3000mW，走高跳，棒高跳，走幅跳，三段跳，砲丸投，円盤投，ハンマー投，やり投 2）バスケットボール 1. 各種シュート（ランニングシュート，ジャンプシュート） 2. ２対１または３対２ 3. 速攻 4. ゲーム 3）サッカー フィールドプレーヤーまたはゴールキーパーを選択して検査を行う。 ＜フィールドプレーヤー＞ 1. 短距離走 2. 各種シュート 3. ゲーム ＜ゴールキーパー＞ 1. ゴールキーピング（キャッチング，ポジショニング，セービング） （フィールドプレーヤーの2.3.のテストでゴールマウスに入って行う。） 2. キックの技能 4）ラグビーフットボール 1. グリッド（ムーブ・ザ・ボール） 2. ヒット（コンタクト） 3. タックル 4. タッチフット 5）バレーボール 1. 最高到達点 2. 対人パス（オーバーハンドパス，アンダーハンドパス） 3. 対人レシーブ 4. スパイクまたはトスまたはサーブレシーブ（選択） 5. ゲーム 6）ハンドボール コートプレーヤーまたはゴールキーパーを選択して検査を行う。 ＜コートプレーヤー＞ 1. シュート 2. １対１の攻撃 3. ゲーム（３対３） 4. 遠投 ＜ゴールキーパー＞ 1. シュートセーブ 2. ゲーム（３対３） 3. 遠投 7）卓球 ゲーム（シングルス）

（教育協働学科・後期日程　次頁へ続く）

スポーツ科学専攻	8）硬式テニス ゲーム（シングルス） 9）ソフトテニス ゲーム（ダブルス） 10）硬式野球 1. バッティング 2. 走塁（ベースランニング） 3. 3-1.野手 または 3-2.投手 を選択して検査を行う。 3-1. 野手（各自のポジションでの守備） 3-2. 投手（ピッチング） 11）バドミントン ゲーム（シングルス） 12）体操競技 男子：ゆか，あん馬，鉄棒の各種目で，指定された基本的な技の実施。 女子：ゆか，平均台，段違い平行棒の各種目で，指定された基本的な技の実施。 13）ダンス 1. 基礎的身体運動：示範の動き（伴奏付き）を練習後に実施。 2. 短いフレーズの創作（現代的なリズム）：現代的なリズムにふさわしい動きを組み込んだ短いフレーズの創作。 3. 課題による創作：課題（伴奏付き）を与え，課題からイメージしたものをダンス作品として創作。 14）柔　道 1. 受身 2. 立技 3. 寝技 4. 乱取 15）剣　道 1. 切り返し 2. 応じ技 3. 互角稽古・試合稽古 16）水泳競技（競泳） 下記の種目の中から１種目を選択し，試合形式で記録測定を行う。 50m自由形，100m自由形，200m自由形，400m自由形，100m背泳ぎ，200m背泳ぎ，100m平泳ぎ，200m平泳ぎ，100mバタフライ，200mバタフライ，200m個人メドレー，400m個人メドレー

（6）－2　実技検査の採点・評価基準

教員養成課程

課程・専攻等		実施内容	採点・評価基準
前期日程	学校教育教員養成課程 小中教育専攻 中等教育専攻 保健体育コース	Ⅰ．専門実技検査 種目別運動技能に関するテスト Ⅱ．選択実技検査 種目別運動技能に関するテスト	体力・技術・戦術等を総合的に捉え，種目特有の運動技能の習熟度についても採点･評価の対象とする。 体力・技術・戦術等を総合的に捉え，種目特有の運動技能の習熟度についても採点･評価の対象とする。
	学校教育教員養成課程 小中教育専攻 音楽教育コース	Ⅰ．歌曲 Ⅱ．ピアノ Ⅲ．楽典	教員養成（音楽）に必要な基礎的技術，表現力等について検査する。 併せて，実技に必要な基礎的知識についても審査し，総合的に評価する。
	学校教育教員養成課程 中等教育専攻 音楽教育コース	楽器（ピアノ，もしくは管楽器）と声楽及び楽典。 ピアノの代わりに管楽器（金管楽器，木管楽器）での受験可。	教員養成（音楽）に必要な基礎的技術，表現力等について検査する。 併せて，実技に必要な基礎的知識についても審査し，総合的に評価する。
	学校教育教員養成課程 小中教育専攻 中等教育専攻 美術・書道教育コース	次のⅠ，Ⅱのいずれかを選択すること Ⅰ．美術実技 鉛筆による静物デッサン Ⅱ．書道実技 1）臨書 2）筆記テスト	基礎的な造形感覚（構成・対象把握）や表現能力を評価の対象とする。 用筆・構成などにかかわる表現力・鑑賞力・思考力・専門的知識を総合的に評価の対象とする。
後期日程	学校教育教員養成課程 小中教育専攻 保健体育コース	専門実技検査 種目別運動技能に関するテスト	体力・技術・戦術等を総合的に捉え，種目特有の運動技能の習熟度についても採点･評価の対象とする。
	学校教育教員養成課程 小中教育専攻 美術・書道教育コース	次のⅠ，Ⅱのいずれかを選択すること Ⅰ．美術実技 鑑賞問題 Ⅱ．書道実技 1）臨書 2）筆記テスト	図工・美術教育に必要な鑑賞能力，すなわち，対象をよく見て自分なりに価値を見いだす力と，それを，美術的・言語的に豊かに表現する力を，総合的に評価の対象とする。 用筆・構成などにかかわる表現力・鑑賞力・思考力・専門的知識を総合的に評価の対象とする。

教育協働学科

専攻・コース		実施内容	採点・評価基準
前期日程	芸術表現専攻 音楽表現コース	【専　門】 A　作曲 B　声楽 C　ピアノ D　弦楽器 E　管・打楽器 【音楽に関する基礎能力の検査】 F　聴音 G　ピアノ H　楽典	志望専門毎に設定された検査項目により，音楽性・演奏技術・創作能力等を審査するが，併せて，音楽を志す者にとって必要な，音楽的基礎能力及び知識についても審査し，総合的に評価する。
	芸術表現専攻 美術表現コース	鉛筆による卓上モチーフの描写	課題に基づいてモチーフを構成し，観察し，描写する力を評価する。
	スポーツ科学専攻	Ⅰ．専門実技検査 種目別運動技能に関するテスト Ⅱ．選択実技検査 種目別運動技能に関するテスト	体力・技術・戦術等を総合的に捉え，種目特有の運動技能の習熟度についても採点・評価の対象とする。 体力・技術・戦術等を総合的に捉え，種目特有の運動技能の習熟度についても採点・評価の対象とする。
後期日程	芸術表現専攻 音楽表現コース	【専　門】 A　作曲 B　声楽 C　ピアノ D　弦楽器 E　管・打楽器	志望専門毎に設定された検査項目により，音楽性・演奏技術・創作能力等について審査し，評価する。
	芸術表現専攻 美術表現コース	鉛筆による卓上モチーフの描写	課題に基づいてモチーフを構成し，観察し，描写する力を評価する。
	スポーツ科学専攻	専門実技検査 種目別運動技能に関するテスト	体力・技術・戦術等を総合的に捉え，種目特有の運動技能の習熟度についても採点・評価の対象とする。

（７）検　査　日　程

教員養成課程

【前期日程】

月　日	課程・専攻等			教科等	時間
2月25日(月)	初等教育教員養成課程	幼児教育専攻		面　接	１０：００ ～
		小学校教育専攻	昼間コース	小論文	１０：００ ～ １１：３０
			夜間５年コース	小論文	１０：００ ～ １１：３０
	学校教育教員養成課程	特別支援教育専攻		小論文	１０：００ ～ １１：３０
		小中教育専攻	学校教育コース	小論文	１０：００ ～ １１：３０
			国語教育コース	小論文 面　接	１０：００ ～ １１：３０ １３：００ ～
			英語教育コース	英　語	１０：００ ～ １２：００
			社会科教育コース	小論文	１０：００ ～ １２：００
			数学教育コース	理　科 数　学	１０：００ ～ １２：００ １３：３０ ～ １５：３０
			理科教育コース	理　科	１０：００ ～ １２：００
			家政教育コース	小論文	１０：００ ～ １２：００
			保健体育コース	実　技	１０：００ ～
			音楽教育コース	実　技	１０：００ ～
			美術・書道教育コース **（美術実技の選択者）**	面　接	１０：００ ～
			美術・書道教育コース **（書道実技の選択者）**	実　技 面　接	１０：００ ～ １２：００ １３：３０ ～
		中等教育専攻	国語教育コース	小論文 面　接	１０：００ ～ １１：３０ １３：００ ～
			英語教育コース	英　語	１０：００ ～ １２：００
			社会科教育コース	小論文	１０：００ ～ １２：００
			数学教育コース	理　科 数　学	１０：００ ～ １２：００ １３：３０ ～ １５：３０
			理科教育コース	理　科	１０：００ ～ １２：００
			技術教育コース	理科（物理）	１０：００ ～ １２：００
			家政教育コース	小論文	１０：００ ～ １２：００
			保健体育コース	実　技	１０：００ ～
			音楽教育コース	実　技	１０：００ ～
			美術・書道教育コース **（美術実技の選択者）**	面　接	１０：００ ～
			美術・書道教育コース **（書道実技の選択者）**	実　技 面　接	１０：００ ～ １２：００ １３：３０ ～
	養護教諭養成課程			小論文	１０：００ ～ １２：００
2月26日(火)	学校教育教員養成課程	小中教育専攻	保健体育コース	実　技	１０：００ ～
			美術・書道教育コース **（美術実技の選択者）**	実　技	１０：００ ～１３：００
		中等教育専攻	保健体育コース	実　技	１０：００ ～
			美術・書道教育コース **（美術実技の選択者）**	実　技	１０：００ ～１３：００

【後期日程】

月　日	課　程　・　専　攻　等			教　科　等	時　　間
3月12日(火)	初等教育教員養成課程	小学校教育専攻	昼間コース	面　接	１０：００　～
			夜間５年コース	面　接	１３：３０　～
	学校教育教員養成課程	特別支援教育専攻		小論文	１０：００　～　１１：３０
		小中教育専攻	国語教育コース	面　接	１０：００　～
			数学教育コース	数　学	１０：００　～　１２：３０
			理科教育コース	小論文	１０：００　～　１２：００
			保健体育コース	実　技	１０：００　～
			美術・書道教育コース **（美術実技の選択者）**	実　技	１０：００　～　１３：００
			美術・書道教育コース **（書道実技の選択者）**	実　技	１０：００　～　１２：００
		中等教育専攻	数学教育コース	数　学	１０：００　～　１２：３０
			理科教育コース	小論文	１０：００　～　１２：００
	養護教諭養成課程			面　接	１０：００　～

（注）１　検査時間に変更のある場合は，受験票返送時に「受験者注意事項」により通知します。
　　２　実技検査時間の詳細については，受験票返送時に通知します。
　　なお，実技検査の中には，２日間にわたって実施される課程・専攻等があるので注意してください。

教育協働学科

【前期日程】

月　日	専攻・コース		教科等	時間
２月２５日（月）	教育心理科学専攻		小論文	１０：００～１２：００
	健康安全科学専攻		小論文	１０：００～１２：００
	理数情報専攻	数理情報コース	理科 数学	１０：００～１２：００ １３：３０～１５：３０
		自然科学コース	理科 数学	１０：００～１２：００ １３：３０～１５：３０
	グローバル教育専攻	英語コミュニケーションコース	英語	１０：００～１２：００
		多文化リテラシーコース	小論文	１０：００～１２：００
	芸術表現専攻	音楽表現コース	実技	１０：００～
		美術表現コース	実技	１０：００～１３：００
	スポーツ科学専攻		実技	１０：００～
２月２６日（火）	芸術表現専攻	音楽表現コース	実技	１０：００～
	スポーツ科学専攻		実技	１０：００～

【後期日程】

月　日	専攻・コース		教科等	時間
３月１２日（火）	教育心理科学専攻		小論文	１０：００～１１：３０
	健康安全科学専攻		面接	１０：００～
	理数情報専攻	数理情報コース	数学	１０：００～１２：３０
		自然科学コース	面接	１０：００～
	芸術表現専攻	音楽表現コース	実技	１０：００～
		美術表現コース	実技	１０：００～１３：００
	スポーツ科学専攻		実技	１０：００～

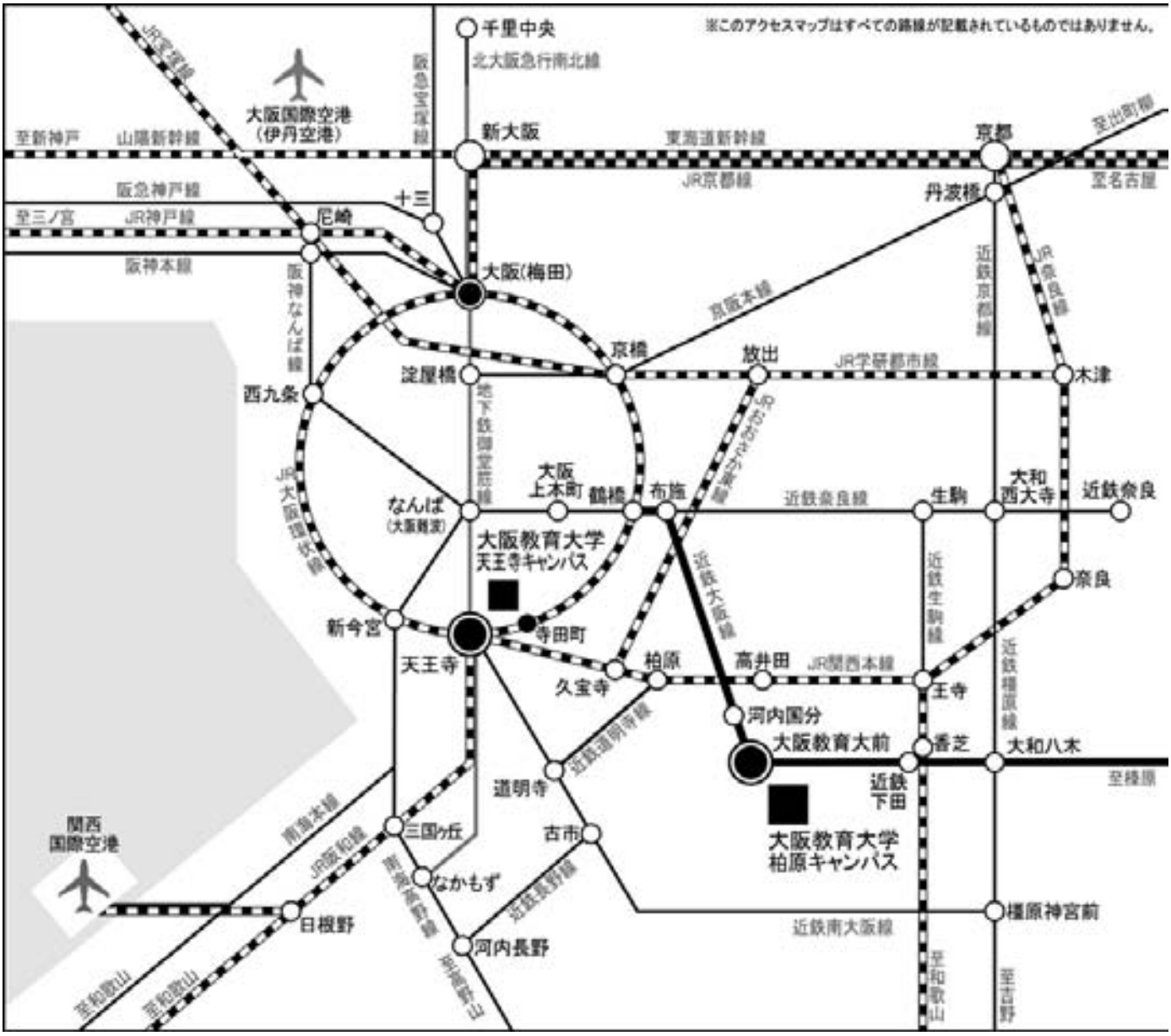
（注）１　検査時間に変更のある場合は，受験票返送時に「受験者注意事項」により通知します。
　　２　実技検査時間の詳細については，受験票返送時に通知します。
　　なお，実技検査の中には，２日間にわたって実施される専攻・コースがあるので注意してください。

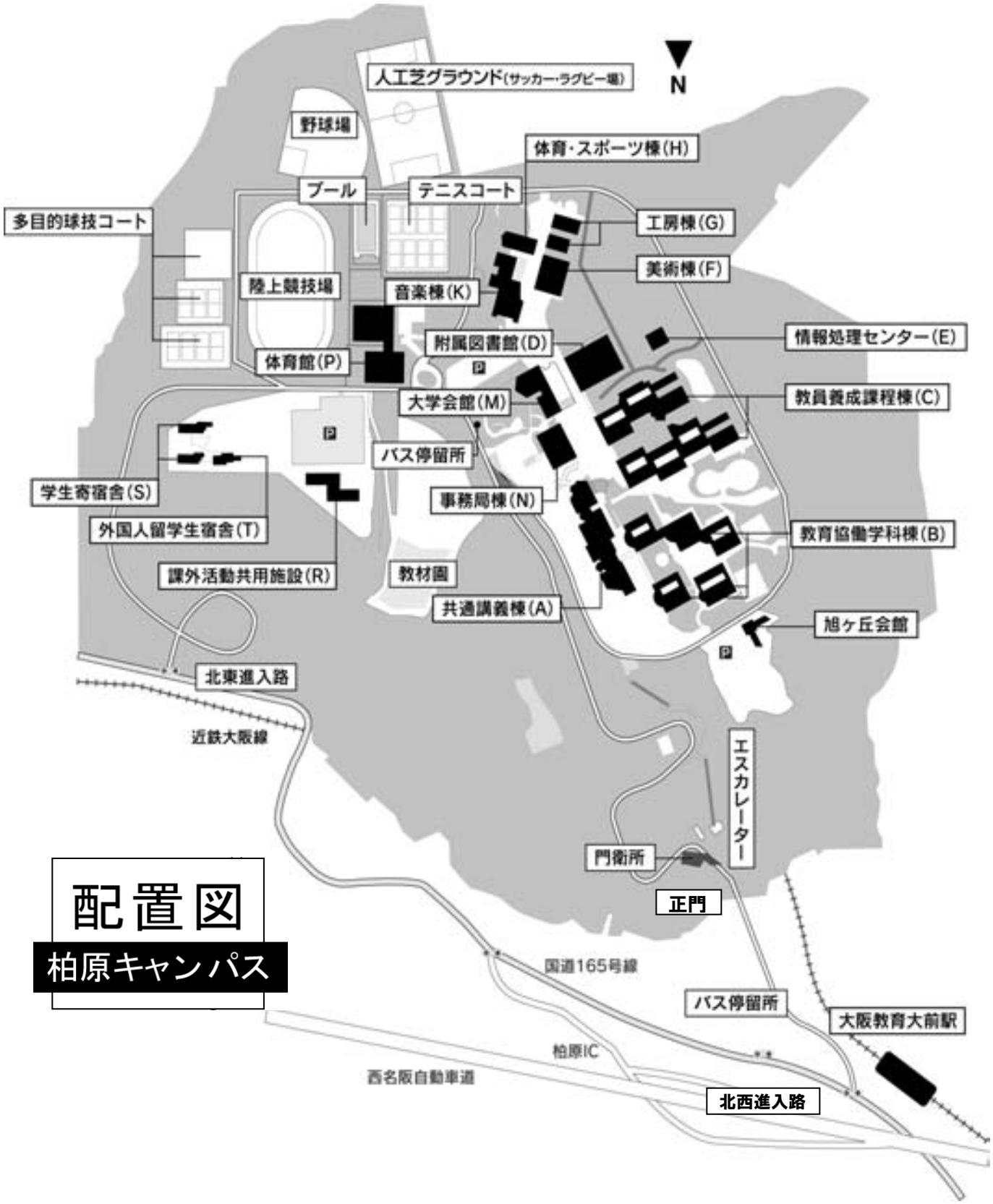
（８）入　学　試　験　場

試　　験　　場	所　　在　　地
柏原キャンパス試験場	大阪府柏原市旭ヶ丘４－６９８－１ 近鉄大阪線「大阪教育大前駅」（「鶴橋駅」から約３０分） 下車 南東へ約１ｋｍ　※エスカレーター（上り専用），階段あり

（注）１　受験者数により，上記以外に試験場を設けることがあります。
　　（試験場は受験票に記載します。）
　　２　**受験票は２月１４日（木）発送予定**です。
　　３　受験者は，**受験票に記載された試験場以外では受験できない**ので，注意してください。

入　学　試　験　場　所　在　地　略　図




配置図
柏原キャンパス
N
人工芝グラウンド(サッカー・ラグビー場)
野球場
体育・スポーツ棟(H)
プール
テニスコート
多目的球技コート
工房棟(G)
美術棟(F)
陸上競技場
音楽棟(K)
附属図書館(D)
情報処理センター(E)
体育館(P)
大学会館(M)
教員養成課程棟(C)
バス停留所
学生寄宿舎(S)
事務局棟(N)
外国人留学生宿舎(T)
教育協働学科棟(B)
課外活動共用施設(R)
教材園
共通講義棟(A)
旭ヶ丘会館
北東進入路
近鉄大阪線
エスカレーター
門衛所
正門
国道165号線
バス停留所
大阪教育大前駅
柏原IC
西名阪自動車道
北西進入路

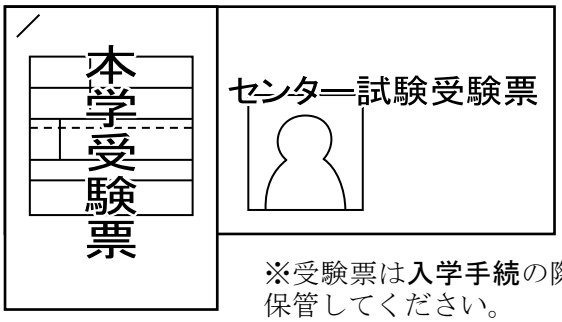
（９）受 験 上 の 注 意

１　試験室等は本学の受験票返送（２月１４日（木）発送の予定）時に通知します。
　なお，本学の受験票が届きましたら，専攻・コース名等記載事項を確認し，**裏面の「受験上の注意事項」及び同封の「受験者注意事項」等をよく読んでください。送付後に災害等により不測の事態が発生した場合や連絡事項があれば，大学ウェブページ（https://osaka-kyoiku.ac.jp/）に掲載します。**

２　交通手段を確認し，可能であれば事前に試験場の下見をしておいてください。ただし，試験室内の下見はできません。

３　試験当日は，**自動車**（単車等を含む。）**での入構を禁止**します。なお，試験場正門付近は大変混雑するため，大学が特別な事情で入構を許可した付添者以外，**保護者等の付き添いは，近鉄大阪線「大阪教育大前駅」まで**とします。

４　試験当日は，**本学の受験票**を**大学入試センター試験の受験票**の左上部に重ねてホッチキスで止め，**必ず持参**してください。（下図参照）
　万一，受験票を忘失した場合は，試験場入構の際に届け出て，仮受験票の交付を受けてください。



※受験票は**入学手続**の際にも必要となりますので大切に保管してください。

５　試験当日は試験開始時刻の３０分前までに試験場に到着してください。ただし，開門時間（**８時３０分**の予定）までは試験場に入構できません。
　万一試験開始時刻に遅れたときは，開始時刻後３０分以内の遅刻に限り受験を認めますので，監督者の指示に従ってください。
　なお，**試験時間や集合時間（面接及び実技検査のみ）は課程・専攻・コース等によって異なります**ので，５８～６０頁で確認してください。

６　試験室で使用できるものは，原則として筆記用具（黒鉛筆・シャープペンシル（黒い芯に限る。）），定規（無地のものに限る。），コンパス，消しゴム，鉛筆削り（電動式は除く。），時計（計時機能だけのもので，秒針音のしないものに限る。），眼鏡，ハンカチ，ティッシュペーパー（袋又は箱から中身だけ取り出したもの。），目薬のみとします。これら以外のものを特に使用したい者は事前に大学の許可を得てください。ただし，実技試験においては，実技検査の実施内容及び留意事項（３５頁から５５頁参照）で指定されている場合もあるので注意してください。
　なお，音の出る機器や携帯電話は試験室に入る前にアラームの設定を解除して電源を切り，かばん等に入れておいてください。携帯電話を時計代わりに使用することも認めません。

７　監督者の指示が聞き取れないことがあるので，耳せんの使用は認めません。

８　英文字や地図等がプリントされた上着等は着用しないでください。着用している場合は，脱いでもらうことがあります。

９　受験生控室を大学会館の食堂に用意していますので，試験時間以外は試験室付近には立ち寄らないでください。

10　昼食が必要な者は各自で用意してください。特に面接試験を受ける者は，控室に集合してから試験が終わるまでの間，退室ができないので注意してください。

11　学校教育教員養成課程 小中教育専攻・中等教育専攻 保健体育コース 又は 教育協働学科 スポーツ科学専攻 の実技検査を受験する際は怪我等のないよう，各自十分に注意してください。

12　試験中不正行為等があった者に対しては受験を停止し，かつ，すべての試験を無効とします。
なお，試験中にカンニングをする，あるいは他の受験者に解答を教えたり，カンニングの手助けをすることはもちろん，上記６のとおり，使用を認めない用具や携帯電話等をしまわず，身に付けていたり手に持つことは，不正行為とみなすことがあります。

13　不測の事態が発生した場合は監督者の指示に従って冷静に行動してください。

14　交通機関がなんらかの事情で停止した場合でも試験は原則として実施します。

15　柏原キャンパス試験場では，試験当日「大阪教育大前駅」から「柏原キャンパス」への路線バスは運行しません。ただし，エスカレーター（上り専用）は運行します。

(10) 合格者の発表

合格者の発表は，下記の日時に，柏原キャンパスにおいて，受験番号を掲示して行います。
なお，合格者には，合格通知書及び入学手続関係書類を別途郵送します。

試験日程	合格発表日	時間
前期日程	平成３１年　３月　６日（水）	９：００
後期日程	平成３１年　３月２２日（金）	

また，大学ウェブページ(https://osaka-kyoiku.ac.jp/admission/nyushi/goukaku_happyou.html)においても同日時に掲載しますが，必ず合格通知書で確認してください。合格者の発表について，電話等による照会には，一切応じません。
なお，大学周辺での合格電報等の勧誘・受付等は本学とは一切関係がありません。

９　入学手続等

合格者は，次により入学手続を行ってください。**合格発表から入学手続までの期間が短いので注意してください。**
（合格者には入学手続関係書類を別途郵送しますので，詳細についてはそちらを参照してください。）
なお，**本学に入学手続を行った者は，これを取り消して他の国公立大学・学部**（※独自日程で入学者選抜を行う公立大学・学部を除く。）**に入学手続を行うことはできません。**
※公立大学協会ホームページ（http://www.kodaikyo.org/）参照

（１）入学手続期限及び方法

入学手続書類を本学所定の封筒に入れ，郵便事情を考慮のうえ，期日に間に合うよう「速達・簡易書留郵便」により郵送してください。やむを得ない事情があって，郵送で入学手続ができない場合には，事前相談のうえ，所定の日時に持参（来学）による入学手続を認めます。なお，入学手続期限までに入学手続を完了しない者は，入学辞退者として取り扱います。

試験日程	手続期限	
	郵送手続期限（必着）	やむを得ない事情による持参手続
前期日程	平成３１年３月１３日（水）必着	平成３１年３月１５日（金）１３：００～１５：００
後期日程	平成３１年３月２６日（火）必着	平成３１年３月２７日（水）１３：００～１５：００

（２）入学手続書類送付先　　大阪教育大学（柏原キャンパス）学生支援課

※やむを得ない事情による持参手続場所は，大阪教育大学柏原キャンパスとなります。

（３）入学手続に必要なもの

ア　大学入試センター試験受験票（再発行を受けた者は，新しい受験票）
イ　本学受験票
ウ　入学料　　２８２，０００円（ただし，夜間５年コースは１４１，０００円）
入学手続後，既に納付した入学料はいかなる理由があっても返還しません。（入学辞退の場合も同様です。）
下記の入学料振込期限日までに銀行窓口にて振込み手続を行ってください。
前期日程　平成３１年３月１１日（月）
後期日程　平成３１年３月２５日（月）**（期間が特に短いので注意してください。）**
（注）１　上記記載の金額は，平成３０年度の入学者の金額であり，平成３１年度入学者については，変更される場合があります。なお，詳細については合格者に別途通知します。
２　入学料の免除・徴収猶予制度があります。詳細は，６８頁を参照してください。
エ　入学時諸費用
大阪教育大学校友会
学部　７０，０００円（ただし，夜間５年コースは５５，０００円）
（注）１　「大阪教育大学校友会」は，教育研究活動，大学行事，課外活動，福利厚生，奨学金給付及び就職への支援など様々な学生支援事業を行うとともに，在学生を含む卒業生，修了生の同窓会活動への支援を行う組織です。
２　入学時のみの費用です。
３　上記記載の金額は，変更される場合があります。詳細については，入学手続関係書類を参照してください。

（４）その他入学に必要な費用

授　業　料

本学では授業料の「口座振替制度（口座引落し）」を実施しており，入学後，学生名義の預金口座から，前期分は４月に，後期分は１０月に授業料を引き落とします。

授　業　料　（前期分）　２６７，９００円（ただし，夜間５年コースは１３３，９５０円）

［（年　額）　５３５，８００円（ただし，夜間５年コースは２６７，９００円）］

（注）１　上記記載の金額は，平成３０年度の入学者の金額であり，平成３１年度入学者については，変更される場合があります。なお，詳細については合格者に別途通知します。

２　在学中に授業料の改定が行われた場合には，改定時から新授業料が適用されます。

３　授業料の免除・徴収猶予制度があります。詳細は，６８頁を参照してください。

４　このほか，テキスト代や英語の資格・検定試験，実習等の経費，課外活動等の経費は別途必要となる場合があります。

10　ノートパソコンの必携について

ア はじめに

大阪教育大学では，ICT 科目を中心とした授業でのパソコンの活用をはじめ，講義でのレポート作成や論文作成，教育実習など，大学生活の中で数多くの機会にパソコンとインターネットを活用します。

また，授業の履修登録や成績閲覧の手続き，授業課題の提出なども大学の Web サイトを通じて行います。みなさんの大学卒業時には，獲得した知識とスキルを教育現場や社会で十分に発揮できるように，自分専用のノートパソコンを用いてさまざまな活動を行ってもらうことを目的とし，各自，ノートパソコンを持参していただいています。

やむを得ない事情がない限り，入学までに自分専用のノートパソコンをご準備ください。

イ 入学までにご準備いただくノートパソコンの必要条件

準備していただくノートパソコンは，大学が指定する必要条件を満たしていれば，すでにお持ちのノートパソコンを使用していただいて結構です。大学として，新たに特定のパソコンの購入をお願いするものではありません。

詳しくは合格者に送付する入学手続関係書類に同封の「ノートパソコンの必携についてのご案内」でお知らせします。

なお，平成３０年度学部新入生のノートパソコンの必要条件（最低限必要な機能・性能等）は，大阪教育大学情報処理センターのホームページ「ノートパソコンの必携について」に掲載しています。平成３１年度の学部新入生の必要条件もほぼ同様となる予定です。

やむを得ない事情で，ノートパソコンの貸与を必要とされる方は，原則入学後 6 ヶ月間に限り大学から貸与します。貸与基準等は「ノートパソコンの必携について」のホームページをご覧いただくか，下記問い合わせ窓口にお電話ください。

「ノートパソコンの必携について」は以下の URL からご参照ください。

大阪教育大学 > 入学試験情報 > 入試・学生生活等に関する各種情報 > ノートパソコン必携

https://www.osaka-kyoiku.ac.jp/~ipc/byod/

＜ノートパソコン必携に関する問い合わせ窓口＞

大阪教育大学 情報企画室　TEL ： 072-978-3772 （受付時間　平日 ９：００～１７：００）

11　欠員補充の方法

平成３１年３月２７日（水）までに入学手続を完了した者が入学定員に満たない場合は，追加合格により欠員を補充します。この場合，合格通知は，３月２８日（木）又は３月２９日（金）に，電話等により，インターネット出願登録で登録し，出願確認票に印刷された住所（受信場所）及び連絡先に行いますので，本人が不在の場合でも連絡が直ちにとれるように所在を明らかにしておいてください。

特に，転居等により合格通知の送付先を変更する場合は，必ず入試課へ連絡してください。

12　入学試験成績の開示について

受験者本人から願い出のあった場合に限り，次のとおり**一般入試の**個人成績を開示します。

ア　開示する成績は，大学入試センター試験と個別学力検査の総合得点とします。

イ　受験票発送時に開示方法についてお知らせいたしますので，確認しておいてください。

13　障がい等のある者の事前相談

障がい又は病気その他の理由で，受験上の配慮を希望する者は**入試課**へ相談し，平成３１年１月１６日（水）までに「受験上の配慮申請書」（６７頁をコピーして使用）に必要事項を記入して，必要書類とともに提出してください。

入試課【ＴＥＬ：０７２－９７８－３３２４　　ＦＡＸ　：０７２－９７８－３３２７
電子メール：nyushika@bur.osaka-kyoiku.ac.jp　　受付時間：平日９：００～１７：００】

本学は障がい学生修学支援ルームを設置しています。なお，本ルームは入学後に修学上の配慮を希望する者の事前相談にも応じています。

＜問い合わせ先＞障がい学生修学支援ルーム
ＴＥＬ・ＦＡＸ：０７２－９７８－３４７９　電子メール：sienroom@cc.osaka-kyoiku.ac.jp
受付時間：平日９：００～１７：００

（学部一般）

平成　　年　　月　　日

大阪教育大学長　殿

学校長
又は保護者　氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

受験上の配慮申請書

下記のとおり受験上の配慮について申請します。

記

ふりがな 氏名		
生年月日（性別）		昭和・平成　　年　　月　　日生（男・女）
住所		〒（　　－　　）
電話番号（連絡先）		－　　－
Eメールアドレス		
出願資格	出身学校等	立　　学校
	卒業等年月	昭・平　　年　　月　卒業・卒業見込・その他（　　）
障がい等の程度		
志望予定の試験日程		前期日程　・　後期日程
志望する課程（専攻）又は専攻（コース）		
高等学校等における修学上の配慮又は状況		※
大学受験に際して配慮を希望する事項		※
付添いその他受験に際して用意又は準備している事項		※
備考		※

（注）1　この申請書は，病気・負傷・障がい等のために，受験上の配慮を希望する志願者が受験上の配慮を申請するために使用するものです。
2　※印欄は具体的に記入してください。また，欄内に記入できない場合は，別紙(様式随意)として添付してください。
3　医師の診断書(様式随意。コピーでも可)等を添付してください。
4　高等学校を卒業している者は，申請書提出にあたり，出来るだけ出身高等学校長等と相談してください。
5　大学入試センター試験で，受験上の配慮を受けている者は，決定通知書のコピーを添付してください。
6　上記，個人情報は，入学試験を実施するために使用します。なお，合格者，入学者については，修学指導等の業務に利用します。

14　学生生活案内

（１）入学料免除・授業料免除等

ア　入学料免除

下記の対象者のいずれかに該当する者について，本人の申請に基づき選考の上，免除が許可された場合，入学料の全額又は半額が免除されます。

対象者	（ア）本学入学前１年以内（平成３０年４月から平成３１年３月まで）において，入学する者の学資を主として負担している者（以下「学資負担者」という。）が死亡し，又は入学する者若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けたことにより，入学料の納付が著しく困難であると認められる者 （イ）（ア）に準ずるやむを得ない事情があると認められる者 【単に収入が少ない（母子・父子世帯，失業等）だけでは免除の対象となりません。】

イ　入学料徴収猶予

下記の対象者のいずれかに該当する者については，本人の申請に基づき選考の上，徴収猶予が許可された場合，最長で当該年度の８月末日まで猶予されます。（徴収猶予許可の可否に関わらず，指定された期限内に所定の入学料を納付しなければなりません。期限内に納付されない場合は除籍となります。）

対象者	（ア）経済的理由によって入学料の納付が困難であり，かつ，学業優秀と認められる者 （イ）本学入学前１年以内（平成３０年４月から平成３１年３月まで）において入学する者の学資を主として負担している者（以下「学資負担者」という。）が死亡し，又は入学する者若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けたことにより，入学料の納付が著しく困難であると認められる者 （ウ）（イ）に準ずるやむを得ない事情があると認められる者

ウ　授業料免除・徴収猶予

下記の対象者のいずれかに該当する者については，前期・後期ごとに，本人の申請に基づき選考の上，免除が許可された場合，当該期分の授業料の全額又は半額が免除されます。なお，納付期限までに授業料の納付が困難な場合は，授業料の徴収猶予制度もあるので，授業料免除と同様に申請を行ってください。

対象者	（ア）経済的理由によって授業料の納付が困難であり，かつ，学業優秀と認められる者 （イ）本学入学前１年以内（平成３０年４月から平成３１年３月まで）において本人の学資を主として負担している者（以下「学資負担者」という。）が死亡し，又は本人若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けたことにより，授業料の納付が著しく困難であると認められる者 （ウ）（イ）に準ずるやむを得ない事情があると認められる者

（注）　いずれも申請についての詳細は，合格者に送付する入学手続関係書類を参照してください。
大学ウェブページでも案内しています。
（ア，イ　https://osaka-kyoiku.ac.jp/campus/gakusei/nyumen.html
ウ　https://osaka-kyoiku.ac.jp/campus/gakusei/jyumen.html）

＜問い合わせ先＞　学生支援課奨学厚生係　（電話　072-978-3303）

（２）奨学金

学業成績が優秀で，経済的理由により学資の支弁が困難な者には，《日本学生支援機構奨学金》又は《一般奨学金》の制度があります。一般奨学金には，大きく分けて地方公共団体の奨学金と民間育英団体の奨学金とがあります。

（参考）平成３０年度入学者　日本学生支援機構奨学金の貸与月額例

奨学金の種類	自宅通学	自宅外通学
第一種奨学金 （無利子）	20,000 円・30,000 円・45,000 円	20,000 円・30,000 円・40,000 円・45,000 円・51,000 円
第二種奨学金 （有利子）	20,000 円・30,000 円・40,000 円・50,000 円・60,000 円・70,000 円・80,000 円・90,000 円・100,000 円・110,000 円・120,000 円のいずれかより選択	

（注）　申請についての詳細は，合格者に送付する入学手続関係書類を参照してください。
大学ウェブページ（https://osaka-kyoiku.ac.jp/campus/gakusei/syougaku.html）でも案内しています。

＜問い合わせ先＞　学生支援課奨学厚生係　（電話　072-978-3491）

（３）学生教育研究災害傷害保険・学研災付帯賠償責任保険

本学では，大学の安全管理責任の観点から，学生の教育研究活動中の災害に対する補償制度として，「学生教育研究災害傷害保険（学研災）」・「通学中等傷害危険担保特約（通学特約）」及び「学研災付帯賠償責任保険（付帯賠責）」の「2,000 万円・Ａコース」に加入登録をしており，本学学生は全員加入とします。

【保険料】（円）

区　　分	保険期間	学研災	通学特約	付帯賠責	**合計金額**
学部（夜間５年コース以外）	４年間	２，３００	１，０００	１，３６０	**４，６６０**
学部（夜間５年コース）	５年間	５００	１，２５０	１，７００	**３，４５０**

（注）保険加入手続は本学が行います。なお，保険料は入学時諸費用（校友会会費）により納入しますので，個別にお支払いいただく必要はありません。保険についての詳細は，合格者に送付する入学手続関係書類を参照してください。
大学ウェブページ（https://osaka-kyoiku.ac.jp/campus/gakusei/hoken.html）でも案内しています。

＜問い合わせ先＞　学生支援課学生支援係　（電話　072-978-3312）

（４）学生宿舎

【学生宿舎の概要】

所在地	大阪教育大学柏原キャンパス内　（大阪府柏原市旭ヶ丘 4-698-1）
収容定員	男子棟（６０人）・女子棟（８０人）
寄宿料等（月額）	５，０００円 （その他共益費として７００円，光熱水料費として月額約６，０００円程度） ※寄宿料，共益費は平成３０年度の金額であり，改訂が行われた場合には，改訂時から適用されます。
食事	食事提供はありませんが，各階「補食室」での自炊は可能です。
居室	個室　【トイレ・浴室は共同】
居室面積	約８㎡（約 4.5 畳）
入居期間	原則として２年間。引続き入居を希望する者については，入居選考基準により再審査で許可された場合に，最短修業年限満了の 3 月 27 日まで入居可能です。

【募集予定人数・入居資格・選考方法】

募集予定人数	男子　前期日程　１４～１５名程度，後期日程４～５名程度　の予定 女子　前期日程　１１～１２名程度，後期日程３～４名程度　の予定
入居資格	下記のすべてに該当する者 １．学部・大学院・特別支援教育特別専攻科に在籍する学生 （外国人留学生は除く） ２．自宅から本学までの**通学時間が片道２時間以上**で通学が困難な者 ３．寮生相互の親睦や交流を積極的に図り，協力・協調して団体生活を送れる者
選考方法	通学時間，家計状況（家族の所得等）を基に選考します。

【入居申請関係書類請求について】

請求方法	封筒の表に「宿舎入居申請資料請求」と**朱書き**し，**返信用封筒**（角形２号 33.2 ㎝×24.0 ㎝）に**郵便番号・住所・氏名を明記**し，１４０円分の切手を貼付の上，請求してください。
請求先	〒582-8582　大阪府柏原市旭ヶ丘４－６９８－１ 大阪教育大学学生支援課 学生支援係　宛
請求期限	**平成３１年 ２ 月 ８ 日（金）必着**（１月初旬頃から順次発送予定）

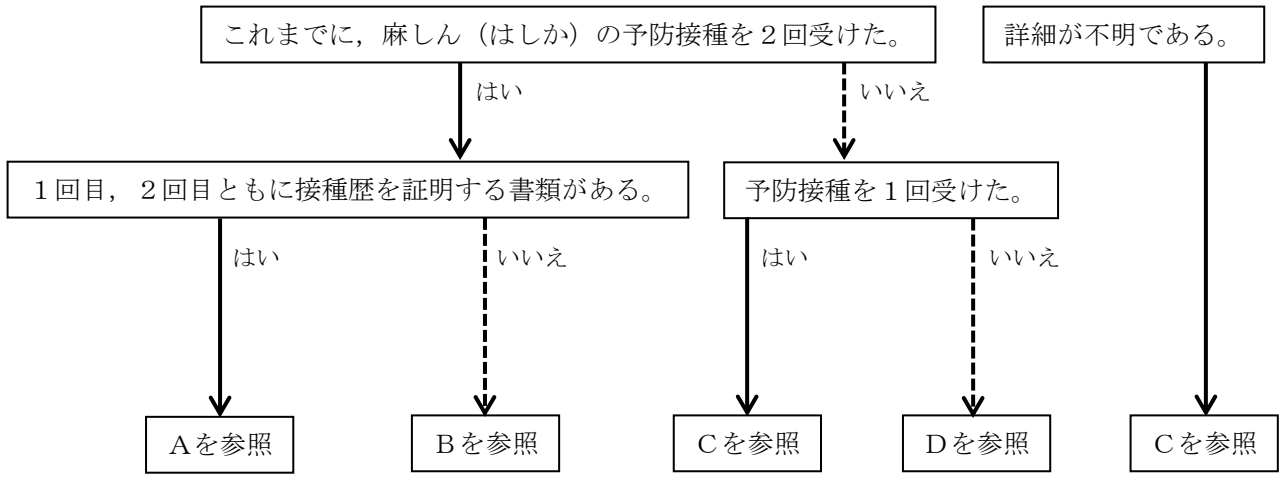
（注）入居申請受付期間は，前期日程と後期日程で異なるので，提出方法等を関係書類で確認のうえ，所定の期日までに申請してください。前期日程は受付が合格発表の直後なので，予め準備しておいてください。後期日程は受付が合格発表より前なので，特に注意してください。なお，前期日程の募集予定人数は，学部推薦，第３年次編入学，大学院，特別支援教育特別専攻科の合格者の入居申請受付を含めたものです。申請に必要な証明書類等に不備がある場合は，受付できませんので，提出書類等詳細も必ず確認のうえ予め準備してください。
大学ウェブページ（https://osaka-kyoiku.ac.jp/campus/gakusei/syukusya.html）でも案内しています。
平成３１年１月以降には，入居申請関係書類等はこのウェブページからもダウンロードできます。

＜問い合わせ先＞　学生支援課学生支援係　（電話　072-978-3312）

麻しん（はしか）の予防について《お知らせ》

厚生労働省は，２００７年に高校・大学を中心とした学校等での麻しん（はしか）流行を経験したことから，麻しんを学校保健上の重要な課題として位置づけ，文部科学省との協力の上，麻しんの流行をなくすため，予防に有効なワクチンの２回接種を強く勧奨しています。これに基づき，本学入学試験合格者は，入学手続書類として【麻しん（はしか）に関する確認書】の提出が必要です。合格者の年齢に関係なく，全員が対象となります。

本学所定の【麻しん（はしか）に関する確認書】は，入学手続関係書類等と一緒に送付されます。お手元に届いてから入学手続までの期間が短い場合があります。下記のフローチャートを参考に，早めにご準備ください。



Ａ：麻しんの予防接種を２回受けたことを証明する書類（母子健康手帳や接種済証明書等のコピー）をご準備ください。但し，下記の証明内容が記載されたものに限ります。

・接種年月日
・使用ワクチン名 Lot.No.（使用ワクチンのラベル添付でも可）
・医療機関名または医師名

Ｂ：管轄の市役所（区役所）で接種歴を確認できます。接種が確認できた場合は接種記録を発行してもらってください。確認できなかった場合は，Ｃをご参照ください。

Ｃ：入学までに麻しんの抗体検査を受けてください。その結果，本学の基準値を満たしていない場合は，ワクチンを接種してください。下記に記載している検査法で必ず実施し，これ以外の検査方法は認められません。
また，本学では麻しん発症予防のため，検査機関の基準値より高く設定しています。

検 査 法	本学の基準値
ＥＩＡ法－ＩｇＧ検査（推奨）	抗体価 ： ８．０以上
ＮＴ法検査	抗体価 ： ４倍以上
ＰＡ法検査	抗体価 ： １２８倍以上

Ｄ：入学までに１回ワクチン接種をしてください。その２ヶ月後に抗体検査が必要です。
本学ではＭＲ（麻しん風しん混合）ワクチンを推奨しています。

【麻しん（はしか）に関する確認書】については，入学手続に関する事前のお知らせです。
入学試験の出願や受験には関係ありません。

＜問い合わせ先＞　大阪教育大学保健センター　電話 072-978-3811(受付時間 平日9:00～16:00)

平成３１年度大学入試センター試験受験教科・科目の確認表

出願にあたっては，本学が各募集区分で指定した平成３１年度大学入試センター試験の教科・科目を受験していることを，以下の方法により志願者本人の責任で確認してください。１科目でも受験していない者は出願無資格者となり，本学の個別学力検査等を受験することはできず，選抜の対象にはなりません。

下記の確認表で志望する課程専攻（コース）に該当するものを選んで，受験科目欄において受験したすべての科目に○を記入してください。確認表は，科目名の下に本学の教科・科目の指定に合わせて△や○などの印を付しており，教科名の上に指定する科目数を①（１科目），②（２科目）と表記しています。従って，受験科目欄にそれに一致する数以上の○が記入されていれば，本学が各募集区分で指定した教科・科目を受験していることになります。なお，指定した教科・科目数を超えて受験した場合（△１科目のところに２つの○が入るなど），どの科目の成績が利用されるかは，２３～２７頁にも記載しています。

なお，数学②の線を付している科目については，定められた条件（２７頁参照）を満たす者以外は利用できませんので，利用する志願者は出願前に入試課に確認してください。また，地理歴史及び公民においては，２科目受験の場合，２科目とも一方の教科を受験すれば５教科，１科目ずつ両教科から受験すれば６教科と数えます。

専攻名の後ろに＊を付した専攻は，後期日程は募集を行いません。専攻名の後ろに※を付した専攻は，前期日程と後期日程で理科の科目選択方法が異なるので，注意してください。なお，それ以外は前期・後期日程共通です。

学校教育教員養成課程	特別支援教育専攻／小中教育専攻（学校教育コース＊，国語教育コース，社会科教育コース＊） 中等教育専攻（国語教育コース＊・社会科教育コース＊）
教育協働学科	グローバル教育専攻　（英語コミュニケーションコース＊）

⇨５教科７～８科目又は６教科７～８科目（うち地理歴史，公民が２科目）

	①	②										② 又は ①								①				①					①				
	国語	地理歴史						公民				理科①				理科②				数学①		数学②						外国語				
	国語	世界史A	世界史B	日本史A	日本史B	地理A	地理B	現代社会	倫理	政治・経済	倫理，政治・経済	物理基礎	化学基礎	生物基礎	地学基礎	物理	化学	生物	地学	数学I	数学I・A	数学II	数学II・B	簿記・会計	情報関係基礎	英語（リスニングを含む）	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語
	◎	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	☆	☆	☆	☆	▽	▽	▽	▽	◇	◇	□	□	□	□	○	○	○	○	○
受験科目																																	

受験科目欄に　◎に１，△に２，☆に２または▽に１，◇に１，□に１，○に１　以上の数の○が入れば指定した教科・科目を受験したことになります。

科目数の指定を超えて，理科☆に２並びに▽に１　の者は，理科の高得点となる方の成績を用います。

理科▽に２　の者は，理科の第１解答科目の成績を用います。

（次頁へ続く）

初等教育教員養成課程	幼児教育専攻＊／小学校教育専攻（昼間コース，夜間５年コース）
学校教育教員養成課程	小中教育専攻（英語教育コース＊，家政教育コース＊）
	中等教育専攻（英語教育コース＊，家政教育コース＊）
養護教諭養成課程	
教育協働学科	教育心理科学専攻，健康安全科学専攻

⇨５教科７～８科目又は６教科７～８科目（うち地理歴史及び公民が１科目　又は　２科目）

①　①〔②〕　★②並びに▼①　または▼②〔★②　又は　▼①〕　①　①　①

	国語	地理歴史						公民				理科①				理科②				数学①		数学②				外国語				
	国語	世界史A	世界史B	日本史A	日本史B	地理A	地理B	現代社会	倫理	政治・経済	倫理、政治・経済	物理基礎	化学基礎	生物基礎	地学基礎	物理	化学	生物	地学	数学Ⅰ	数学Ⅰ・A	数学Ⅱ	数学Ⅱ・B	簿記・会計	情報関係基礎	英語（リスニングを含む）	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語
	◎	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	★	★	★	★	▼	▼	▼	▼	◇	◇	□	□	□	□	○	○	○	○	○
受験科目																														

受験科目欄に　◎に１，▲に１または２（※▲に１のときは★に２並びに▼に１または▼に２，▲に２のときは★に２または▼に１），◇に１，□に１，○に１　以上の数の○が入れば指定した教科・科目を受験したことになります。

科目数の指定を超えて，地理歴史及び公民▲２と理科▼２で合計４　の者は，地理歴史及び公民の第１解答科目，理科の第１解答科目，並びに地理歴史及び公民と理科の第２解答科目のうち高得点の科目の成績を用います。

地理歴史及び公民▲２と理科★２並びに▼１で合計５　の者は，地理歴史及び公民の第１解答科目，理科の高得点となる方の成績，並びに地理歴史及び公民の第２解答科目と理科のもう一方の成績のうち高得点となる方の成績を用います。

学校教育教員養成課程	小中教育専攻（数学教育コース，理科教育コース）
	中等教育専攻（数学教育コース，理科教育コース，技術教育コース＊）
教育協働学科	理数情報専攻（数理情報コース※，自然科学コース※）
	※後期日程は理科▽２のみ認めます。

⇨５教科７～８科目（うち地理歴史，公民が１科目）

①　①　☆②並びに▽①　または　▽②　①　①　①

	国語	地理歴史						公民				理科①				理科②				数学①		数学②				外国語				
	国語	世界史A	世界史B	日本史A	日本史B	地理A	地理B	現代社会	倫理	政治・経済	倫理、政治・経済	物理基礎	化学基礎	生物基礎	地学基礎	物理	化学	生物	地学	数学Ⅰ	数学Ⅰ・A	数学Ⅱ	数学Ⅱ・B	簿記・会計	情報関係基礎	英語（リスニングを含む）	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語
	◎	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	☆	☆	☆	☆	▽	▽	▽	▽	◇	◇	□	□	□	□	○	○	○	○	○
受験科目																														

受験科目欄に　◎に１，△に１，☆に２並びに▽に１または▽に２，◇に１，□に１，○に１　以上の数の○が入れば指定した教科・科目を受験したことになります。

科目数の指定を超えて，地理歴史及び公民△に２　の者は，地理歴史及び公民の第１解答科目の成績を用います。

（次頁へ続く）

学校教育教員養成課程	小中教育専攻（保健体育コース，音楽教育コース＊，美術・書道教育コース） 中等教育専攻（保健体育コース＊，音楽教育コース＊，美術・書道教育コース＊）

↳ ５教科５～６科目（うち地理歴史，公民が１科目）

	①	①									☆② 又は ▽①								①						①				
	国語	地理歴史						公民				理科①				理科②				数学①		数学②				外国語				
	国語	世界史A	世界史B	日本史A	日本史B	地理A	地理B	現代社会	倫理	政治・経済	倫理、政治・経済	物理基礎	化学基礎	生物基礎	地学基礎	物理	化学	生物	地学	数学Ⅰ	数学Ⅰ・A	数学Ⅱ	数学Ⅱ・B	簿記・会計	情報関係基礎	英語（リスニングを含む）	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語
	◎	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	☆	☆	☆	☆	▽	▽	▽	▽	◆	◆	◆	◆	◆	◆	○	○	○	○	○
受験科目																														

受験科目欄に　◎に１，△に１，☆に２又は▽に１，◆に１，○に１　以上の数の○が入れば指定した教科・科目を受験していることになります。
科目数の指定を超えて，地理歴史及び公民△２　の者，又は理科▽２　の者は，それぞれの第１解答科目の成績を用います。
理科☆２並びに理科▽１　の者，又は数学◆２　の者は，それぞれの高得点となる方の成績を用います。

教育協働学科	グローバル教育専攻（多文化リテラシーコース＊）／芸術表現専攻（音楽表現コース，美術表現コース）／スポーツ科学専攻

↳ ３教科３～４科目

	①	■①又は★②																								①				
	国語	地理歴史						公民				理科①				理科②				数学①		数学②				外国語				
	国語	世界史A	世界史B	日本史A	日本史B	地理A	地理B	現代社会	倫理	政治・経済	倫理、政治・経済	物理基礎	化学基礎	生物基礎	地学基礎	物理	化学	生物	地学	数学Ⅰ	数学Ⅰ・A	数学Ⅱ	数学Ⅱ・B	簿記・会計	情報関係基礎	英語（リスニングを含む）	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語
	◎	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	★	★	★	★	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	○	○	○	○	○
受験科目																														

受験科目欄に　◎に１，■に１または★に２，○に１　以上の数の○が入れば指定した教科・科目を受験していることになります。
科目数の指定を超えて，■に２以上の者は，数学の各科目，地理歴史及び公民の第１解答科目，及び理科の第１解答科目のうち，最高得点の科目の成績を用います。（ただし，★に２並びに■に１以上の者は，数学の各科目，地理歴史及び公民の第１解答科目，及び理科の高得点となる方の成績のうち，最高得点となる方の成績を用います。）

インターネット出願方法

インターネット出願を行なう場合は、Step1・Step2・Step3 の手順で申込みを行なってください。

検定料のお支払いについては、現金でお支払いの場合とクレジットカードでお支払いの場合で、手順が異なりますのでご注意ください。

Step1 インターネット出願登録

1 インターネットで出願登録ページにアクセス

https://sak-sak.net/app/oku からアクセスしてください。本学ウェブページにもリンクがあります。

2 試験情報の登録

出願を希望する試験を登録します。

3 志願者情報の登録

氏名・住所・電話番号等を登録します。志望する専攻・コースによっては、曲名等、志願先付属情報の入力が必要なことがあります。

4 お支払い方法の選択

コンビニエンスストア、ATM 決済（ペイジー）、ネットバンキング、クレジットカードから選択します。

5 提出用書類の印刷

提出用書類を印刷します。

※現金でお支払いの場合は、インターネット出願登録後にお支払いを行い、領収証（明細票）をお受取りください。(Step2 へ)

※クレジットカード・ネットバンキング・セブンイレブンでお支払いの場合は、領収証は不要ですので、必要書類の送付を行なってください。(Step3 へ)

お支払い方法

現金（コンビニエンスストア・ペイジー）でお支払い

現金でのお支払い方法を選択

↓

お支払い受付番号の発行

↓

Step2 検定料のお支払い

クレジットカード・ネットバンキングでお支払い

お支払いのカード又は金融機関を選択

↓

画面の指示に従いお支払いの完了

↓

Step3 必要書類の送付

Step2 検定料のお支払い(現金でお支払いの場合)

現金でお支払いの場合は、以下の支払い方法がご利用できます。

コンビニエンスストア

LAWSON　FamilyMart　Seicomart

→ 領収証

※セブンイレブンは貼付不要

銀行（ＡＴＭ決済）

Pay-easy

→ 明細票

ご利用になられるお支払い方法の手順で、検定料のお支払いを行い、**領収証(明細票)をお受け取りください。**領収証(明細票)のコピーを提出用書類に貼り付ける必要があります。

※現金でのお支払い方法の手順については、次ページ以降に記載しております。

【クレジットカード・ネットバンキングでお支払いの場合】

クレジットカードでお支払いの場合は、以下の支払い方法がご利用できます。

VISA

ネットバンキングでお支払いの場合は、画面の指示に従って手続してください。

Step３ 必要書類の送付

1 領収証(明細票)を提出用書類（出願確認票）に貼り付ける

現金（コンビニエンスストア・ペイジー）でお支払いの場合は、検定料のお支払い時(Step2)に受け取られた領収証(明細票)のコピーを提出用書類(Step1)に貼り付けてください。

※クレジットカード・ネットバンキング・セブンイレブンでお支払いの場合は不要です。

2 提出用書類、調査書等の必要書類を郵送する

募集要項を確認し、出願確認票と同時に出力される「送付ラベル」を必要書類郵送用封筒（市販の角２封筒）の表面に貼り付けて、「書留速達」で郵送してください。

LAWSON ローソン

Loppi へ

1.Loppi のトップ画面左の「各種番号をお持ちの方」を押してください。
2.「受付番号」(6 桁)を入力し、「次へ」ボタンを押してください。
3.インターネット出願画面で登録した「電話番号」を案内にしたがって入力してください。
4.お申込み内容の確認画面で内容をご確認いただいた後、「了解」ボタンを押してください。
5.「申込券」が出力されますので、30 分以内にレジでお支払いください。
※代金と引き換えに領収証をお受取りいただき、領収証のコピーを提出用書類（出願確認票）に貼り付けてください。

FamilyMart ファミリーマート

Fami ポートへ

1.Fami ポートのトップ画面左側の「代金支払い」を押してください。
2.代金支払い一覧の「各種番号をお持ちの方はこちら」を押し「番号入力画面に進む」を押してください。
3.「第 1 番号」（ 6 桁）を入力し、OK ボタンを押してください。
4.「第 2 番号」にインターネット出願画面で登録した「電話番号」を案内にしたがって入力してください。
5.お申込み内容の確認画面で内容をご確認いただいた後、「OK」ボタンを押してください。
6.「Fami ポート申込券」が出力されますので、30 分以内にレジでお支払いください。
※代金と引き換えに領収証をお受取りいただき、領収証のコピーを提出用書類（出願確認票）に貼り付けてください。

セブンイレブン

レジへ

1.セブン-イレブン代金収納サービス払込票 URL から「インターネットショッピング払込票」を印刷するか、「払込票」番号を控えて、お近くのセブン-イレブンのレジへ。
2.「インターネットショッピング払込票」を店員に手渡すか、「インターネット代金の支払い」であることを告げ、「払込票番号」を伝え、お支払いください。
※代金と引き換えに領収証をお受取りください。

デイリーヤマザキ・ヤマザキデイリーストア

レジへ

1.「オンライン決済番号」が表示された画面を印刷するか、「オンライン決済番号」を控えて、お近くのデイリーヤマザキのレジへ。
2.店員に、印刷した用紙を手渡すか、「オンライン決済」であることを告げてください。
3.レジの POS 画面に「オンライン決済番号」を入力してください。
4.内容をご確認いただいた後、確定ボタンを押していただき、代金をお支払いください。
※代金と引き換えに領収証をお受取りいただき、領収証のコピーを提出用書類（出願確認票）に貼り付けてください。

ミニストップ

Loppi へ

1.Loppi のトップ画面左の「各種番号をお持ちの方」を押してください。
2.「受付番号」(6 桁)を入力し、次へボタンを押してください。
3.インターネット出願画面で登録した「電話番号」等を案内にしたがって入力してください。
4.お申込み内容の確認画面で内容をご確認いただいた後、「了解」ボタンを押してください。
5.「申込券」が出力されますので、30 分以内にレジでお支払いください。
※代金と引き換えに領収証をお受取りいただき、領収証のコピーを提出用書類（出願確認票）に貼り付けてください。

※コンビニをご利用の場合は、30 万円を超えるお支払いはできません。
※コンビニや ATM の端末操作方法や各種番号の桁数は変更になる可能性があります。

セイコーマート

クラブステーションへ

1.クラブステーションのトップ画面左下の「インターネット受付各種代金のお支払い」を押してください。
2.「お支払い受付番号」（6 桁）を入力し、次へすすむボタンを押してください。
3.インターネット出願画面で登録した「電話番号」を案内にしたがって入力してください。
4.お申込み内容の確認画面で内容をご確認いただいた後、「印刷」ボタンを押してください。
5.「決済サービス払込取扱票・払込票兼受領証・**領収書**」の 3 枚が出力されますので、「終了」を押した後、 レジでお支払いください。
※代金と引き換えに領収書をお受け取りいただき、領収書のコピーを提出用書類（出願確認票）に貼り付けてください。

※コンビニをご利用の場合は、30 万円を超えるお支払いはできません。

ペイジーでゆうちょ銀行/郵便局 ATM でお支払い

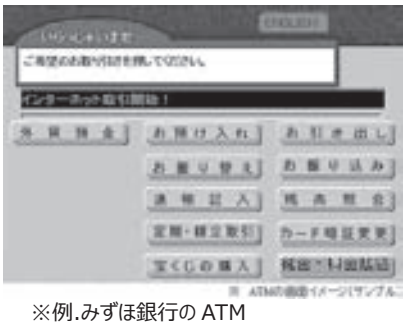
※左記のペイジーマーク表記のある ATM のみご利用いただけます。

ゆうちょ銀行/郵便局 ATM へ

1.料金払込(ペイジー)ボタンを押してください。
2.次に表示される画面で、手入力ボタンを押してください。
3.収納機関番号画面で「収納機関番号（58091）」を入力してください。
4.お客様番号画面でインターネット出願登録時の「電話番号」を入力してください。
5.確認番号画面で「確認番号」（６桁）を入力してください。
6.確認画面で入力した内容をご確認いただいた後、確認ボタンを押してください。
7.振込内容をご確認いただいた後、確認ボタンを押してください。
8.お支払い方法（現金または通帳・カード）を選択してください。
9.お支払い方法別の案内にしたがって、支払いを行なってください。
10.**明細票をお取りください。**
※明細票のコピーを提出用書類（出願確認票）に貼り付けてください。

ペイジーで各金融機関の ATM でお支払い

※左記のペイジーマーク表記のある ATM のみご利用いただけます。



※例.みずほ銀行の ATM

金融機関の ATM へ　※みずほ銀行の場合

1.「税金・料金払込」ボタンを押してください。
2.収納機関番号画面で「収納機関番号（58091）」を入力してください。
3.お客様番号画面でインターネット出願登録時の「電話番号」を入力してください。
4.確認番号画面で「確認番号」（６桁）を入力してください。
5.確認画面で入力した内容をご確認いただいた後、確認ボタンを押してください。
6.お支払い方法（現金またはキャッシュカード）を選択してください。
7.お支払い方法別の案内にしたがって、支払いを行なってください。
8.**明細票をお取りください。**
※明細票のコピーを提出用書類（出願確認票）に貼り付けてください。

※ATM で現金でのお支払いの場合は、10 万円を超えるお支払いはできません。
※コンビニや ATM の端末操作方法や各種番号の桁数は変更になる可能性があります。

インターネット出願に関するQ&A

※インターネット出願サイト上のQ&Aも参照してください。

	質　　問	回　　答
利用環境について	スマートフォン，タブレット端末から出願できますか。印刷の方法も教えてください。	出願可能です。利用する機種により画面が正常に表示されない場合があります。その場合は，パソコンを利用してください。携帯電話からは利用できません。 スマートフォンやタブレット端末から出願した場合は，無線接続機能があるご家庭のプリンタや，コンビニエンスストアで出力してください。 【コンビニエンスストアでの印刷方法】 *ご利用可能なコンビニエンスストア ローソン，ファミリーマート，セブン-イレブン *ご利用方法について ・ローソン，ファミリーマートの場合 （http://www.sharp.co.jp/print/prsm/pc/） ・セブン-イレブンの場合（http://www.printing.ne.jp/）
	自宅にプリンタがありません。	以下の方法により印刷することが可能です。 ①学校等のプリンタで印刷。 ②コンビニエンスストアのマルチコピー機より印刷。 ※印刷方法は上の質問の【コンビニエンスストアでの印刷方法】を参照してください。 ③大阪教育大学入試課に設置のインターネット出願用のプリンタで印刷。
	メールアドレスはスマートフォン用や携帯電話のものを使えますか。	利用可能です。メール受信設定でドメイン設定を行っている場合はメールが届かないことがあるため，「@sak-sak.net」を受信可能なドメインとして設定してください。登録したメールアドレスには，大学から大切な連絡が届く場合がありますので，必ず受信設定を行うようにしてください。
	メールアドレスを持っていません。	メールアドレスの登録は必須です。本人のメールアドレスがない場合はご家族のメールアドレスで登録してもかまいません。 メールアドレスは出願登録完了および入金完了の確認メールを送信するために使用します。 メールアドレスに誤りがある場合は確認メールが送信されませんので，登録画面で必ずメール受信確認を行ってください。
インターネット出願について	ボタンをクリックしても反応しません。または次の画面で正しい内容が表示されません。	＊cookie（クッキー）の設定が有効であるか確認してください。 cookie を使用しているため，必ずブラウザの設定を「cookie を受付ける（有効にする）」にしてください。 【cookie の確認，設定方法】【Internet Explorer の場合】 「ツール」⇒「インターネットオプション」⇒「プライバシー」⇒「詳細設定」をクリックし，「自動 Cookie 処理を上書きする」にチェックを入れ，その下にある「常にセッション Cookie を許可する」にもチェックを入れてください。 ＊JavaScript が有効になっているか確認してください。 JavaScript を使用しているため，必ずブラウザの JavaScript を有効にしてください。 【JavaScript の設定方法】【Internet Explorer の場合】 「ツール」⇒「インターネットオプション」⇒「セキュリティ」⇒「レベルのカスタマイズ」を選択し，「スクリプト」⇒「アクティブ スクリプト」項目を「有効にする」を選択してください。
	「ご指定のページが見つかりません。」と表示されます。	一定時間操作を行わなかった場合，ブラウザの「戻る」「進む」ボタンをクリックした場合，出願登録画面を 2 画面以上開いた場合等に表示されることがあります。始めから出願登録をやり直してください。
	しばらく操作をしなかったら，タイムアウトになってしまいました。	30 分なんの処理も行わなかった場合には，登録途中であっても登録内容が消去されてしまいます。セッションタイムアウトの表示がでた場合は，始めから出願登録をやり直してください。
	途中でブラウザを閉じてしまいました。 途中でインターネット接続が切れてしまいました。	始めから出願登録をやり直してください。

	質　　問	回　　答
インターネット出願について	提出用書類が開きません。（この文書は有効な PDF 文書ではないため，開けません。」と表示される。）	パソコン（スマートフォンの場合は chrome を使用して）から利用案内画面にアクセスしてください。 利用案内画面にてユーザ ID/パスワードを入力後，出願状況確認から該当の提出用書類をダウンロードしてください。
	氏名，住所の入力で正しい漢字が出ません。または入力できません。	旧字等で正しく変換できなかったり，エラーになる場合は代替の文字(全角)を入力してください。 例）髙木→高木，山﨑→山崎，Ⅲ（ローマ数字）→３
	受信確認メールが届きません。 受付完了メールが届きません。	メールアドレスを確認してください。迷惑メールとして受信している場合がありますので，受信拒否設定を確認してください。
	入学検定料以外の金額が記載されていますが，どのようなものですか。	必要金額は，入学検定料等 17，372 円（入学検定料 17，000 円＋受験票送付用郵便代 372 円）に加え，インターネット出願システム利用料 450 円です。なお，小学校教育専攻夜間５年コースに出願する場合は，入学検定料が 10，000 円となり，10，372 円とシステム利用料 450 円がかかります。
	出願完了後に出願内容の変更はできますか。	出願完了後に出願内容の変更はできませんので，十分注意してください。 ただし，最終確認画面で出願ボタンをクリックするまでは，前の画面に戻って入力内容を修正することができます。 また，コンビニエンスストア，ネットバンキング，ＡＴＭ（ペイジー）での振り込みの場合で，支払前の場合は，その番号では振込をせず，修正後の内容で再度出願登録をした上で，新しい番号で手続をすることにより，修正後の内容で出願することができます。 クレジットカードで決済された場合は，振込手続が完了しているため，出願内容は変更できません。
	出願受付番号を忘れてしまいました。	出願受付完了メールや印刷した出願確認票の本人控にも記載されていますので，確認してください。また，利用案内画面からユーザーID／パスワードを入力後，出願状況確認画面で確認できます。
	ユーザーID／パスワードを忘れてしまいました。	入試課までお問い合せください。なお，パスワードのみを忘れてしまった場合は，利用案内画面からパスワードを再発行することが出来ます。
	提出用書類を印刷し忘れました。	出願状況確認画面より提出用書類の再印刷が可能です。出願状況確認画面は，利用案内画面より，ユーザーID／パスワードを入力し，出願状況確認画面より該当する出願受付番号を選択し，「提出用書類印刷」ボタンより印刷可能です。
	出願を取り消したいのですが。	入金前の場合は，そのまま入金しなければ，自動的にキャンセルと同じ扱いになります。 入金後の場合は，入金をキャンセルすることはできませんが，出願書類を郵送しなければ出願は完了しません。出願せず，入学検定料等の返還を希望する場合は，入試課にご連絡ください。返還手続きについてご案内いたします。 インターネットによる出願登録，入学検定料等の支払い，出願に必要な書類等を郵送で提出を全て終えた場合は，出願を取り消すことはできず，出願書類の返却，入学検定料等の返還はできません。
	入学検定料の免除について教えてください。	１６頁にも記載がありますが，東日本大震災（平成２３年３月１１日発生）及び熊本地震（平成２８年４月１４日発生）により被災した志願者を対象に入学検定料免除を行う場合があります。 以下の本学ウェブページを参照した上で，入試課にご連絡ください。 インターネット出願時の注意事項もありますので，必ず事前のご連絡をお願いします。 https://osaka-kyoiku.ac.jp/admission/nyushi/kenteiryou_menjyo.html

問い合わせ先：入試課（072-978-3324）　※受付時間：平日９：００～１７：００

このページは文部科学省 大学入学者選抜改革推進委託事業主体性等分野コンソーシアムが作成しています。出願大学に質問しても回答できない場合があります。

JAPAN e-Portfolio
高大接続ポータルサイト

「学びのデータ」を大学に提出するには

出願大学に「JAPAN e-Portfolio」で作成した「JeP出願コード」を提出すると、あなたの「学びのデータ」を大学が閲覧・ダウンロードできるようになります。

※詳しい手順については右記URLを参照してください。» https://jep.jp/statics/faq/syutsugan.html

STEP 1 「JAPAN e-Portfolio」の利用登録・ログイン

利用のためのアカウント（ログインID・パスワード）を取得し、ログインします。
※すでにお持ちの場合は新たに取得する必要はありません。 ※パスワードは初回利用時にご自身で設定してください。

高校生の方 …在籍高校にて先生にログインIDを発行してもらい、「JAPAN e-Portfolio」のトップページからログインします。

それ以外の方 …自分で「JAPAN e-Portfolio」から利用登録します。

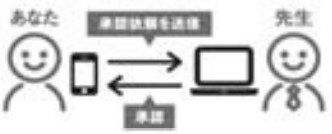
STEP 2 「学びのデータ」を登録

あなたが取り組んだ活動とその過程での工夫や気づきなどを、8つのカテゴリ「探究活動」「生徒会・委員会」「学校行事」「部活動」「学校以外の活動」「留学・海外経験」「表彰・顕彰」「資格・検定」から選んで「学びのデータ」として登録します。
出願大学が提出を指定している学びのデータを要項で確認し、必ず登録するようにしてください。

「大学提出用データ」作成の前に

高校生の方は、**先生の「承認」**が必要です。

「学びのデータ」には、「JAPAN e-Portfolioの」システム上で在籍高校の先生の「承認」を受けないと大学に提出できないものがあります。**出願直前には先生に「承認」依頼が集中し、出願期限に提出が間に合わなくなる可能性がありますので早めに依頼しましょう。**※高校生以外の出願者の方は「承認」は不要です。



STEP 3 「大学提出用データ」を作成

出願大学の指定している「学びのデータ」を選び、出願大学専用の「大学提出用データ」を作成します。
作成された「大学提出用データ」には、「JeP出願コード」という管理番号が発行され、「JAPAN e-Portfolio」のシステム内で保存されます。
「大学提出用データ」は「JeP出願コード」発番後は編集できませんので間違いのないように作成しましょう。

STEP 4 「JeP出願コード」を大学に提出

インターネット出願経由で、「JAPAN e-Portfolio」から出願大学に「JeP出願コード」を提出します。
出願大学ではあなたから取得した「JeP出願コード」をキーに、あなたの「大学提出用データ」をダウンロード・閲覧できるようになります。

詳しい手順は » https://jep.jp/statics/faq/syutsugan.html

大阪教育大学では，下記の入試情報及び学生生活案内についてウェブページでお知らせしています。また，災害等により不測の事態が発生した場合もウェブページを利用して情報提供を行います。
（大学案内等はウェブページから請求できます。また，スマホ・携帯電話で右のQRコードからアクセスしても請求できます。ただし，推薦入試及び一般入試（前期・後期）の紙の募集要項については発行しませんので，ウェブページからダウンロードしてください。）

スマホ・携帯電話での募集要項請求はこちらのＱＲコードから。

・教育学部（一般入試，推薦入試，私費外国人留学生，第3年次編入学）
・大学院教育学研究科（修士課程）
・大学院連合教職実践研究科（専門職学位課程）
・特別支援教育特別専攻科

ウェブページ　https://osaka-kyoiku.ac.jp/

携帯サイト

問い合わせ先
大阪教育大学入試課
〒582－8582　大阪府柏原市旭ヶ丘4－698－1
TEL　072－978－3324(入試課直通)
（受付時間：平日９：００～１７：００）
FAX　072－978－3327
電子メール　nyushika@bur.osaka-kyoiku.ac.jp